

荒砥上ノ坊遺跡 I

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

縄文時代～古墳時代の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 5

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

荒砥上ノ坊遺跡 I

昭和57年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

縄文時代～古墳時代の調査

《遺物観察表編》

1 9 9 5

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

例言・凡例

1. 本書は、県営ほ場整備事業荒砥北部地区に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書「荒砥上ノ坊遺跡Ⅰ」〈遺物観察表編〉である。
2. 遺物は、本文編に掲載した挿図中の実測図の順に掲載している。遺物の種類毎に表の書式は異なっている。遺物番号は挿図中の遺物番号に一致している。表中に使用した記号や略号は各々以下の通りである。
 - ①器種 〈石器〉 U F = Used Flake (使用痕のある剥片)、R F = Retouchd Flake (加工痕のある剥片)
 - ②法量 〈土器・石器〉 口：口縁部直径 底：底部直径 高：器高 胴：胴部最大径
石器の厚さは、おおむね断面実測位置で計測した。
なお、計測値に()を付したものは復元値である。
 - ③色調 陶磁器を除いて土器の色調は小山正忠・竹原秀雄編「新版標準土色帖」農林水産省農林水産技術会議事務局監修を用いて記載した。
3. なお、古墳時代初頭の遺構出土の器種のうち「弥生土器」は、弥生土器の器形や文様、整形技法の系譜を引く土器の意味で、時代性を表わしてはいない。

目 次

1. 縄文時代の出土遺物	1
2. 古墳時代初頭の出土遺物	4
3. 古墳時代中・後期の出土遺物	24

1. 縄文時代の出土遺物

1区72号住居出土遺物観察表(土器)第12図・PL 4

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②色調	断面・整形・文様の特徴
1	縄文土器 深鉢	口縁部・底部欠損		ほぼ中央部に埋没	②明褐色7.5YR6/6	口縁部および底部を欠損する。胴下半は、火熱を受け赤化する。縄文はRL横位であるが、割位に近く赤が濃くなる。器体は硬質の繊維が使用されている。
2	縄文土器 浅鉢	胴部破片		中央部 床面上16.5cm	②明褐色7.5YR5/6	口縁がくの字状に屈曲する浅鉢。胴内外面に横位の整形影が残る。一部に赤色焼影が認められる。部分的であるため、全面焼影が彩文であるかは不明。

1区72号住居出土遺物観察表(石器)第11～13図・PL 4

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S1	磨石	21.2・12.0 4.5	石英閃緑岩 1750.0	南西隅 床面上3.5cm	偏平磨を用いる。裏面側には広い平直面を有する一方、表面側には傾斜を有する。表面側とも磨耗するほか、側縁部分・小口部分には磨打が著しい。
S4	磨石	7.0・4.6 1.7	黒色頁岩 74.0	北壁際 床面上	偏平磨を用いる。磨の小口部分・側縁には弱い磨打影が残る。小形だが、類似資料が同じ住居埋土より出土しており、ここでは磁石と認定した。
S3	加工痕のある割 片 KF	6.6・7.1 1.9	カルンフェルス 181.0	南壁際 床面上	幅広い縦長割片を用いる。縦に割線を周知するよう施す一方で、左側の上半部には微細な割線が施され、この部分は弱く磨耗している。
S7	石鏝	3.2・2.2 0.8	黒色安山岩 5.0	埋没土	狭長の縦長割片を用いる。やや粗い割線を斜向状に施し、機能部を作出している。上端の平直部分より微細な調整を施す。
S6	使用痕のある割 片 LF	8.2・7.0 1.0	黒色頁岩 66.0	北壁際 床面上	磨面を大きく残す割線の初期段階に生じる幅広い縦長割片を用いる。割片には弱い磨耗と微細な「刃こぼれ」が生じており、特に割片端部の磨耗は著しい。
S5	石匙	6.4・10.8 1.2	黒色頁岩 56.0	東壁際 床面上	幅広い横長割片を用いる。縦に微細な割線を周知に加え、器体を作成している。刃部は鋭く弧状を呈し、若干磨耗している。中央部分にはノッチ状を呈し、刃部の再生を試みる。
S8	石棒	13.1・4.7 4.4	凝灰岩質凝灰岩 173.0	東壁際 床面上7cm	断面円形の棒状に整形した磨石を用いる。両端も、その一方をやや細くするように整形している。細い方の小口はやや平らな面ができており、その周囲の側面に2条の凹線が刻まれている。側面中に2の所割痕があるが、人為的なものか埋没時の変化かは判断できない。
S2	磨石石斧	15.2・6.4 3.4	実交武岩 460.0	西壁際 床面上	狭く、形状は左右対象で磨打に近い。刃部は長軸に對し偏る。側縁部分に残る磨打痕と表面側面の上半部に残る磨打痕は異なり、前者は磨削の後の、後者は磨削の前のものである。

2区1号住居出土遺物観察表(土器)第15・16図・PL 5・6

番号	器種	技法	容量	出土位置	①胎土 ②色調	断面・整形・文様の特徴
3	縄文土器 深鉢	口縁部破片		P 4付足 床面上7.5cm	②に①に増7.5YR6/4	口縁部がくの字状に折り出す被口縁の調整。被口縁部内面には小突起があり、直下には円形付付文が加えられる。平行線による文様は、口縁被口縁および張り出し部分を中心に構成され、弧状もしくは入組状文が施される。縄文はRL横位。施文はやや粗で、部分的に認められる。
33	縄文土器 深鉢	口縁部破片		埋没土	②に①に増7.5YR6/4	No.3と同一個体
23	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②黒褐色10YR2/2	横位の平行線文により口縁部文様帯を構成する。縄文はRL横位。
17	縄文土器 深鉢	口縁部破片		埋没土	②に①に増7.5YR6/4	横位の平行線文により口縁部文様帯を構成する。被口縁とみられる。
8	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に増7.5YR6/4	横位の平行線文が施される。縄文はRL横位で、施文は粗い。
7	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②浅黄褐色10YR8/3	平行線による弧状文が施される。縄文はやや不明瞭であるが、RL横位で赤が濃くなる。
24	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②明赤褐色5YR5/6	幅広い(4ミリ)平行線文により文様構成される。施文は深く明瞭。内面にも平行線文が横位。弧状に加えられる。外面の平行線よりやや巾狭で施文も浅い。整形痕か文様を構成するものかは不明。
15	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	①磨石粒多く含む。 ②に①に赤褐色5YR6/3	横位の平行線文が深く明瞭。縄文はRL横位。
18	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に赤褐色5YR6/4	縄文は施文が粗く不明瞭であるが9段3条RL横位と観察される。平行線文は深く明瞭。
26	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に増7.5YR6/4	幅広い(4ミリ)の平行線文は、一方が強く施文され、もう一方は浅く不明瞭となる傾向がある。縄文は認められない。
37	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に増5HR7/4	2帯1組の平行線文が施される。施文は丁寧で明瞭。縄文は認められない。
13	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に赤褐色5YR6/4	平行線文は細く3程度で、施文はやや粗雑である。縄文は認められない。
19	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に赤褐色2.5YR4/4	器体に整形影が残る。平行線文は一方が深く加えられる傾向がある。縄文は認められない。
9	縄文土器 深鉢	胴部破片		埋没土	②に①に増7.5YR6/4	平行線文は、深く明瞭。縄文はRL横位で、施文は粗く赤は不規則である。

遺物観察表

(2区1号住居)

番号	種類	技法	存在	出土位置	①胎土 ②色調	器形・整形・文様の特徴
12	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	①胎石粒多く含む。 ②褐7.5YR4/4	幅3ミリの平行線文が1センチ間隔で横位に加えられる。縄文は認められない。
43	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②褐7.5YR6/6	横位の平行線文により文様構成される。平行線文は一方がやや強く描文される傾向がある。縄文は認められない。胎土中に植物の種子とみられる圧痕が観察できる。
47	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②褐7.5YR4/4	2帯1組の平行線により木葉状入組文が構成される。縄文は部分的にRLが観察されるが、施文方位は不明。
27	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR7/3	No.25と同一個体
28	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/3	口縁部が強く張り出す深鉢。 No.25と同一個体
29	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/4	No.25と同一個体
25	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/3	胴上部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文間に縦位および格子状の平行線を組み合わせた文様帯を構成する。文様帯間にはL状横位、L横位が交互に施され、縄文帯を形成する。
30	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR7/3	口縁部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文により文様帯が構成される。縄文は部分的に観察されるが、施文は強く確認は不明。
20	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②明褐色7.5YR5/6	平行線により入組文が構成される。縄文は不明。
10	縄文土器 深鉢	口縁部破片	深鉢	埋没土	②明黄褐色10YR6/6	縄文はRL横位で、施文は良好。口唇上面は同一個体による縄文が施文される。
11	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②明黄褐色10YR6/6	縄文はRL横位。縄文、胎土等No.10と類似しており、同一個体の可能性はある。
22	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②褐5YR6/6	平行線文間に列点状刺突文を加える。内面に炭化物付着。器面に縄文が部分的に観察されるが確認は不明。
6	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②褐10YR4/6	粗線な刺目を加える平行線文により横位、弧状文が施される。縄文は不明瞭であるが、赤が横位している。RLとみられる。
38	縄文土器 深鉢	口縁部破片	深鉢	埋没土	②暗褐色10YR3/3	表状口縁の口縁部。口縁部がくの字状に張り出す深鉢。平行線文により文様構成されるが施文は強く不明瞭。
16	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い褐7.5YR6/4	RL横位。施文は粗雑で、赤・黒は不規則である。
21	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②赤褐色5YR4/8	RL横位。縁部が部分で剥落する。
4	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	P4 榻床面直上	②に赤い赤褐色5YR5/4	器面には不明瞭ながらRL横位が観察される。浮線文は器体と異なる粘土により加えられ、矢羽根状の刺目が施される。
74	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い赤褐色2.5YR4/4	No.67と同一個体
67	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い赤褐色5YR5/4	器体と異なる粘土により浮線文が加えられる。浮線文には矢羽根状刺目。浮線文間には列点状刺突文が施される。縄文は認められない。
66	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②明赤褐色5YR5/6	No.65と同一個体
65	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②明赤褐色5YR5/6	浮線文の結付は丁寧で、上に加えられる矢羽根状の刺目は深く、器面に達する。縄文は認められない。器内面には炭化物が付着する。
72	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い赤褐色5YR6/4	No.65と同一個体
69	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②黒褐色10YR3/1	浮線文上の刺目は丸棒状工具により加えられる。施文はやや粗い。不明瞭ながら縄文が観察され、RL横位とみられる。
88	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い赤褐色5YR6/4	平行線文により文様が構成され、部分的に矢羽根状の刺目が施される。浮線文土器と同様の文様帯を構成する。縄文は認められない。
75	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い褐5YR7/4	No.68と同一個体
73	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い赤褐色5YR6/4	平行線文間に矢羽根状の刺目が施される。施文は丁寧で不明瞭。
78	縄文土器 深鉢	口縁部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/4	口縁部が強く張り出す水平口縁の深鉢。口縁に沿って、縦位平行線文帯が通り、以下平行線文間には具段横線文が施される。
76	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/4	平行線による区画文間に具段横線文が縦位に施される。内面には炭化物が付着する。
77	縄文土器 深鉢	割部破片	深鉢	埋没土	②に赤い黄褐色10YR6/4	No.76と同一個体
5	縄文土器 浅鉢	割部破片	浅鉢	埋没土	②に赤い褐7.5YR7/4	L上直前段反脱横位。内面に同一個体で横位に縄文。内面施文の例は稀。
29	縄文土器 浅鉢	割部破片	浅鉢	埋没土	①雷母片が少量に含まれる ②明褐色7.5YR5/6 (部分的に赤く塗られている)	胴部に粗線部をもち口縁が強く外反する浅鉢。器内外面とも整形は極めて良好で、平滑帯が形成される。沈黙文もしくは縄文は認められないが、部分的に赤色塗彩が認められ、彩色が影文が施されていたものとみられる。

1 縄文時代の出土遺物

2区1号住居出土遺物観察表〈石器〉第17因・PL6

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S9	凹み石	8.65・7.7 3.8	和歌山山岩 310.0	F3付定 床面上9cm	丸い扁平鏃を用いる。「凹み」の残存位置は表面側面であり、表面側の「凹み」は鏃の中央付近に、裏面側の「凹み」鏃の中央に残る。表面側面とも平坦部分は磨耗する。
S11	石製石斧	5.8・3.9 1.5	黒色安山岩 38.0	埋没土	下半部分を大きく欠損するため全体の形状は不明だが、概ね楕円状を呈する可能性が高い。製鏃部分には極めて弱い磨耗が見られ、使用段階に破壊した可能性が想定される。
S14	扁石	8.7・4.1 2.3	頁岩 125.0	埋没土	扁平鏃を用いる。側縁・小口部分には使用で生じる割離痕と敲打痕が著しい。
S17	指輪	8.2・4.8 1.3	黒色頁岩 41.0	埋没土	下部部分を除き、形状は概ね左右対象に近く、中央付近に肩を持つ。裏面形状・側縁の磨耗状況からみて打製石斧の転用か、再生段階に生じた大形製片を用いる可能性が高い。
S15	加工済ある製 片	4.2・6.8 1.1	黒色頁岩 29.0	埋没土	断面を大きく残す割離の初期段階に生じる製片を用いる。加工部分は打面部分に集中的に見られる。
S18	石鏃	9.8・17.6 6.0	黒色頁岩 1250.0	埋没土	部分的に磨面を残す大形の分節鏃を用いる。製鏃作業は全面に及び、概して幅広い製片を製鏃している。

6区16号住居出土遺物観察表〈土器〉第18因・PL6

番号	器種	残 存 量	出土位置	①胎土 ②色調	器形・器形・文様の特徴
83	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい赤褐色2.5YR5/4	連続爪形文はやや深めだが施文はやや浅。縄文はRL横位が指される。
84	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②赤褐色2.5YR4/6	連続爪形文は平行線文を施した後に加える。施文はやや粗厚。縄文はRL横位。
82	縄文土器 深 鉢	胴部破片	北西隅 床面上16.5cm	②にぶい黄褐色10YR7/3	RL横位で浅く不明瞭。
81	縄文土器 深 鉢	胴部破片	北西隅 床面上18cm	②明赤褐色5YR5/6	横位の比線文は密に加えられるが、施文はやや粗。縄文は観察されない。
86	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい黄褐色10YR6/3	RL横位。浅く不明瞭。一部平行線文上にも縄文が加えられる。
85	縄文土器 深 鉢	胴部破片	埋没土	②にぶい黄褐色10YR5/3	縄文は浅く不明瞭だがRL横位。平行線文間にも横位および斜位の列目加える。

2. 古墳時代初頭の出土遺物

I区41号住居出土遺物観察表(土器)第21回・PL 8

番号	器種	形状・寸法	存在	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
89	弥生土器 甕	口縁部瓦破片 口 (13.2cm)		南東部 床面上 2 cm	①細砂・内四石を多量に含む。 ②酸化色。 ③黒7.5YR6/6	外反する口縁部破片。端部はやや丸くなる。 外側 口縁部斜方向ハケム。横方向ナズ。 内側 口縁部横方向ハケム後、上半部横ナズ。
98	土師器 高杯	杯部片残存 口 (16.6cm)		埋没土	①内四石・石英細粒・細砂を含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③にぶい黄緑10YR7/3	下腹に壁をもち、口縁部が大きく外開する高杯。口縁部は丸い。 外側 杯部縦方向ハケム。横方向ナズ。下半部方向直削り。口縁部横ナズ。 内側 杯部縦方向ハケム後、横方向直削り。下半部方向直削り。口縁部横ナズ。
94	土師器 鉢	口縁～体部中位瓦破片 口 (16.0cm)		南東部	①細砂・石英細粒・内四石を多量に含む。②酸化色。 ③にぶい黄緑10YR6/3	やや幅広い折り返し口縁の鉢。底部に穿孔の可能性もある。 外側 口縁部横ナズ。体部上位横方向の直削り。下位縦方向直削り後、縦方向直削り。横削り。 内側 口縁部横ナズ。体部横方向の直削り。
88	土師器 小形壺	体部～底部片欠損 口 13.9cm 高 14.8cm 底 (4.6cm)		南東部 床面上18cm	①微細砂・長石粒を含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄緑10YR6/3	大口のく字口縁の小形壺。口縁部外面にはやや肥厚する段がある。 外側 口縁部横ナズ。体部上半横方向直削り。下半部方向直削り調整後、中位縦方向ハケム。底部横ナズ。横削り。 内側 口縁部横方向ハケム。体部横方向ハケム。底部横ナズ。
90	土師器 手捏ね鉢	体部中～下位残存 底 3.8cm		南東部 床面上18cm	①微細砂・内四石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄緑10YR6/4	薄く押えられている。底部はやや上がる。口縁部彫墨は不明。 外側 体部縦方向ハケム。縦方向直削り。下半部直削り。 内側 体部斜方向ハケム。底部横ナズ。
93	土師器 甕	体部下位～底部残存 底 5.5cm		P 1 の中 底面上28cm	①微細砂・内四石を含む。 ②酸化色。 ③明黄緑10YR6/6	やや厚手の甕。内面から焼成層露出。孔は底部中央に1カ所。 外側 体部下位斜方向直削り。底部横ナズ。 内側 体部下位斜方向直削り。底部横ナズ。
91	土師器 甕	底部残存 底 6.3cm		南東部 床面上18cm	①微細砂・直径3～5mmの石英粒を含む。②酸化色。 ③にぶい黄7.5YR5/4	外側 体部下位斜方向直削り。横ナズ。底部片折伏の直削り。 内側 底部横方向ハケム。
87	弥生土器 甕	口縁～体部下位残存 口 15.3cm 底 18.9cm		南西部 床面上直上	①細砂・内四石を多量に含む。 ②酸化色。 ③赤褐10R5/4	口縁部が高く内開する。体部はやや歪む。 外側 口縁部4段の輪郭の痕を残す。上部頸が残る。体部縦方向ハケム後中位の縦方向直削り。横削り。 内側 口縁部横方向直削り。体部横方向直削り。
101	土師器 甕	口縁～体部上位小破片 口 (19.8cm)		埋没土	①微細砂・内四石と直径1～3mmの細砂を少量含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄緑10YR7/4	くの字に屈曲する口縁部破片。端部はやや外開し、外面に面とりがある。 外側 口縁部縦方向ハケム後、上端のみ横ナズ。縦部縦方向ハケム。 内側 口縁部縦方向ハケム後、上端のみ横ナズ。横部縦方向直削り。
92	土師器 甕	口縁部破片 口 (20.0cm)		P 1 の中 底面上28cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄緑10YR6/3	頸部が丸く屈曲する口縁部。端部外面に面とりする。 外側 口縁部斜方向ハケム後横ナズ。体部横ナズ。体部上位斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナズ。頸部ナズ。体部縦方向直削り。
102	土師器 甕	頸部～体部上位小破片		埋没土	①微細砂・赤色黏土粒を含む。 ②酸化色。 ③黒5Y2/1	くの字に屈曲する頸部破片。 外側 口縁部下位縦方向ハケム。体部上位縦方向ハケム。 内側 口縁部横方向ハケム。体部横方向直削り。
97	土師器 甕	口縁部破片 口 (20.0cm)		北部 床面上直上	①微細砂・内四石と直径3～5mmの砂粒・石英粒を少量含む②酸化色③黒5YR4/6	頸部がくの字に屈曲する口縁部破片。端部は丸い。 外側 口縁部横ナズ。 内側 口縁部横方向ハケム後、横方向直削り。
95	弥生土器 甕	頸部破片		南東部 床面上 2 cm	①微細砂・内四石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄緑10YR7/3	体部は丸く、口縁部が直立すると思われる頸部破片。 外側 頸部斜方向ハケム後横ナズ。体部上位～単位8条の輪郭状文様。 内側 斜方向ハケム後直削り。体部斜方向ハケム。
99	弥生土器 甕	体部破片		埋没土	①直径2～3mmの小石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄7.5YR7/4	球形頸部の器形之器の体部上位片。 外側 体部上位2～3条ずつの平行線文2段の下に、右下がりの斜平行線文が付され、それ以外の赤色彫彩されている。内側 横ナズ。
103	土師器 甕	体部破片		埋没土	①微細砂・内四石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄7.5YR5/3	頸部がくの字に屈曲する破片。 外側 頸部横ナズ。体部斜方向ハケム。 内側 頸部横方向ハケム。体部横方向直削り。
96	弥生土器 甕	口縁部下破片		南東部 床面上 2 cm	①微細砂。 ②酸化色。 ③にぶい黄7.5YR7/3	頸部から高く外反する口縁部破片。 外側 口縁部横方向ハケム後横ナズ。頸部輪郭状文様の直削り。 内側 口縁部横方向ハケム後直削り。
100	土師器 甕	体部破片		埋没土	①細砂・内四石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄緑10YR7/3	頸部がゆるやかなに屈曲する頸部破片。 外側 頸部横ナズ。体部横方向ハケム。 内側 頸部横ナズ。体部横方向直削り。
104	土師器 甕	体部破片		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③灰褐10YR4/2	頸部がゆるやかなに屈曲する頸部破片。 外側 頸部横ナズ。体部斜方向ハケム。 内側 頸部斜方向ハケム。体部ナズ。

I区41号住居出土遺物観察表(石器)第21回・PL 8

番号	器種	長さ・幅 厚さ (cm)	石 重さ (g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S19	砥石	10.6 × 7.6 5.8	四角形 700.0	埋没土	角縁の一面を使用する砥石。四隅が破損している。

2 古墳時代初期の出土遺物

(1区41号住居)

番号	品類	長さ・幅 厚さ(cm)	石・材 質(%)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S32	使用痕ある割片	6.8 × 9.7 1.3	黒色頁岩 S3.0	埋設土	断面を大きく残す割縁の初期段階に生じる割片を用いる。台形に近い割片形状を呈し、割片端部には鋭重な「刃こぼれ」が生じている。

1区43号住居出土遺物観察表(土器)第23図・PL3

番号	品類	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫刻・文様の特徴
107	土師器 小形壺	体部の一部・底部欠損	北壁側 床面上	①砂粒・石灰粒を多量に含、 ②酸化色。二次焼成。 ③赤褐色R5/4	口縁部が短く直立する小形壺。体部は中位が大きく膨らむ。 外面 体部縦方向ハケメ。中位は二次焼成によるとみられる割縁が著しく、彫形痕は不明。下位斜方向ハケメ。口縁部横ナデ。体部縦ナデ。 内面 体部下位縦方向ナデ。中位・上位横方向ナデ。口縁部横ナデ。	
112	土師器 鉢	口縁～体部下位片破片 口(12.6cm)	南東壁寄り 床面上5.8cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③赤褐色5YR7/4	短く外反する口縁部。体部はあまり膨らまない。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。上位に横方向のナデ痕がある。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ。中位斜方向ハケメ。 下位縦方向ハケメ。	
114	土師器 小形器台	口縁部・底部一部欠損 口 8.2cm 高 8.4cm 底 10.2cm	南東隅 床面上2.5cm	①砂粒・長石粒・黒色鉱物 粒を含む。 ②酸化色。硬質。 ③褐色5YR6/6	器受部口縁が小さく屈曲する小形器台。台部が大きく、ラック状に開く。 外面 器受部縦方向ナデ。口縁部横ナデ。縦部縦方向ハケメ。 内面 器受部横方向ハケメ。口縁部横ナデ。器台部ナデ。器台上位縦方向ナデ。下平半広の横ナデ。	
110	土師器 高杯	杯部片残存 口(13.2cm)	南東隅 床面上2.5cm	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色7.5YR7/4 ④内面黒10YR1.7/1	下部に厚をもつ小形の高杯。口縁部内面端部に小さな面取りがある。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ。下位縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。杯部表面が荒れており、図化不能であるが、縦方向の彫筋がされていたとみられる。	
116	土師器 高杯	脚部残存	埋設土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③褐色10YR8/4	ラック形に開く高杯の脚部。4分角の位置に穿孔。 外面 脚部縦方向ハケメ。 内面 脚部上半平ナデ。下半横方向ハケメ。	
115	土師器 台付棗	台部片破片	埋設土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③赤褐色10YR5/4	やや端部が内湾する台部。厚す。 外面 台部斜方向羽状ハケメ。裾部指押え。 内面 台部縦方向ハケメ。	
111	土師器 台付棗	体部下位～台部上位片残	北東隅 床面上4cm	①微細砂を少量含む。砂っぽい。 ②酸化色。 ③赤褐色10YR6/4	大きく丸い体部にやや内湾する台部がつく。 外面 体部ナデ後、縦・斜方向ハケメ。台部縦方向ハケメ。 内面 縦横方向ハケメ後、縦方向ハケメ。台部縦方向ハケメ後、縦方向ハケメ。	
106	土師器 高杯	杯部片残存 口 21.0cm	東壁寄り 床面上11cm	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③赤褐色10YR5/4	口縁部がやや内湾する高杯。 外面 斜方向ハケメ後、縦方向ハケメ。 内面 横方向ハケメ後、内外面赤色塗。	
109	土師器 高杯	杯部・口縁部片欠損 口 23.0cm 高 13.2cm 底 11.0cm	北東部 床面上10cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③褐色7.5Y6/5	若干内湾する大きな杯部に、小さな三角錐形の脚部。脚部も内湾。 外面 杯部縦方向ナデ。口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ後、上半縦方向ハケメ。 内面 杯部縦方向ハケメ。口縁部横ナデ。脚部上半平ナデ。下半横ナデ。	
105	土師器 台付棗	ほぼ完形 口 11.3cm 高 20.3cm 底 15.8cm 底 8.4cm	南東隅 床面上12cm	①砂粒・長石粒・赤色鉱物 粒を多く含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③赤褐色10YR6/3	やや長い外反する口縁部。丸い体部に、端部が外反する台部がつく。 外面 口縁部横ナデ。器台部縦方向ハケメ。体部上半縦方向ハケメ。下半横方向ハケメ。脚部斜方向ハケメ後、部分的に縦方向ハケメ。下半部横ナデ。 内面 口縁部横ナデ。器台部縦方向ハケメ。体部上半縦方向ハケメが部分的に残る。中位ナデ調整後、縦方向ハケメ。下位縦方向ハケメ。脚部縦方向ハケメ。下部部横ナデ。	
108	土師器 蓋	横み部 残存 横径 3.3cm	埋設土	①細砂を含む。②酸化色。 ③褐色2.5Y7/3	上面が平らな断面台形の横み。 内外面ともナデ調整。	
118	弥生土師器	口縁部破片	埋設土	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化色。やや硬質。 ③褐色10YR6/1	やや外反する口縁部破片。 外面 口縁部3～4本の縦凹筋。器台部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。器台部縦方向ハケメ。	
119	弥生土師器	口縁部破片	埋設土	①微細砂を含む。粉っぽい。 ②酸化色。③灰白2.5Y8/2	頸部外面に突出部のある破片。 外面 赤色塗。段端部に縁状の網文。	
120	土師器 鉢	口縁～底部片残存 口 12.1cm 高 6.6cm 底 3.7cm	埋設土	①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③赤褐色7.5YR7/4	小さな底部に内湾する体部。直立気味の口縁部がつく鉢形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ハケメ。下半縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ハケメ。下半縦方向ハケメ。	
117	土師器 高杯	杯部破片	埋設土	①微細砂・角閃石を含むが、 硬質。②酸化色。硬質。 ③暗灰緑2.5Y5/2	口縁部下位内外面に段のつく、高杯形土器。端部は外反し厚い。 外面 口縁部縦方向の丁寧な調整。杯部縦方向ハケメ。 内面 口縁部縦方向の丁寧な調整。杯部縦方向ハケメ。	
113	土師器 椀	口縁～体部中心片破片 口(13.6cm)	埋設土	①細砂・砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色5YR5/8	口縁部端部外面に面取り。内面は上方につまみ上げられる。 外面 口縁部横ナデ。器台部横ナデ。体部上半斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。器台部縦方向ハケメ後、横ナデ。体部縦方向ハケメ。	

遺物観察表

I区50号住居出土遺物観察表(土器)第24-25図・PL11

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
130	土師器 小形鉢台	口縁部一部欠損	口 7.6cm 高 8.4cm 底 9.7cm	中央部南東寄 床面上1cm	①細砂・角閃石・長石粒を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	浅い器腹部に三角彫形の脚部がつく。接合部の間は短い。 外側 器受器腹方向ハケム。接合部方向ハケム。脚部縦方向足跡跡。縦部縦方向ハケム。内側 器受器腹方向ハケム後、中央部のみ放射状ハケム。器部下半部方向ハケム。上半部方向ハケムナシ。
136	土師器 小形鉢台	ほぼ完整	口 7.9cm 高 8.0cm 底 9.5cm	中央部北東寄 床面上6.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	浅い器腹部にやや長い三角彫形の脚部がつく。接合部内面はやや長い。 外側 器受器腹方向ハケム(11.5cm)。接合部から脚部縦方向の足跡跡。縦部縦方向ハケム。縦部縦方向ハケム。 内側 器受器腹方向ハケム。中央部のみ横ナシ。脚部上半横・縦方向ハケム。下半部方向ハケム後、横方向ハケム。黒染あり。
138	土師器 小形鉢台	器腹部一部欠損	口(8.1cm)高 8.0cm 底 10.0cm	中央部南東寄 床面上4.5cm	①細砂・長石粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	浅い器腹部にやや長い三角彫形の脚部がつく。脚部部は内側。 外側 器受器腹・横方向ハケム。口縁部横ナシ。接合部縦方向ハケム。脚部縦方向ハケム。下半部縦方向ハケム後、部分的に横方向ハケム。 内側 器受器上半部方向ハケム。中央部放射状・横方向ハケム。肩部斜方向ハケム。下半部横方向ハケム。黒染あり。
137	土師器 小形鉢台	口縁部・器腹部一部欠損	口 8.5cm 高 9.4cm 底 9.2cm	中央部北東寄 床面上1.5cm	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③褐色5YR7/6	浅い器腹部にやや長い三角彫形の脚部がつく。上下両端部に器とり。 外側 器受器腹方向ハケム(単位不明)。口縁部横ナシ。脚部縦方向ハケム。器受器腹ナシ。内側 器受器腹方向ハケム。口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。器受器腹ナシ。
134	土師器 鉢	口縁部一部欠損	口(16.2cm)	北西部 床面直上	①細砂・長石粒・黒曜砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	やや内開する口縁部横ナシ。高杯形土器類の可塑性もある。 外側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム後、横・斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。
130	弥生土器 高杯	杯部片残存	口(16.2cm)	東壁跡 床面上10cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色5YR6/4	浅い器形の杯部杯部。口縁部内面は器形はやや丸く肥厚する。 外側 口縁部横ナシ。杯部斜方向ハケム。 内側 横方向ハケムナシ。
140	土師器	口縁部一部欠損	口(7.8cm)	埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③褐色5YR6/6	ゆるやかに器腹部に屈曲する小形の土器。口縁部部は丸い。 外側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。 内側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。器受器腹ナシ。
132	土師器	口縁部一部欠損	口(14.6cm)高(6.3cm) 底 3.8cm	中央部 床面上3cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色2.5YR4/8	口縁部部が短く内開する鉢形土器。 外側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム後、上半部斜方向ハケム。下半部斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナシ。器受器腹方向の丁寧な足跡跡。
133	土師器	口縁部一部欠損	口 18.2cm 高 10.9cm 底 4.0cm	北部 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	比較的に深・鉢形土器。口縁部は内開し、器底は外面が丸くぼけ。 外側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。上半部斜方向ハケム。器受器腹放射状足跡跡。 内側 口縁部横ナシ。器受器腹放射状足跡跡。
126	弥生土器 甕	器腹部残存	口(25.0cm)	中央部南東寄 床面直上	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	球形の体部。 外側 体部上位一単位7条の縦線状文様。中位斜方向ハケム。 内側 横方向ハケムナシ。
121	弥生土器	口縁部一部欠損	口 12.6cm	中央部南東寄 床面上16cm	①細砂・角閃石を多量に含む。 白色胎土が目立つ。 ②酸化色。 ③にぶい赤褐色5YR5/3	やや丸い土器に、外反する高い口縁部がつく。 外側 口縁部4段の輪縁み痕を残す。横ナシ。体部上位横方向ハケム後、卑部縦文を横線文。一部に横行着。黒染あり。 内側 口縁部縦方向ハケム。器受器腹方向ハケム後、横方向ハケム。
124	弥生土器 甕	器形の一部・口縁部欠損	口 5.1cm	南部 床面上2cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい赤褐色2.5YR4/4	上平が丸く、下方がすぼまる直胴土器。 外側 体部横方向ハケム。 内側 体部横ナシ。
129	弥生土器 小形鉢	口縁部一部欠損	口(10.6cm)	中央部 床面上5.5cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③褐色7.5YR3/3	ゆるやかに器腹部に屈曲する小形土器。口縁部部はすぼまる。 外側 口縁部4段の輪縁み痕を残す。その上をナシ調整。器受器腹方向ハケム。 内側 口縁部横ナシ。斜方向ハケム。器受器腹方向ハケム。
128	弥生土器 甕	口縁部一部欠損	口(12.2cm)	南東部 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化色。 ③にぶい赤褐色5YR4/3	ゆるやかに器腹部に屈曲する器形土器。口縁部部外面に器とり。 外側 口縁部から器受器腹輪縁み痕を残す。横ナシ(無文)。器受器腹方向ハケム。 内側 口縁部横ナシ。器受器腹方向ハケム。
122	弥生土器 甕	口縁部一部欠損	口 14.8cm	東壁跡 床面上7cm	①細砂・長石粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	球形の体部にくの字に外反する口縁部がつく。口縁部部はやや丸い。 外側 口縁部横ナシ。輪縁み痕が1条出る。器受器腹方向ハケム。体部上位ナシ調整。中位から下半部斜方向ハケム後、横方向ハケム。 内側 口縁部から体部上位横方向ハケム。下半部横ナシ。
123	土師器	口縁部一部欠損	口(16.2cm)	東壁跡 床面上7cm	①細砂を含む。 ②酸化色。硬質。 ③灰白10YR8/2	くの字に屈曲する口縁部。器底は大きく外反し外面に器とり。 外側 口縁部横ナシ。器受器腹や丸くぼけ。器受器腹方向ハケム。体部斜方向ハケム。部分的に横・斜方向ハケム。二次焼成。内側 口縁部横ナシ。器受器腹のゆるやかな器とりがある。器受器腹方向ハケム。黒染あり。
127	弥生土器	口縁部一部欠損	口(13.4cm)	東壁跡 床面上8.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③黄褐色10YR6/2	器底が大きく外反するくの字口縁部の器形土器。 外側 口縁部上半横ナシ。口縁部下から器受器腹方向ハケム。体部上位ナシ。内側 口縁部横ナシ。口縁部下から器受器腹方向ハケム。体部上位ハケム。指押え。
135	弥生土器 甕	口縁部一部欠損	口 16.3cm	北壁直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化色。硬質。 ③灰褐色5YR5/3	ゆるやかに屈曲し、高く外反する口縁部がつく器形土器。 外側 口縁部斜方向ハケム調整。器受器腹方向ハケム後、器受器腹方向ハケム。 内側 口縁部斜方向ハケムナシ。下位ののみ縦方向ハケム。器受器腹ナシ。 器受器腹方向ハケム。器受器腹方向の1条の足跡跡が通る。
131	土師器 甕	器形の一部・口縁部	口 3.8cm	中央部北東寄 床面上14cm	①直径2～5mmの砂粒・石英粒・黒曜砂を含む。 ②酸化色。硬質。 ③褐色5YR6/8	小さな器底に大きく体部下平がつく直胴土器。 外側 体部下位直線の斜方向ハケム。器受器腹ナシ。 内側 体部下半部斜方向ハケム後、上半部斜方向ハケム。器受器腹ナシ。

1区16・30号土坑出土遺物観察表(土器) 第26回・PL12

番号	部 種	残 存 状 況	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
787	土師器 高杯	胴部残存 高 7.8cm	埋没土	①黄緑砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③明褐色5YR5/8	杯部が大割するが、785の高杯と同形類のものと考えられる。 外面 胴部上半縦方向瓦磨き。胴部縦方向瓦磨き。 内面 胴部縦方向瓦磨き。胴部には横方向ハケメが残る。
786	土師器 高杯	肩突部下位～胴部上半残存	埋没土	①黄緑砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焼。 ③におい黄褐色10YR7/3	大きく割が開く高杯形土器の胴部。 外面 肩突部縦方向ハケメを残す。胴部縦方向瓦磨き。 内面 肩突部ナデ。胴部縦方向瓦磨き。
785	土師器 小形高杯	杯部片・胴部片残存 口 11.4cm 高 7.9cm 底 9.0cm	埋没土	①黄緑砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③他5YR5/8	胴部の杯部に近く胴部が開く低い胴部がつく高杯形土器。 外面 杯部縦方向瓦磨き。胴部上半縦方向瓦磨き。下半横方向瓦磨き。 内面 杯部斜方向瓦磨き。胴部縦方向瓦磨き。
784	土師器 小形高杯	杯部片・胴部片欠損 口 11.4cm 高 7.9cm 底 (6.5cm)	埋没土	①黄緑砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色5YR4/8	785と同形式の高杯であるが、胴部底の広がりが小さい。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦・横方向瓦磨き。胴部上半縦方向瓦磨き下部横方向ナデ。内面 口縁部横ナデ杯部縦方向瓦磨き。赤色塗彩。胴部横方向瓦磨きナデ磨削。
782	土師器 甕(台付)	口縁～体部中位片残存 口 12.0cm 高 (13.6cm)	埋没土	①微細砂・直径2～5mmの小石を含む。②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/8	頸部がゆるやかに屈曲する甕形土器。口縁部端部は丸い。 外面 口縁部上半横ナデ下半縦方向ハケメ。体部上位中位斜方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ一部ハケメが残る。体部横方向瓦磨きナデ一部ハケメ残。
783	土師器 台付甕	体部下位～台部片残存 高 (9.6cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。白色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焼明褐色5YR5/4	ハの字形のやや短い台付甕の台部。端部外面に面をとる。中平内高。 外面 体部下位斜方向ハケメ。台部縦・斜方向ハケメ。 内面 体部斜方向ハケメ。台部横方向ハケメ。
788	土師器 甕	体部中位～底部片残存 高 (7.3cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③におい暗7.5YR6/6	球形の体部の甕形土器。底面はやや厚く小さい。 外面 中位斜方向ハケメ後部分的にナデ下位はさらに横方向瓦磨き。底部磨削。内面 体部中位斜方向瓦磨きナデ。下位横方向ハケメ後横方向瓦磨きナデ。底部横方向瓦磨きナデ。

1区60号住居出土遺物観察表(土器) 第27回

番号	部 種	残 存 状 況	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
144	土師器 甕	口縁部1/6破片 口 10.3cm	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③におい黄褐色10YR7/3	やや内湾する口縁部破片。口縁部端部はほぼまる。 外面 口縁部ナデ後縦方向瓦磨き。 内面 縦・斜方向瓦磨き。
143	土師器 台付甕	体部下位～台部片残存 高 (8.0cm)	南東部 床面上1.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい黄褐色10YR7/3	薄くつくられた台付甕。内面胴部の折り返し等からS字壁の可能性高い。 外面 体部下位斜方向ハケメ。台部斜方向ハケメ。 内面 体部下位ナデ。台部横ナデ。
142	土師器 甕	口縁部1/6破片 口 18.0cm	南東部 床面直上	①直径1～3mmの小礫・角閃石を含む。 ②酸化焼。やや硬質。 ③におい暗7.5YR6/4	頸部がゆるやかに屈曲する甕の口縁部。端部外面に丸く面をとる。 外面 口縁部斜方向ハケメ。 内面 口縁部横方向瓦磨き。下位横方向ハケメ。
141	土師器 甕	口縁部の片残存 口 19.0cm	南東部 床面上1.5cm	①微細砂と直径3～5mmの小石を少量含む。②酸化焼。 ③灰白2.5Y8/2	外面 口縁部上半横ナデ。下半縦方向ハケメ。 内面 口縁部横方向ハケメ後横ナデ。

2区7号住居出土遺物観察表(土器) 第28回・PL14

番号	部 種	残 存 状 況	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
629	弥生土器 手捏ね 杯	口縁～台部片残存 口 (6.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焼。 ③におい黄2.5Y6/3	薄くつくられた手捏ねの杯形土器。口縁部は内湾する。 外面 口縁部～体部縦・斜方向瓦磨き。台部横ナデ。底部ナデ。 内面 口縁部～体部縦方向瓦磨きナデ。台部ナデ。底部縦方向瓦磨き。
628	弥生土器 台付甕	台部残存 高 10.3cm	P4埋没土	①直径2.5mmの砂粒・石英粒と多くの微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③におい暗7.5YR6/6	やや端部が内湾してハの字状に開く台部。 外面 台部縦方向ハケメ。胴部横ナデ。 内面 台部縦方向瓦磨きナデ。胴部横ナデ。底面、端部(接地面)面とり。
630	弥生土器 甕	口縁～体部下位片残存 口 (8.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む ②酸化焼。 ③暗7.5YR6/6	頸部がゆるやかに屈曲する小形の甕形土器。 外面 口縁部端部外面縦文押注。体部口縁部下～上位にLR横位縦文施文 内面 横方向瓦磨き。
631	弥生土器 甕	体部破片	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。 ③におい黄褐色10YR7/4	球形に近い体部の甕形土器の胴部破片。 外面 縦文施文後、その下位に4本一単位で乱れた横輪紋状を3段施文。 さらにその直下に直径3mmの円形影障文を巡らせている。内面 ナデ。
632	土製品 新編車	片欠損	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい赤褐色5YR5/4	内外面とも瓦ナデ調整。

遺物観察表

2区4号住居出土遺物観察表〈土器〉第31図・PL14

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
148	土師器 鉢	口縁部片残存	口径 15.2cm 高 8.3cm 底 6.1cm	中央寄り 床面上6cm	①粗砂・長石粒・石灰粒を含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③にぶい黄5YR6/4	体部下平がゆるむ球形土器。底部は小さい。口縁部は外傾する。 外面 口縁部中広の折返し口縁。横方向ハケムの後、横ナデ。体部縦方向ハケムの後、上半横方向直削り、寛ナデ。下半横方向直削り、底部直削り。内面 口縁部縦方向ハケム。口唇部のみ横ナデ。体部横方向直削り。頸部直削り。底部直削り。
150	土師器 小形甕	完形	口径 7.6cm 高 6.5cm 底 9.5cm	東壁端 床面上14.5cm	①粗砂・細砂・長石細粒を含む。 ②酸化色。硬質。 ③灰黄褐色10YR6/2~4/2	洗ひ跡受部に近い三角錐形の頸部を持つ。中央の孔は無い。 外面 頸部縦方向直削り。口縁部縦方向ハケム。横合部→頸部縦方向直削り。頸部縦方向直削り。内面 頸部縦方向直削り。口縁部縦方向直削り。横合部→頸部上半横方向直削り、下半横方向直削り。頸部直削り。
149	土師器 高杯	杯部、脚部接合部	杯部、脚部残存	南壁寄り 床面上5.5cm	①粗砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③明褐色5YR5/8	いわゆる特殊器。突出した底部の上に大きく外反する杯部がつく。杯部下半には、8円孔が穿たれている。 外面 杯部縦方向ハケム後、縦・横方向直削り。底部縦方向直削り。脚部縦方向直削り。 内面 杯部上半横方向ハケム後、縦・横方向直削り。下半横方向ハケム。
154	赤生土器 片	体部破片		埋設土	①粗砂と角閃石を含む。 ②酸化色特2区黄7.5YR5/2	外面 頸部に横帯平行文。体部上位に赤文。 内面 頸部直削り。体部縦方向直削り。
146	赤生土器 壺	口縁部→頸部残存	口径 16.8cm	北東壁端 床面上	①粗砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい赤黄5YR5/4	巾の狭い器り返し口縁部を持つ。中央の孔は無い。 外面 口縁部縦方向ハケム後、上半・下半ともに横ナデ。頸部縦方向直削り。頸部直削り。 内面 口縁部縦方向直削り。
153	土師器 鉢	口縁→体部1/3残存 口(13.2cm)		埋設土	①粗砂を多く含む。黄褐色 炭化物を含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③灰黄褐色10YR6/2	内筒する受け口状の口縁部と広い体部の変形土器。口縁部は広い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケム。中位縦方向直削り。黒色の保存者。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向直削り。横削み残が残る。
145	赤生土器 壺	口縁→体部下位は残存 口径 12.5cm 高(20.0cm)	中央部 床面上5cm	①砂粒・小石・長石粒を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい赤黄5YR5/4	頸部がゆるやかに直削りする変形土器。 外面 口縁部横ナデ。頸部斜方向ハケム。体部上位縦方向ハケム、中位横方向直削り、下位縦方向直削り。内面 口縁部横方向直削り。頸部縦方向直削り。体部上位直削り調整。中位斜方向直削り。	
147	赤生土器 壺	体部下位1/3部残存 口径 7.6cm	中央部 床面上5cm	①粗砂を含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/2	小さな底面からゆるやかに膨らみ立ち上がる体部の変形土器。 外面 体部中部斜方向ハケム、下位斜方向ハケム。最下部直削り。 内面 体部中部斜方向直削り、下位横方向ハケム。最下部斜・横方向直削り。	
152	土師器 鉢	口縁→体部中心残存 口径 19.2cm	埋設土	①砂粒・石灰粒・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	頸部がくの字に屈曲する球形体部の壺。口縁部ははや内傾する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケム。部分的に工具痕が残る。口縁部から保存者。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。頸部に横方向ハケム後残る。	
151	土製品 支脚	両端部欠損 残存長 19.2cm 幅 5.6cm 厚 4.0cm	南東部 伊使用面直上 床面直上	①粗砂・白色炭化物を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR5/4	断面丸長方形を示す棒状。両端が欠けているので全形は不明。 上面 両側面直削り。 下面 指ナデ調整の跡が彫削機が残っている。	

2区II号住居出土遺物観察表〈土器〉第33図・PL15

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
158	土師器 鉢	口縁部欠損	口径 10.0cm 高 10.4cm 底 5.1cm	南東隅 床面上3cm	①直径2~5mmの砂粒・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	外傾する短い口縁部。筒形の体部。底部は平底。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケム後、上半横方向直削り。 内面 口縁部縦方向ハケム後、上半のみ横ナデ。体部縦方向直削り後、上半のみナデ。
156	赤生土器 壺	口縁→体部上位残存 口径 12.3cm	南東隅 床面直上	①粗砂・角閃石を多く含む。白色炭化物が目立つ。 ②酸化色。やや軟質。 ③黄褐色2.5YR6/2	ゆるやかに直削りする頸部。外反するやや短い口縁部。 外面 口縁部4段の輪状凸縁を残す。横ナデ。一部に横削り。体部縦方向直削り。斜方向直削り。底直削り。 内面 口縁部縦方向直削り。体部縦方向直削り。	
157	赤生土器 壺	頸→体部中心残存 最 20.8cm	南東隅 床面直上	①粗砂・角閃石を多量に含む。白色炭化物が目立つ。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい黄褐色5YR6/4	頸部に近い体部の変形土器。 外面 口縁部から体部上位直削り。縦文様直削り。体部中部斜方向直削り後、横方向・縦方向直削り。体底広い範囲に横削り。黒底。内面 口縁部縦方向直削り。体部上位直削り直削り。体部中部斜方向直削り。	
159	赤生土器 高杯	体部下平→脚部残存 口径 16.5cm 高 12.0cm 底 8.3cm	南東隅 床面上2cm	①砂粒を多量に含む。 ②酸化色。 ③黄褐色10YR6/3	直線的に傾く杯部。三角錐形の頸部。付着変形土器の形跡あり。 外面 杯部斜方向直削り後、下半直削り。横合部縦方向直削り。脚部直削り。 内面 杯部縦方向直削り。中央部直削り。脚部縦方向直削り。頸部直削り。	
160	土師器 高杯	杯部片残存 口径(12.0cm)	中央部 床面上2cm	①粗砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色5YR7/4	短い筒形の杯部土器の杯部。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部直削り後、端が丸く状になった直削り。	
164	赤生土器 ?	右部片残存 底(7.6cm)	埋設土	①粗砂・少量炭化物・酸化色。 ②にぶい黄褐色10YR7/3	小形土器の上部。内外面から小穿孔があるが貫通していない。 外面 台部斜方向ハケム後、縦方向直削り。内面 台部横方向直削り。 S字線の口縁部。大きく開いた口縁部は直立に近く短く立ち上がり、さらに外傾する。口縁部端部内面には面と面。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向ハケム。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。	
163	土師器 S字状口 縁台付壺	口縁部破片 口径(14.0cm)	埋設土	①粗砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/3		

2 古墳時代初期の出土遺物

(2区11号住居)

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
161	土師器 鉢	口縁部片破片 口(16.6cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③にぶい赤褐色5YR4/3	口縁部がやや内湾する筒形。縁の口縁部。 外面 口縁部一体上位斜方向瓦ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向瓦ナデ。

2区12号住居出土遺物観察表(土器)第34図

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
165	土師器 鉢	体部破片		埋没土	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	外面 胴・横方向ハケメ。 内面 横方向瓦ナデ。

2区19号住居出土遺物観察表(土器)第35図・PL15

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
166	土師器 S字状口 鉢台付鉢	台部片残存 口(10.2cm)		埋没土	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	ハの字に開く台部。外面筒形・内面裾部折り返しからS字葉と考えられる。 外面 裾部丁寧なナメ調整。斜方向ハケメ。 内面 裾部縦方向瓦ナデ。下縁部折り返し部も押え。

2区20号住居出土遺物観察表(土器)第36図・PL16

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
169	土師器 鉢	口縁～底部片残存		南東隅 床直上2cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化焼。やや硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	やや厚い底部に外縁する筒形土器。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部下縁方向ハケメ。上半丁寧なナデ。
170	土師器 鉢	口縁～体部中位破片 口(8.8cm)		南東部 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	筒形の体部。短く外縁する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ。下半縦・横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向瓦ナデ。
168	土師器 鉢	口縁部～体部上位片残存 口(14.0cm)		南西隅 床直上7cm	①細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③褐色7.5YR4/3	大きくくの字に屈曲する頸部。外縁する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦・斜方向瓦ナデ。
167	土師器 高杯	杯および脚部破片 底(18.6cm)		西部 床直上2cm	①微細砂・白色炭素粒を含む ②酸化焼。硬質。 ③赤褐色2.5YR4/8	丸い椀形の杯部。頸部が大きく開く脚部がつくとみられる。 外面 杯部中位斜方向瓦ナデ。下位縦方向ハケメ。脚部縦方向瓦ナデ。 内面 杯部斜方向瓦ナデ。脚部上位ナデ。下位横・斜方向ハケメ。

2区20号住居出土遺物観察表(石器)第36図・PL16

番号	器種	高さ・幅 厚さ(cm)	石 重さ(g)	針 長さ(cm)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S33	磨石	9.6 × 5.5 2.4	実質安山岩 230		南東隅 床面直上	扁平な円碑の一部に磨刃が残っている。

2区33号住居出土遺物観察表(土器)第39図・PL19-20

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
211	土師器 鉢?	台部片残存 口7.5cm 高6.8cm		東壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・長石粒・ 石灰粒を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい赤褐色5YR5/3	筒形。口縁部はすぼまる。台付裝飾後の口縁部の可能性がある。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向ハケメ後、縦方向瓦ナデ。上半のみナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部斜・横方向瓦ナデ。瓦ナデ。
213	土師器 鉢	口縁～底部片残存 口(10.6cm) 高4.25cm 底(5.6cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/6	大きめの平底か、やや膨らんで立ち上る体部。口縁部は丸い。 外面 口縁部・体部中位横ナデ。輪痕も残存。体部下位折押え。表面 瓦ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部から底部横方向瓦ナデ。
204	土師器 鉢	口縁部片残存 口(12.6cm)		南壁 床面直上	①微細砂・角閃石多量に含む ②酸化焼3YR5/10YR4/4	口縁部は内湾する。 外面 口縁部横方向瓦ナデ。内面 口縁部直磨き。
367	土師器 鉢	口縁部片破片 口(11.0cm)		埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③灰黄褐色10YR4/2	体部は椀形で、口縁部はゆるい。 外面 口縁部横方向瓦ナデ。体部縦方向瓦ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向瓦ナデ。
922	土師器 鉢	口縁部片破片 口(12.4cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③黒褐色7.5YR3/1	口縁部が内湾する。 外面 口縁部横・斜方向瓦ナデ。 内面 口縁部上位横方向瓦ナデ。下半部面が見れており不明。
212	土師器 台付鉢	底部～体部下位残存 底5.4cm		埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/3	やや中央がくぼんだ台がつく小形鉢。 外面 体部上半縦方向瓦ナデ。下位横方向瓦ナデ。底部横ナデ。黒色。 内面 体部斜・横方向瓦ナデ。底部ナデ。
358	土師器 埴	口縁部片破片 口(8.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③にぶい褐色7.5YR7/4	小形可の口縁部。頸部は内外面側から押えられて、内面には面とり。 外面 口縁部最上横ナデ。下部羽状の斜方向瓦ナデ。 内面 口縁部最上横ナデ。下部縦方向瓦ナデ。

番号	器 種	残 査	存 量	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
176	土師器 鉢	口縁→体部中心部残存 口 9.3cm	西壁埋戻内 床面直上	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。硬質。 ③浅黄褐色10YR/3	胴部がゆるやかに屈曲するやや深めの鉢。口縁部外部外面に面とり。 外側 口縁部横ナデ。体部横・斜方向ハケメ。黒底あり。 内側 口縁部縦方向ハケメの後横ナデ。体部横ナデ。	
177	土師器 埴	体部下位分残存 底 (3.0cm)	東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③灰白10YR/8/2	底部の小さな凹形土器。体部下位横方向直割り。 外側 体部縦方向直割り。体部下位横方向直割り。 内側 体部横・斜方向直割りナデ。	
202	土師器 白付陶盤	体部片・脚部残存 底 (12.3cm) 底 9.4cm	東壁寄り 床面直上	①微細砂・長石粒を含む。 ②酸化焼。やや硬質。 ③他SYR6/6	算盤玉形の体部。ハの字に開く低い台部。台下端部は内湾。体部中央に市3cm程度の帯状貼付。 外側 体部縦方向・横方向ハケメ後、上半横方向、突部縦方向、下半斜方向の直割り。脚部縦方向ハケメ後、縦方向直割り。黒底。内側 体部上半斜土等、指押え、無調整。下半横ナデ。脚部横方向ハケメ。	
193	土師器 有孔鉢	口縁部 口 13.9cm 高 7.7cm 孔 1.3cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・石英粒・長石粒を少量含む。 ②酸化焼。硬質。 ③他SYR6/6	底部が小さく、内湾する口縁部の有孔鉢。 外側 口縁部横ナデ。体部下半縦方向直割り後、上半横方向直割り。下端部斜直割り。 内側 口唇部横ナデ。体部下半横方向ハケメ。	
194	土師器 有孔鉢	口縁→体部片欠損 口 17.0cm 高 9.7cm 孔 1.4cm	南壁脇 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③明赤褐色2.5YR5/6	小さな胴部から、やや丸い体部へつづく有孔鉢。口縁部はやや内湾する。 外側 体部下半縦方向直割り後、上半横方向直割り。 内側 体部下半縦・斜方向直割り後、上半横方向ハケメの直ナデ。	
175	土師器 皿	口縁→体部一部欠損 底部欠損 口 10.2cm	南壁脇 床面直上	①直径2〜3mmの石英粒・角閃石・砂粒を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③浅黄褐色10YR8/3	丸い体部。ほぼ直立する口縁部。黒底は下ばかり内湾する。 外側 口縁部横方向直割り。下半には体部から連続する縦方向直割り。胴部横方向直割り。体部上位縦方向直割り。中位横方向直割り。下位縦・斜方向直割り。	
209	土師器 小形陶台	胴部一部欠損 口 9.5cm 高 8.4cm 底 10.7cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石・石英・長石を多量に含む。 ②酸化焼。軟質。 ③にぶい他SYR7/4	口縁部上半横ナデ。下半横方向直割り。体部縦方向直割り。 深い器受部。縦がやや円く胴部がつく小形陶台。口縁部外部外面に面とり。 外側 器受部横方向直割り。胴部縦方向直割り。黒底横ナデ。 内側 器受部中央放射状直割り。脚部横ナデ。脚部下半横方向直割り。端部横ナデ。上半横ナデ。	
210	土師器 器台	口縁→胴中位残存 口 7.7cm	南壁脇 床面直上	①細砂・白色微細粒・直径2.5mmの石英粒を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③明赤褐色5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する胴部。口縁部外部外面に市巾の面とり。 外側 器受部横ナデ。胴部縦方向直割り。黒底横ナデ。 内側 口縁部横ナデ。胴部。器受部横方向直割り。脚部上半斜方向ナデ。下半横方向ハケメ。	
207	土師器 小形陶台	ほぼ完形 口 7.9cm 高 9.6cm 底 10.8cm	東壁寄り 床面直上	①砂粒・長石粒を多量に含む ②酸化焼。硬質。 ③明赤褐色2.5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する高い胴部。口縁部はやや内湾し、外面に面とり。 外側 器受部斜方向直割り。口縁部横ナデ。脚部縦方向直割り。胴部縦方向直割りナデ。 内側 器受部横方向直割り。中央部放射状直割り。胴部縦方向直割り。	
208	土師器 小形陶台	ほぼ完形 口 7.4cm 高 9.4cm 底 9.6cm	東壁寄り 床面直上	①砂粒・石英粒・角閃石を含む。黒質。 ②酸化焼。硬質。 ③明赤褐色2.5YR5/6	外反する浅い器受部。内湾する高い胴部。口縁部外部外面に面とり。 外側 器受部横ナデ。胴部上下2段に縦方向直割り。胴部横方向直割り後、下端部横ナデ。内側 器受部上半横方向の縦い直割り。下半横方向放射状の直割り。胴部縦方向直割り。	
203	土師器 高杯	杯部片残存 口 12.3cm	南壁脇 床面直上	①微細砂と多量の角閃石を含む。②酸化焼。硬質。 ③明褐色5YR5/6	碗形の高杯の杯部。 外側 口縁部横ナデ。杯部横・縦方向ハケメ後、横方向直割り。 内側 口縁部横ナデ。杯部横方向・斜方向直割り。	
205	土師器 高杯	胴部下半分残存 底 (16.0cm)	南壁脇 床面直上	①長石細粒・角閃石が目立 ②酸化焼。やや軟質。 ③褐色10YR8/1	大きく開く高杯の胴部。 外側 胴部斜方向ハケメ。胴部横ナデ。 内側 胴部横方向直割り。器受部横ナデ。	
206	土師器 蓋	残部片残存 直径 2.5cm	南西隅 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい褐色7.5YR6/3	前面が逆台形の蓋の横の断面。上面はほぼ平ら。 外側 横・斜方向ハケメ後、縦方向直割り。 内側 横ナデ。	
214	土師器 台付盤	台部片残存 底 (7.2cm)	埋戻土	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/8	やや小形の台部。蓋の台部と考えられる。 外側 台部上半横ナデ。下半横方向ハケメ。胴部横ナデ。 内側 台部横方向ナデ。	
201	土師器 高杯	胴部片・口縁部片欠損 口 9.9cm 高 9.3cm 底 (16.0cm)	東壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒・石英を含む。粘土も混入。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	下腹に横をもつ碗形の杯部。大きく胴部が開く胴部。胴部は内湾する。 外側 杯部横方向直割り。口縁部横ナデ。器受部横方向直割り。胴部上半横方向直割り。下半横方向直割り。黒底横ナデ。 内側 杯部横方向直割り。中央部ナデ。口縁部横ナデ。胴部下半横方向ハケメ。上半横方向直割り。器受部横ナデ。部分的に斜直割り。	
199	土師器 高杯	杯部の片残存 口 26.0cm	南壁脇 床面直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。やや硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	大型の高杯。口縁部は外反し、下腹には横をもつ。 外側 杯部横方向直割り。 内側 杯部横方向直割り。	
197	土師器 高杯	杯部の片残存 口 19.2cm	東壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒・角閃石を多く含む。②酸化焼。硬質。 ④他SYR6/6	浅い体部に大きく外反する口縁部が横をもつ高杯。 外側 杯部横方向直割り。 内側 杯部横方向直割り。	
188	土師器 高杯	杯部→胴部上半残存 口 21.0cm	南壁脇 床面直上 3cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい褐色7.5YR7/3	浅い碗形の体部に大きく開く口縁部がつく高杯。 外側 杯部縦方向ハケメ後、横方向直割り。口縁部横ナデ。脚部縦方向直割り。内側 杯部横方向直割り。口縁部横ナデ。脚部横方向直割り。杯部凹曲面に貼付。	

2 古墳時代初期の出土遺物

(2区33号住居・第40～42図)

番号	器種	技法	寸法	出土位置	①胎土 ②胎成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
185	土師器 高杯	杯部一部欠損 口 18.5cm 高 14.5cm 底 11.1cm	南壁端 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑5YR6/4	浅い体部に大きく外反する口縁部が段をもってつく高杯。脚部はやや斜め開くハの字の低いものがつく。 外側 口縁部横ナデ。杯部横方向直置き、下平斜方向直置き。脚部縦方向ハケメ後、縦方向直置き。杯部横方向直置き。 内側 口縁部横ナデ。杯部横方向直置き。脚部縦方向直ナデ。	
186	土師器 高杯	杯部・頸部一部欠損 口 22.1cm 高 15.0cm 底 15.6cm	南東隅 床面上13.5cm	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③成黄緑10YR8/3	低い腰の浅い杯部。大きく外反する口縁部。脚部は上平の柱状で幅が開く。 外側 杯部縦方向ハケメ後、斜方向直置き。口縁部横ナデ。下平横方向直ナデ。脚部上平横方向直ナデ。下平横方向ハケメ後、斜・横方向直置き。 内側 杯部縦方向ハケメ後、横方向直置き。口縁部横ナデ。縦方向直置き。脚部下平横方向ハケメ後、上平横方向直ナデ。縦部横ナデ。	
200	土師器 高杯	口縁・体部一部欠損 口 19.7cm 高 15.6cm 底 10.7cm	東壁寄り・南壁端 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③明赤黄緑5YR5/6	やや深めの杯部。低い三隅錐形の脚部。 外側 口縁部横ナデ。杯部下平横方向直置き後、上平横方向直置き。脚部縦方向直ナデ。杯部横方向直置き。杯部横ナデ。 内側 口縁部横ナデ。杯部横方向直置き。上平の横方向直ナデ調整。杯部横・斜方向のハケメ1cmにつき5本。杯部横方向直ナデ。	
190	土師器 甕	口縁部のみ残存 口 13.8cm	南壁P1内 底直上49.5cm	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑10YR7/4	①直径2～3mmの砂粒・角四石を含む。②酸化焼。硬質。 ③に赤黄緑10YR7/4	上反する浅形土器の口縁部。底部は上反一隅み上げられ、外側面と面より。 外側 口縁部横ナデ。下位縦方向ハケメ。上平を中心にして縦方向直置き。 内側 口縁部横ナデ。縦方向直置き。縦部横方向直ナデ。
174	土師器 甕	体部下位1/4残存 高 (6.6cm)	南壁端 床直下30cm	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑10YR7/4	球形体部の成形土器の下部。 外側 体部下位横・斜方向ハケメ後、中位の斜方向直置き。底部斜削り。 内側 体部斜方向直ナデ。底部直ナデ。	
173	衛生土器 甕	口縁部残存 口 18.0cm	南東壁寄り 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③暗7.5YR6/6	頸部がくの字に広がる形の土器。頸部はやや内湾し丸くなっている。 外側 口縁部縦方向ハケメの後、縦方向直置き。 内側 口縁部縦方向直ナデ。	
180	土師器 甕	体部下位～底部残存 高 8.2cm	南壁寄り 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③明赤黄5YR3/2	厚い底部に頸部の成形土器の下部。 外側 体部中位横方向ハケメ後、下位縦・斜方向直置き。上平ナデ調整。底部斜削り。直置。内側 体部縦方向直ナデ。底部斜削り直ナデ。	
172	衛生土器 甕	体部上半1/4～体部下位残存 高 10.0cm	南東隅 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③成黄緑10YR8/4	青黄玉色の成形土器。口縁部は不明。 外側 体部上位一位位5～6本の帯状位置2段直ナデ。上～下位横方向・斜方向直置き。 内側 体部下位横方向直ナデ。中位～下位横・横方向直ナデ。	
171	土師器 甕	体部一部欠損 口 19.8cm 高 34.5cm 底 33.0cm 底 8.6cm	伊西面 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③明赤黄5YR5/8	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③明赤黄5YR5/8	口縁部は丸い。頸部はハの字に広出し、大きく外反する口縁部がつく。 外側 口縁部上平直ナデ。下平横方向直置き。体部の斜交文様と同様の色がある部分もある。体部上平横方向の細かな直置き後の斜交文様が残されている。中位横方向直置き。下平斜方向直置き。底部ナデ。 内側 口縁部横方向直ナデ。横方向細かな直置き。体部横方向直ナデ。底部直ナデ。
187	土師器 甕	口縁～底部残存 口 14.1cm 高 16.4cm 底 15.0cm 底 3.0cm	東壁寄り 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑10YR7/3	小さな平底で、底部外面に面とりする外反する口縁の段。 外側 口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ。体部下位斜方向直置き後、中位斜方向直ナデ。上平横方向直ナデ。体部下位平直。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。体部上位～中位縦方向直置き。下位横方向直ナデ。	
181	土師器 甕	ほぼ完形 口 16.5cm 高 20.0cm 底 18.0cm 底 1.9cm	東壁寄り 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③成黄緑5YR6/6	小さな平底で、底部外面に面とりする外反する口縁の段。 外側 口縁部横ナデ。頸部ナデ調整。体部上位横方向直置き・直ナデ後、下位縦方向ハケメ。保付。内側 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜・縦方向直置き。下位横方向直ナデ。	
178	土師器 甕	底部・体部一部欠損 口 16.2cm 高 25.0cm 底 22.1cm 底 3.8cm	東壁寄り・南壁寄りの遺物 接合 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄7.5YR5/3	小さな平底で、口縁部が上方に狭み上げられるタイプの甕。 外側 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位横方向直置き後、中位～下位斜方向直置き。中位には部分的に縦方向直置き。保付。 内側 口縁部横ナデ。体部横・斜方向直ナデ。	
164	土師器 甕	口縁～体部下位1/4残存 口 15.5cm 高 20.3cm	南壁端と東壁寄りの破片接合 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄10YR5/3	小さな平底に、口縁部が上方に狭み上げられる甕。 外側 口縁部横ナデ。頸部ナデ調整。体部中位～下位縦方向ハケメ後、上位横方向ハケメ。口縁～体部上平に保付。内側 口縁部横ナデ。杯部縦方向ハケメ後ナデ。体部横方向直ナデ。下位の斜方向ハケメ残。ゆるやかに面する頸部の段。口縁部は丸い。 外側 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。 内側 口縁部横ナデ。下部に横方向のハケメが残る。頸部横ナデ。体部横・斜方向直ナデ。	
192	土師器 甕	口縁～体部上位1/4残存 口 (14.2cm)	南東壁寄り 床面上5.5cm	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄5YR6/4	ゆるやかに面する頸部の段。口縁部は丸い。 外側 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。 内側 口縁部横ナデ。下部に横方向のハケメが残る。頸部横ナデ。体部横・斜方向直ナデ。	
354	土師器 甕	口縁部破片 口 (14.0cm)	埋込土	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄7.5YR7/4	受け口状の狭口頸部。底部内部には面とり。 外側 口縁部横ナデ。口縁部下位～頸部縦方向ハケメ。体部上位横方向ハケメ。 内側 口縁部横ナデ。頸部縦方向ハケメ。体部斜方向ハケメ。 ゆるやかに面する頸部の段。口縁部は狭み上げられ、外面に面とり 外側 口縁部横ナデ。体部横・斜方向ハケメ。 内側 口縁部～頸部横方向ハケメ後、横ナデ。体部横方向直ナデ。	
191	土師器 甕	口縁～体部上位1/4残存 口 (13.3cm)	北東隅 床面直上	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑10YR7/3	①胎土 ②胎成 ③色調 ①胎土 ②胎成 ③色調 ③に赤黄緑10YR7/3	

遺物観察表

(2区33号住居・第42・43区)

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
185	弥生土器 甕	口縁→胴部瓦片 口 16.4cm		北東隅 床面直上	①微細砂・赤砂・赤色鉱物 粒を多く含む。②酸化焼。 ③赤い焼5YR5/4	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部は厚く丸い。 外側 口縁部斜-縦方向ハケム。胴部斜-縦方向ハケム。腹のハケムは 斜めの。内側 口縁部横-斜方向ハケム。胴部横-斜方向ハケム後、 縦方向ハケム。
189	土師器 小形甕	口縁→体部下位瓦片残存 口 12.7cm 最 14.3cm		胴底面直上・ 北東隅直上 上の破片接合	①微細砂・角閃石・長石類 粒を含む。②酸化焼。やや硬質。 ③赤5YR6/6	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部外面に面とり。 外側 口縁部縦-縦方向ハケム。腹縦-縦方向ハケム後、丸い頸ナデ。体部縦-縦方向 ハケム。部分的に横方向ハケム。 内側 口縁部横ナデ。胴部横方向ハケム後ナデ。体部横方向ハケムナデ。
188	土師器 小形甕	口縁→体部上位残存 口 13.0cm		南東隅 床面直上	①微細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焼。やや軟質。 ③赤5YR6/6	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部外面に面とり。 外側 口縁部縦-縦方向の広いハケム後、横ナデ。体部上半横方向の細かい ハケム。下半横方向ナデ調整。胴部ナデ調整。 内側 口縁部横方向の広いハケム。体部横方向ハケムナデ。
186	土師器 台付甕	体部下位→胴部残存 最 9.0cm		伊使用面上上 北東隅床面直 上の遺物が接合	①微細砂・砂粒(直径4~5 mm)を多く含む。 ②酸化焼。軟質。 ③明赤焼5YR5/6	やや大きくハの字に開く口部。 外側 体部下位斜方向調整後、縦方向ハケム。中位の横方向調整前。 胴部ナデ調整後。下半のみ縦-斜方向ハケム。 内側 体部強い膨出ナデ。胴部前方向ハケム。上半ナデ調整。
183	土師器 甕	口縁→体部下位ほぼ完整 口 17.1cm 最 19.7cm		南東隅 床面上9~7 cm	①細砂を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③赤い焼5YR6/3	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部は上方につまみ上げ られ。外面に面とり。 外側 口縁部横ナデ。縦方向ハケム(4~5本/cm)。胴部縦-縦方向ハケム (8本/cm)。体部上位縦方向ハケム(8本/cm)。中位縦方向ハケム(8 本/cm)。下位縦-斜方向ハケム(8本/cm)の後、上位→中位にかけて 斜方向ハケム(4~5本/cm)。 内側 口縁部横方向ハケム(4~5本/cm)後、横ナデ。胴部横方向ハケム (8本/cm)。体部横方向ハケム(8本/cm)後、上半横方向ハケムナデ。 下半横方向調整前。下半横-斜方向調整前。
179	土師器 台付甕	口縁→体部下位瓦片残存 台部瓦片残存 口 15.9cm 高 25.1cm 最 20.0cm 最 8.7cm		東端・南東隅 の破片接合 床面直上	①微細砂および直径3~4mm の小石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③微黄焼10YR8/4	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部。やや内湾する台部がつく。口縁部 外面に面とり。 外側 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上位縦方向ハケム。中位斜方向ハ ケム。下位縦方向ハケム。台部縦-斜方向ハケム。台部接合部横ナデ。 内側 口縁部横方向ハケム。胴部横方向ハケム。体部横方向ハケムナデ。台部 ナデ調整。台接合部一部にハケムが残る。
182	土師器 甕	口縁全周→体部瓦片残存 口 17.0cm 最 21.5cm		が内およびが 周辺と東端寄 りの床面直上	①砂粒・小石を少量含む。 ②酸化焼。硬質。 ③橙2.5YR6/6	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部外反するが胴部は丸い。 外側 口縁部縦方向ハケム(4本/cm)後、横ナデ。胴部縦-縦方向ハケム (4本/cm)。体部上位縦方向ハケム(10本/cm)。中位縦方向ハケム(10 本/cm)後、上位→中位斜-縦方向ハケム(4本/cm)。体部上半斜方向 調整前。中位横方向調整前。無調。 内側 口縁部横方向ハケム(4本/cm)後、横ナデ。胴部横方向ハケム (10本/cm)後、ナデ。体部上半斜方向調整ナデ後。下半横方向調整ナデ。
355	土師器 S字甕	体部破片		埋没土	①微細砂少量含む。②酸化焼。 ③赤い焼5YR5/3	薄手の破片。ハケムの線形等からS字甕と考えられる。 外側 縦-横方向の広いハケム。内側 ナデ。
356	弥生土器 甕	口縁部破片		埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焼。 ③赤い焼5YR7/4	下端が少し窪下する複合口縁の器形土師破片。 外側 上部部・下部部に磨面状工事で軟質。その間は、横方向ハケム 後、横ナデ。内側 縦方向調整前。
215	土製品 鈚罌	瓦片残存 上 3.3cm 高1.4cm 下 4.9cm		埋没土	①微細砂。直径1~2mmの 石英粒を含む。②酸化焼。 ③赤焼5YR4/6	断面低い台形の鈚罌。縁はゆるやかに丸い印象。 外側 ナデ。下面にはハケムが残る。

2区37号住居出土遺物観察表(土器)第44区・PL16

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
219	土師器 甕	口縁部破片		埋没土	①細砂をやや多く含む。 ②酸化焼。 ③赤い焼7.5YR7/3	172.5cmほどの折り返し口縁破片。 外側 折り返し調整ナデ。下半斜方向ハケム後、ナデ。 内側 横方向ハケム後、縦方向調整前。
217	弥生土器 甕	体部破片		埋没土	①細砂を多く含む。②酸化焼。 ③赤い焼5YR5/4	小形の器形体部上位破片か？ 外側 平行線文の間に斜方向の平行線で三角文を描く。内側 ナデ。
216	土師器 甕	口縁→体部中位瓦片残存 口 17.2cm 最 27.3cm		中央北寄り 床面上4.5cm	①細砂を多量に含む。 ②酸化焼。硬質。 ③微黄焼10YR8/3	ゆるやかに膨出する頸部に丸い体部の腹。口縁部はやや丸く、外面に 面とり。 外側 口縁部上半横ナデ。下半横方向の広いハケム。体部上位斜-縦方向 の広いハケム。中位斜-縦方向の広いハケム。部分的に縦方向調整前。 内側 口縁部上半横ナデ。下半横方向の広いハケム。体部横方向ハケムナデ。

2区37号住居出土遺物観察表(石器)第44区・PL16

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S20	打製石斧 未製品	6.8・5.9 3.1	黒色頁岩 126.5	埋没土	剥離の初期に生じる大型の剥片を用いる。器体の上半が大きく欠損するため全体の形状 は不明だが、概して短田状に近い形状を呈する可能性が高い。

2 古墳時代初期の出土遺物

2区48号住居出土遺物観察表(土器)第45回

番号	器種	残 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
220	土師器 高杯	口縁部小破片 口(9.6cm)	埋没土	①黒細砂を含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤い赤褐色2.5YR4/4	丸い輪郭の高杯の杯部。 内外面 斜方向磨き。

2区49号住居出土遺物観察表(土器)第47回・PL2I

番号	器種	残 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
221	土師器 甕	母体完形 口 18.5cm 高 24.6cm 最 23.8cm 底 5.2cm	北隅 床面上4cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③灰白10YR8/1	小さな底部に丸い体部の頸部。頸部はゆるやかに屈曲し口縁部は外反して 肩部外面に面とす。 外側 口縁部横ナズ。頸部ナズ。体部上半斜方向ハケム。中位横方向ハ ケム。下半縦方向ハケム。窪付。 内側 口縁部横ナズ。頸部横方向ハケム後、ナズ。体部上半中位横方向 横ナズ。下半縦方向横ナズ後横方向横ナズ。黒底。
222	土師器 甕	口縁～体部片残存 口(21.8cm)最(26.0cm)	南東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含 ②酸化色。やや硬質。 ③赤い黄褐色10YR7/2 黒褐色10YR3/1	小さな底部に丸い体部の頸部。頸部はゆるやかに屈曲し口縁部は外反する。 底部はやや丸い。 外側 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部上半斜・斜方向ハケム。下半縦 方向・斜方向ハケム。底部ナズ。内側 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。 体部横方向横ナズ。斜方向横ナズ。底部横方向横ナズ。
223	土師器 甕	口縁～体部上半片破片 口(17.4cm)	北東壁際 床面上4.5cm	①細砂・石英粒・角閃石を 多量に含。②酸化色。硬質。 ③黒褐色10YR3/2	丸い体部。くの字に外反する口縁部。 外側 口縁部横ナズ。体部上横方向ハケム。 内側 口縁部横ナズ。体部上横方向ハケム後、横方向横ナズ。
228	土師器 鉢	口縁～体部中位片破片 口(6.0cm)	埋没土	①黒細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③明赤褐色5YR5/8	丸い体部。短く外反する口縁部が直立気味につく。 外側 口縁部横ナズ。体部縦方向横ナズ。 内側 口縁部横ナズ。体部縦方向横ナズ。
226	弥生土器 甕	口縁部片破片 口(13.8cm)	埋没土	①黒細砂・角閃石を多量に 含む。②酸化色。 ③赤い黄褐色10YR5/2	やや直立気味の頸部。短く外反する口縁部。 外側 口縁部横ナズ。指形指面成。輪模み痕2～数段残す。 内側 口縁部横ナズ。下半縦方向横ナズ。
232	土師器 甕	口縁部小破片 口(11.8cm)	埋没土	①黒細砂・細砂を含む。 ②酸化色③明赤褐色5YR5/8	短くくの字に外反する口縁部。底部は内凹する。 外側 口縁部横ナズ。内側 横ナズ。
234	土師器 甕	口縁～肩部片破片 口(14.0cm)	中央部 床面上4.5cm	①黒細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③暗褐色7.5YR3/3	くの字に屈る頸部の口縁部。 外側 口縁部横ナズ。肩部縦方向横ナズ。 内側 横ナズ。肩部縦方向横ナズ。
227	土師器 甕	口縁部破片 口(18.0cm)	埋没土	①砂粒・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③明褐色10YR6/6	大きく外反する唇の口縁部。底部外面に面とす。 外側 口縁部上横ナズ。下半縦方向ハケム。 内側 口縁部横ナズ。
230	土師器 甕	口縁～体部上位小破片 口(14.2cm)	北隅 床面直上	①黒細砂・直径2～5mmの 小石を少量含む。②酸化色 ③赤い黄褐色10YR6/4	下部に段をもって形成して直立し、底部は短く外反する口縁部。 外側 口縁部横ナズ。体部上位斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナズ。頸部横方向ハケムかすかに残るナズ。
231	弥生土器 甕	頸部片破片 頸部内径9.0cm	埋没土	①黒細砂・角閃石を多く含 ②酸化色。やや硬質。 ③暗7.5YR7/6	くの字に屈する頸部。 外側 口縁部横ナズ。頸部4条1段の磨目状文施文。体部上位横方向 ナズ。内側 口縁部斜方向横ナズ。体部上位横方向横ナズ。
225	土師器 甕	体部下位～底部残存 底 6.4cm	南東壁寄り 床面上4.5cm	①砂粒・黒細砂・角閃石を 多く含む。②酸化色。 ③赤い黄褐色5YR6/4	小さな底部から球形に立ち上がる身体部下部。 外側 体部下位縦方向横ナズ。底部ナズ。 内側 体部下位縦方向ハケム後横方向ハケム。底部ナズ。
333	弥生土器 甕	口縁部破片	埋没土	①直径0.5～0.1mmの細砂・ 角閃石を多く含む。②酸化 色③赤い褐色5YR7/3	外側 口縁部から磨目状工具による磨突。下位は縦方向ハケム後磨き 内側 横方向横ナズ。
229	弥生土器 甕	頸部～体部破片	埋没土	①黒細砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③暗褐色7.5YR6/2	丸い体部の小形器形土器の頸部破片。 外側 体部上位磨目平縁文2段の下に磨目磨目状文を施文。全面 赤色塗彩されていたと考えられるが磨目のみ顕著に残る。 内側 頸部は横方向横ナズ。赤色塗彩。体部は指ナズ。

2区52号住居出土遺物観察表(土器)第48回

番号	器種	残 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
238	土師器 埴	口縁部片破片 口(9.3cm)	埋没土	①細砂・直径1～2mmの赤 色鉱物粒を含む。②酸化色。 硬質③赤い黄褐色10YR7/2	くの字に頸部が屈曲し、底部は薄くなって内凹する。 外側 口縁部横ナズ。横方向横ナズ。口縁部はうすくすばり全体が 内凹する。内側 口縁部横方向横ナズ。
237	弥生土器 小形甕	口縁部片破片 口(16.8cm)	埋没土	①細砂・黒細砂・少量の 角閃石を含む②酸化色。硬 質③赤い黄褐色7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部から直立気味に外反する口縁部。頸部は丸い。 外側 口縁部上横方向横ナズ。下半縦方向横ナズ。 内側 横方向横ナズ。
234	土師器 高杯	体部片破片 口(19.6cm)	床面直上	①直径1mmほどの細砂を多 く含む。赤色鉱物粒を含む ②酸化色。 ③赤い黄褐色10YR3/6	直線的に外反する高杯形の杯部。 外側 口縁部横ナズ。杯部縦方向横ナズ。 内側 口縁部横ナズ。杯部縦方向横ナズ。
233	弥生土器 甕	体部下位片残存 底 9.2cm	北壁際 床面上4cm	①砂粒を多く含む。 ②酸化色。 ③赤い黄褐色7.5YR6/4	やや厚手の底部からゆるやかに立ち上がる体部下手。 外側 体部縦方向横ナズ。下位横方向横ナズ。底部一方横ナズ。 内側 体部下位横方向横ナズ。中位横方向横ナズ。底部一方横ナズ。

遺物観察表

(2区52号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
236	弥生土器 甕	口縁～体部中位1/4残存 口 13.3cm		埋没土	①赤褐色・長石粒を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③灰白増10YR8/3	丸い体部からゆるやかに屈曲する頸部に短く外反する口縁部がつく。 外側 口縁部輪郭み目を2段階する。横ナデ。体部上半斜方向直磨き。 内側 口縁部横ナデ。体部上半斜方向直ナデ。
235	弥生土器 蓋	体部下位～底部残存		床面直上	①細砂・微細砂を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③濃い黄褐色10YR5/4	厚手の底面。 外側 体部下位斜方向直磨き。一方直磨き。 内側 体部。底部横方向直磨き。

2区52号住居出土遺物観察表(石器)第48図

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S22	打製石斧	6.8・4.0 1.3	黒色頁岩 35.0	埋没土	器体の下端部分を大きく欠損するため全体の形状は不明だが、細線形状から判断して、概ね短冊状を呈する可能性が高い。側縁部分は鋭く磨耗する。使用段階の欠損か。

2区55号住居出土遺物観察表(石器)第49図・PL22

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
241	土師器 甕	口縁～胴部1/4破片 口 16.0cm		埋没土	①角閃石・微細砂を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③灰濁7.5YR4/2	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。肩部つまみ上げられ、外面に面とり。 外側 口縁部斜方向ハケメ。胴部横方向細いハケメ後、横方向直ハケメ。 内側 口縁部斜方向ハケメ。胴部斜方向直ナデ。
239	弥生土器 蓋	口縁～胴部残存 口 19.0cm		中央部 床面直上	①細砂・石英粒・角閃石を 多く含む。②酸化焼。 ③灰濁10YR4/2	ゆるやかに外反する口縁部破片。 外側 口縁部現状で4段の輪郭を横を挟み、指ナデ。口縁部内面に面 とり。内側 口縁部横ナデ。
240	土師器 蓋	胴部のみ残存		中央部 床面直上	①直径3～5mmの砂粒・石 灰を多量に含む②酸化焼。 硬質。③濃い赤褐色5YR5/3	丸い屈曲する唇部と頸部破片。 外側 頸部縦方向・斜方向直磨き後、縦方向直磨き。 内側 頸部斜方向直磨き。磨耗が著しく明瞭でない。
242	弥生土器 蓋	口縁部破片		埋没土	①微細砂・角閃石と少量の 小石を含む。②酸化焼。 ③濁10YR4/6	外側 一単位4条の縦溝状文様。 内側 横ナデ。
243	弥生土器 蓋	体部破片		埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③黒濁7.5YR2/1	薄手の小形壺形土器の体部破片。 外側 上半R1輪郭の縄文施文。下半横方向直磨き。 内側 横方向直磨き。

2区55号住居出土遺物観察表(石器)第49図・PL22

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S23	磨石	14.2・8.5 5.6	粗粒安山岩 1060.0	埋没土	断面三角形の棒状物の三面に部分的に磨り面が認められる。途中で欠損している。

2区57号住居出土遺物観察表(土器)第51図・PL23

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
247	土師器 甕台	器受部下位～胴部1/4残存 底 8.5cm		埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③橙5YR6/6	ハの字に開く小形甕台の胴部。 外側 器受部ナデ。胴部縦方向ナデ。 内側 器受部ナデ。胴部横方向直ナデ。
1042	土師器 小形甕台	器受部～底部1/4残存 口 7.8cm 高 8.0cm 底 11.4cm		埋没土	①細砂・石英粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③濃い増7.5YR5/4	小さく浅い器受部。口縁部はやや内凹。胴部は開き、肩部は内凹。 外側 口縁部横ナデ。器受部横方向直磨き。胴部上半横方向直磨き。下 半ナデ。器受部横ナデ。 内側 器受部縦方向直磨き。胴部横方向直磨き。下半ナデ。器受部横ナデ。
245	土師器 甕	口縁～体部上位1/4残存 口 15.8cm		中央部 床面上16.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③黒濁5YR3/1	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。胴部内面に面とり。 外側 口縁部横ナデ。体部上位縦方向ハケメ中位斜方向ハケメ。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向ハケメ後部分的に横方向直磨き。
246	土師器 蓋	口縁～胴部1/4残存 口 8.8cm		埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長 石粒・黒色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③灰白10YR8/2 赤 10R4/6	球形の体部からゆるやかに屈曲する頸部に直立気味に口縁部立ち上がる。 外側 口縁部上位直ナデ。下位縦方向直ナデ。横方向ナデ。胴部横ナデ 胴部縦方向細い直磨き。赤色着色。 内側 口縁部直ナデ。下位横方向直ナデ。胴部横ナデ。胴部縦方向直 ナデ。輪郭み目を挟み。

2区59号住居出土遺物観察表(土器)第53図・PL24

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
251	土師器 手挽ね 甕	宍形 口 3.8cm 高 5.8cm 底 2.8cm		南東部 床面直上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。やや軟質。 ③明濁灰7.5YR7/2	小形の細頸の甕。体部は厚壁玉形。口縁部は外反。 外側 口縁部横ナデ。体部縦方向直磨き。底部直磨き。 内側 口縁部横ナデ。下位横方向直磨き。体部底部面凹。
253	土師器 鉢	球状宍形 口 13.6cm 高 4.1cm 底 4.7cm		東壁際 床面上6cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③明濁赤2.5YR5/6	やや浅い鉢。口縁部は内凹する。 外側 口縁部横ナデ。体部縦方向直磨き。横方向直ナデ。底部直ナデ。 内側 口縁部横方向ハケメ後横ナデ体部横方向ハケメ後下半直磨きナデ。

2 古墳時代初期の出土遺物

(2区59号住居)

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
255	土師器 S字罎	口縁部/破片 口 (15.2cm)		埋没土	①直径1mほどの砂粒を含む。 ②酸化焰。 ③にぶい赤褐色5YR4/3	立ち上がりが直立し、口縁部内面に面とり、2段目の外反は少ない。 外面 口縁部横ナゲ、頸部側から口縁部後縁方向ハケム。頸部直下に横方向ハケム。 内面 口縁部横ナゲ頸部横ナゲハケム下部横方向直ナゲ。
252	土師器 高杯	胴部/欠片 口 13.1cm 高 9.1cm 底 20.1cm	東壁端 床面上2cm	①細砂・角閃石・石英粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい赤褐色5YR6/4	浅い碗形の杯。胴が小さく傾い低い部。口縁部はやや外反。 外面 杯部縦方向ハケム後、部分的に横方向直ナゲ。胴部縦方向直ナゲ後部部を中心に縦方向直ナゲ。 内面 杯部縦方向直ナゲ平反直ナゲ。横・斜方向ハケム後上半の縦方向の直ナゲ調整。	
256	土師器 台付罎	台部/残存 底 7.7cm	埋没土	①濃細砂・角閃石・石英 粒を多く含む。 ②酸化焰 ③にぶい黄褐色10YR6/3	ハの字に開く低い台部。 外面 体部下位ナゲ。台部縦方向直ナゲ。 内面 体部横方向直ナゲ。斜方向直ナゲ。頸部横ナゲ。	
254	赤生土器 罎	口縁部/破片		埋没土	①濃細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい暗7.5YR7/4	外面 体部下位ナゲ。台部縦方向直ナゲ。 内面 体部横方向直ナゲ。斜方向直ナゲ。頸部横ナゲ。 外反する様子の口縁部。端部はすぼまる。 外面 7本1単位の櫛歯状文を4段施文。頸部には櫛状文があったと思われる。 内面 横方向直ナゲ。
249	土師器	口縁～体部下位/破片 口 (6.8cm) 高 (15.4cm)	南東部 床面上直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐色5YR5/6	丸い体部にゆるやかな頸部から内湾する口縁部が立ち上がる。広口。 外面 口縁部頸部横ナゲ、縦方向ハケム。体部下位半横方向ハケム下斜方向ハケム。 内面 口縁部頸部斜方向ハケム後上ナゲ。体部横方向直ナゲ。	
250	土師器 罎	頸部～体部下位/残存 蓋 (16.8cm)	東壁端 床面上2cm	①細砂を多量に含む。赤色 加物粒が散在する。②酸化焰。 ③にぶい黄褐色10YR6/3	丸い体部に、直立して口縁が立ち上がる。 外面 頸部斜方向ハケム。体部下位横方向ハケム。下位縦方向ハケム。 蓋下部ナゲ。 内面 頸部横方向ハケム。体部斜方向直ナゲ。	
248	土師器	口縁～体部下位/残存 口 (14.9cm)	東部 床面上直上	①直径2～5mmの砂粒・微 細砂を多く含む。②酸化焰。 ③にぶい赤褐色5YR5/4	丸い体部。口縁の曲い頸部に受け口の口縁部が立ち上がる。端部は外反して内湾している。 外面 口縁部頸部横ナゲ後縁方向ハケム。体部横方向直ナゲ後斜方向ハケム。 内面 口縁部頸部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。	

2区59号住居出土土物観察表(石器)第53区・PL24

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S26	敲石	12.9 × 6.3 3.5	灰色安山岩 400.0	埋没土	断面が長楕円形の円錐の頂部に敲打痕が残る。
S24	打製石斧	8.4 × 4.9 2.1	黒色頁岩 79.0	埋没土	左右両側の側縁部分に調整を施す幅広い削片を用いる。概ね、短切面に近い形状を呈す。右側縁には著しい「溝れ」が存在する。

2区60号住居出土土物観察表(土器)第55区・PL23

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
257	赤生土器 罎	漆喰成形 口 13.0cm 高 23.6cm 底 19.0cm 底 7.0cm	南東隅 床面上4cm	①濃細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい黄褐色10YR7/2	胴形の体部にゆるやかな頸部の頸部から、短く外反する口縁部が立つ。 外面 口縁部～体部下位半横RL縦文様施文。体部下位上半横方向直ナゲ。下半斜・縦方向の直ナゲ。単反。 内面 口縁部～体部下位横方向直ナゲ。体部下位上半不定方向直ナゲ。下半内面整形は明確ではない。	
261	赤生土器 罎	口縁部/破片 口 (26.1cm)	南東隅 床面上11cm	①濃細砂・直径1mmの砂・ 角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい暗7.5YR5/2	大きく外反する口縁部。上半に折り返しがある。 外面 口縁部約1.7cmの折り返し部に縦文施文。折り返し部直下斜方向直ナゲ。 内面 横方向直ナゲ。口縁部は大きく外反するが、端部はゆるやかに内湾している。	
259	赤生土器 罎	口縁部～体部上位/残存 口 14.0cm	北東隅 床面上直上	①濃細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③にぶい暗7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部から、やや外反する口縁部が立ち上がる。端部は丸い。 外面 口縁部上半横ナゲ。下半直ナゲ。指節状残存。体部横・斜方向直ナゲ後、縦方向直ナゲ。 内面 口縁部上半横ナゲ。下半横方向直ナゲ。体部横方向直ナゲ。	
262	赤生土器 罎	口縁部～体部上位/残存 口 11.6cm	埋没土	①砂粒・石英粒・角閃石を 多く含む。 ②酸化焰。 ③暗7.5YR6/6	ゆるやかな屈曲の頸部に、外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナゲ後、一単位9条の櫛歯状文を1段施文。頸部一単位9条の櫛歯状文4道止を1段施文。胴部一単位6条の櫛歯状文を2段施文。 内面 横方向直ナゲ。	
351	土師器 罎	頸部のみ/残存	埋没土	①濃細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい暗7.5YR7/4	ほぼ直立する頸部。口縁部頸部より出し、体部は球形になるとみられる。 外面 頸部縦方向ハケム後、縦方向直ナゲ。胴部平行線の文様あり。 内面 頸部斜方向ハケム後、縦方向直ナゲ。	
269	赤生土器 罎	口縁部～胴部/破片	埋没土	①濃細砂・長石・直径1 mmの白色加物粒を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③灰黄褐色10YR5/2	丸い体部に、ほぼ直立して立ち上がる口縁部。 外面 口縁部下位半横ナゲ。頸部一単位10条の櫛歯状文3道止を1段施文。体部下位一単位9条の櫛歯状文を2段施文。 内面 口縁部から頸部横ナゲ。体部斜方向の直ナゲ。	
260	赤生土器 罎	口縁部/破片 口 (15.2cm)	埋没土	①濃細砂・角閃石・長石 加物粒を含む。②酸化焰。 ③にぶい暗7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部に大きく外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナゲ後、横方向直ナゲ。頸部ナゲ後、一単位5条の櫛歯状文を2段施文。体部下位後縁方向の直ナゲ。 内面 口縁部から頸部横ナゲ後直ナゲ。体部横方向直ナゲ。	
273	土師器 甗台	胴部/破片 底 (13.4cm)	埋没土	①細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	三角錐形で、基部がやや開いた筒形胴部。 外面 胴部下位半横方向直ナゲ。下半横方向直ナゲ。 内面 横方向直ナゲ。	
272	土師器 鉢	口縁部～底部/残存 口 (14.0cm) 高 6.9cm 底 5.8cm	埋没土	①濃細砂・角閃石と少量の 直径3～5mmの小石を含む。 ②酸化焰。 ③明赤褐色2.5YR5/6	丸い体部の鉢形土器。口縁部部は内湾する。 外面 口縁部横ナゲ。体部縦方向の直ナゲ概ね2段。直部下ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部から底部横・斜方向直ナゲ。	

遺物観察表

(2区60号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
256	土師器 甕	口縁部～体部上位に残存 口 14.0cm		南東隅 床面直上	①少量の直径3～8mm砂粒と多くの微細砂を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	丸い体部にくの字に屈曲する頸部から外反する口縁部が立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ。体部下半斜方向のハケメ。 内面 口縁部縦ナデ・縦方向のハケメ。部分的に横ナデ。体部下半横方向の横ナデ。一部縦・横方向の彫割き。
264	土師器 甕	口縁部破片 口 (15.2cm)		埋没土	①微細砂・内閃石・石英粒多く含む。やや硬。②酸化色。 ③にぶい橙7.5YR6/4	下部に段をもって肥厚して直立し、端部は短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。下半横方向のハケメ残る。体部ナデ。
265	土師器 甕	口縁部～頸部5/6破片 口 (19.4cm)		埋没土	①微細砂・内閃石を多量に含む。②酸化色。 ③橙7.5YR6/6	直立する頸部に外反する二重口縁部がある。端部外面に鋭い面ととり。 外面 口縁部斜り立ち部上半横ナデ。下半縦方向ハケメ。頸部ナデ。 内面 口縁部上半横ナデ。下半横方向の横ナデ。頸部ナデ。
263	土師器 甕	口縁部5/6破片 口 (17.8cm)		埋没土	①微細砂・石英粒・内閃石を含む。②酸化色。硬質。 ③明赤褐色5YR5/6	ゆるやかな頸部。外反する口縁部。端部は上に傾み上げられ、外面には広く面ととり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部最上位縦方向のハケメ。上位横方向のハケメ。内面 口縁部横ナデ。下部に斜方向のハケメが残る。頸部横ナデ。体部横方向の彫割り。
268	養生土師 甕	口縁部5/6破片 口 (23.0cm)		埋没土	①微細砂・内閃石を含む。②酸化色。軟質。 ③にぶい橙7.5YR7/3	ゆるやかな頸部。受け口状口縁。端部外面に面ととり。 外面 口縁部横ナデ。頸部横方向の彫割き。 内面 口縁部横ナデ。頸部縦方向の横ナデ。

2区64号住居出土遺物観察表〔土器〕第56図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
275	養生土師 甕	体部破片		埋没土	①直径1～3mmの砂粒・石英粒を多く含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色5YR7/4	外面 上半部にR1様屈曲文様。下半部ナデ。 内面 横方向彫割き。
274	土師器 甕	口縁部～体部5/6破片 口 (19.0cm)		北隅 床面上13cm	①細砂・内閃石を多く含む。②酸化色。 ③にぶい橙7.5YR7/3	丸い体部にゆるやかに屈曲する頸部から、大きく外反する口縁部がつく。口縁部は丸い。 外面 口縁部から頸部縦方向ハケメ後、横ナデ。体部斜方向のハケメ。 内面 口縁部から頸部横方向ハケメ後、横ナデ。体部縦・斜方向の横ナデ。口縁部は大きく外反する。
332	養生土師 甕	体部上位破片		埋没土	①細砂・微細砂・内閃石と直径3～6mmの小石を少量含む。②酸化色③明赤褐色5YR5/8	外面 体部下半縦方向の彫割き後、上部には横筋の平行横文。下部に2条の爪形文。 内面 体部縦方向の横ナデ。

2区65号住居出土遺物観察表〔土器〕第58図・PL25

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・整形・文様の特徴
276	土師器 埴	底部残存 高 2.0cm		東部 床面上8cm	①微細砂・直径1～3mmの石英粒を含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/3	小さな底部から丸い体部に続く。 外面 体部下半横方向彫割き。底部ナデ。 内面 体部下半横方向横ナデ。
279	土師器 鉢	口縁部～底部5/6残存 口 16.8cm 高 7.1cm 底 4.3cm		埋没土	①直径1～2mmの白色麻粉粒微細砂を多く含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	小さな平底のやや深めの鉢。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向彫割き。底部一方内湾削り。 内面 口縁部横ナデ。体部斜方向彫割き。底部彫割き。
278	土師器 甕	体部下位～底部残存 高 8.4cm		埋没土	①微細砂・石英粒を多く含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	球形の体部の造形土師の下半部。 外面 体部下位縦方向彫割き。下部横方向ナデ。底部彫削り後、一方内湾削り。 内面 体部下位横方向彫割き。下部横方向ナデ。底部横方向横ナデ。
277	養生土師 高杯	杯部のみ残存 口 23.9cm		中央部 床面直上	①角閃石・石英粒・砂粒を多く含む。②酸化色。硬質。 ③灰褐色10YR6/2	大形で浅い高杯の杯部。口縁部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向彫削り彫割き。複合部横方向彫削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部縦方向彫削り彫割き。 内外面赤色塗彩されているが、色はあせている。
280	土師器 台付甕	体部下位～台部中位5/6残		埋没土	①直径2～5mmの砂粒少量と微細砂を多く含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR6/4	大形の台付甕の体部・台部の複合部。 外面 体部縦方向ハケメ。台部縦方向ハケメ。 内面 体部横方向ハケメ。台部ナデ。

2区65号住居出土遺物観察表〔石器〕第58図・PL25

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S25	削器	2.4 × 3.8 1.1	黒色頁岩 33.0	埋没土	鎌面を大きく残す削器の初期段階に生じる削片を用いる。加工は上下両端部分に集中的に集まれ、端部に直線的刃部に作り出している。
S31	礫石	3.5 × 4.0	黄緑岩 30.0	埋没土	扁平な板状に加工された礫石の、上端が欠損した小形の礫石。上面はよく使用されている。

2区67号住居出土遺物観察表(土器)第60図・PL25

番号	器種	表 裏 注	存 在 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
289	土師器 器台	器受部下位口～脚部上位残存		埋設土	①黒磁砂・少量の小石直径 5～8mmを含む。②酸化焼。 ③磁黄15YR6/6	特殊器台の器受部と脚部の接合部。 外側 器受部下位斜方向直置き。脚部縦方向直置き。 内側 器受部下位横方向直置き。脚部ナゲ。
287	土師器 台付罎	台部残存 径 11.6cm		北部 床面上11.7cm	①黒磁砂を多く含む。 ②酸化焼。③磁黄2.5YR6/6	やや大形の台付罎の器台。器台はやや内開する。 外側 台部斜方向直置き後、斜方向ハケム。内側 台部斜方向直置き。 外側 台部斜方向直置き。器台斜方向ハケム。内側 台部斜方向直置き。
286	土師器 土罎	口縁部欠損 口 11.5cm 高 12.0cm 最 12.3cm 底 5.2cm		北部 床面直上	①黒磁砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③磁黄2.5YR6/3	丸い体部。ゆるやかな傾斜する頸部。外反する口縁部。小形。 外側 口縁部から頸部斜方向直置き。体部上平直上斜方向直置き。 内側 口縁部から頸部斜方向直置き。体部上平直上斜方向直置き。中位上斜上斜方向直置き。下半上斜上斜方向直置き。底部直置き。
284	土師器 罎	口縁部～体部上位口(破片) 体部下位～底部片残存 口(17.8cm) 高 8.9cm		中央部 床面上31cm	①黒磁砂・長石粒・角閃石・ 赤色鉱物粒・白色鉱物粒を 含む。②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	丸い体部。ゆるやかな傾斜。短く外反する口縁部。大形。 外側 口縁部から頸部横ナゲ。体部上横方向直置き。中位直上斜後、 横方向直置き。下位縦方向直置き。底部縦方向直置き。内側 口縁部から頸部横ナゲ。体部上横方向直置き。
288	土師器 罎	口縁部～体部中位口(破片) 口(15.6cm)		埋設土	①黒磁砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい焼10YR7/2	丸い体部。ゆるやかな傾斜。外反する口縁部。 外側 口縁部から頸部横ナゲ。体部上横方向直置き。横 方向直置き。内側 横方向ハケム後、斜方向直置き。頸部から体部上 位横方向直置き。
285	土師器 罎	口縁部～体部下位口(残存) 口(13.7cm)		中央部 床面上21cm	①直径3～5mmの砂粒・微細 砂・角閃石を含む。②酸化焼。 ③にぶい焼10YR5/4	ゆるやかに傾斜する頸部。やや下開れの体部と、外反する口縁部。 外側 口縁部横ナゲ。体部上横方向ハケム。下位斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナゲ。体部上横方向直置き。
283	弥生土器 甕	口縁部～底部片残存 口(11.1cm) 高 19.1cm 最 15.4cm 底 6.3cm		中央部 床面上23cm	①黒磁砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焼。やや軟質。 ③にぶい焼10YR6/3	ゆるやかに傾斜する頸部。下半部に最大径のある体部。 外側 口縁部から頸部斜方向直置き。体部上横方向直置き。中位縦方 向ハケム後、上を平直する。下位縦方向直置き。底部直置き。 内側 口縁部斜方向直置き。頸部縦方向直置き。体部上横方向直置き。 下半縦方向直置き。底部直置き。
281	土師器 甕	体部のみ残存 最 27.6cm		中央部 床面上24cm	①砂粒・白色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③磁黄10YR8/3	体部中位よりやや上に最大径のある球形体部。底部はやや丸い。 外側 体部上平直方向直置き。中位から下位縦方向直置き。底部 一方方向直置き。上半平直着。黒底。 内側 体部縦方向直置き。底部直置き。
282	弥生土器 甕	体部下位口残存 底(5.9cm)		南東部 床面上28.5cm	①黒磁砂・角閃石を多量に含 む。②酸化焼。硬質。 ③磁黄10YR8/3	小さな体部。やや下位口傾斜する体部。 外側 体部上平直方向直置き後、下半縦方向直置き。中位縦方向直置き。 底部放射状ナゲ。内側 体部上平直・斜方向直置き後、横方向直置き。 下半斜方向直置き。底部放射状ナゲ。

2区77号住居出土遺物観察表(土器)第62図・PL26

番号	器種	表 裏 注	存 在 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
290	弥生土器 甕	口縁部～頸部片残存 口 14.7cm		南東部 床面直上	①直径1～4mmの砂粒・長 石粒・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。市販の折り返しがある。 外側 口縁部上部に2.5cmの折り返し部が付けれ、残りが施文されて いる。折り返しより下は縦方向直置き。黒底。内側 口縁部上平横 方向ナゲ。下半上横方向直置き。下位縦方向直置き。
291	弥生土器 甕	口縁部片残存 口(18.0cm)		西壁寄り 床面直上	①黒磁砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/4	ゆるやかに傾斜する頸部。外反する口縁部。中の折り返しがある。 外側 口縁部縦方向ハケム後、部分的に横方向ナゲ。上部横ナゲ。 頸部傾斜状文。 内側 口縁部上平横方向ハケム。下半から頸部縦方向直置き。
293	弥生土器 甕	体部下位～底部残存 底 9.0cm		南東部 床面上1.5cm	①黒磁砂・角閃石を多量に含 む。②酸化焼。 ③赤褐色5YR5/6	大形の体部下位。 外側 体部下位縦方向直置き。底部直置き。 内側 体部斜方向直置き。横方向直置き。底部直置き。
296	弥生土器 小形罎	口縁部～体部中位口(破片) 口(9.0cm)		南東部 床面上1.5cm	①黒磁砂・長石粒・微細粒を 含む。②酸化焼。 ③赤褐色5YR3/3	ゆるやかに傾斜する頸部。短く外反している。体部は丸い。 外側 口縁部ナゲ。下半位6条の傾斜状文を4段施文。体部上平横・ 斜方向直置き。内側 口縁部から体部上平横方向直置き。
297	弥生土器 罎	口縁部～体部上位口(残存) 口(13.4cm)		西壁寄り 床面直上	①黒磁砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR5/4	ゆるやかに傾斜する頸部。やや外反する口縁部。 外側 口縁部縦方向ハケム後、中位上横とともL状横の 施文文。内側 口縁部縦方向直置き。横・斜方向直置き。
294	弥生土器 罎	口縁部～体部中位残存 口 11.6cm 最 15.0cm		東壁寄り 床面直上	①黒磁砂・角閃石を含む。白 色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焼。 ③にぶい赤褐色5YR3/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は球形。 外側 口縁部2段の輪縁のみを残し、横ナゲ後、口縁部下から斜部 にかけて単筋の施文横施文。体部表面が施文されており、彫形単位は明瞭で ない。下位に縦方向直置きがわずかに取次ぐ。内側 口縁部縦方向直置き。体部縦方向直置き。
295	土師器 罎	口縁部～体部上位口(破片) 口(18.0cm)		東壁寄り 床面上3cm	①砂粒・赤色鉱物粒を多 く含む。②酸化焼。やや軟質。 ③磁黄15Y6/6	丸くくの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。体部は丸い。 外側 口縁部から頸部横ナゲ。体部上横・斜方向ハケム。 内側 口縁部横ナゲ。頸部横方向ナゲ。体部上横方向ナゲ。
288	土師器 台付罎	台部残存 径 8.6cm		P1 跡 床面上1.5cm	①黒磁砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい焼7.5YR7/2	ハの字に開く小形の器台。 外側 台部上平直上斜方向ハケム。中位縦方向ハケム。下位横ナゲ。 内側 台部斜方向ナゲ。
287	土師器 高杯	杯部片残存 口(16.2cm)		東壁寄り 床面上8cm	①黒磁砂・直径3～5mmの 小石を少量含む。②酸化焼。 ③にぶい焼10YR7/4	口縁部中の角閃石。鉢形の高杯杯部。 外側 口縁部横ナゲ。体部上横方向直置き後、下半縦方向直置き。 内側 口縁部横ナゲ。体部縦方向直置き。

遺物観察表

(2区77号住居)

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
299	土製品 紡輪車	瓦残存	口 3.75cm 高 1.4cm 底 4.3cm	北壁際 床面上7cm	①黒細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.5YR6/3	断面台形の紡輪車。 内外面 ナダ調整。

2区83号住居出土遺物観察表〈土器〉第63図

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
300	土師器 壺	口縁部破片	高 6.8cm	北壁際 床面上9.5cm	①細砂・角閃石・角閃石・ 石英粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	厚い肩部破片。大型の壺と考えられる。 外面 体部下位部押え。底部ナダ。 内面 ナダ。厚煎。

2区84号住居出土遺物観察表〈土器〉第64図

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
301	弥生土器 甕	口縁部破片 口 (14.4cm)		埋没土	①黒細砂・角閃石・長石類 粒を多く含む。②酸化焼。 ③黒焼2.5Y/1	ゆるやかに外反する口縁部。 外面 口縁部上位横文。中位縦方向ナダ。下半一単位4条の縦線状 横文を2段施文。頸部縦方向ナダ。内面 口縁から頸部縦方向縦線。
309	弥生土器 甕	体部破片		埋没土	①直径1〜3mmの砂粒を多 量に含む。②酸化焼。 ③(表)明灰黄2.5Y5/2 (裏)浅黄2.5Y/3	外面 上方にR2条の筋線が横位に、下方にはLRと思われる不明瞭な横 文が横位に施文されている。施文方向には乱れがある。 内面 ナダ調整。

2区89号住居出土遺物観察表〈土器〉第65・66図・PL28

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
869	弥生土器 甕	完整	口 16.6cm 高 29.8cm 底 23.8cm 底 7.8cm	南東部 床面上4cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い筒筒形の体部。口縁部は外反し、巾広の 折り返しが肩部につく。 外面 口縁部筋付横線ナダ。下位縦方向ハケム後ナダ。頸部一単位8本 の縦線横文。3道止。体部上位斜方向2段にハケム。横線文と同じ横 文とみられる。その下に一単位8本の縦線横文。中位縦・斜方向 ハケム後大径部分は特に横方向縦線。下半縦方向縦線。底部縦線。 内面 口縁部上部横線ナダ。下半縦方向ハケム。頸部ナダ。体部上半横 方向ナダ。下半斜方向縦線ナダ。
873	弥生土器 甕	口縁部・胴部一部欠損	口 18.5cm 高 32.1cm 底 23.1cm 底 9.5cm	東部 床面上土	①黒細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。肩部が狭る体部。口縁部は外反し、筋部はきり に開く。 外面 口縁部横ナダ。体部上位LR位2段に施文。中位縦方向縦線。 下半縦方向縦線。底部縦線ナダ。 内面 口縁部縦方向縦線。体部上半横方向ナダ。下半縦方向ナダ。
891	土師器 鉢	口縁～体部下位瓦残存	口 (4.7cm) 高 (6.3cm) 底 (8.7cm) 底 (3.0cm)	埋没土	①黒細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR6/6	小さな底部の斜形ナダ。口縁部は短く外反する。 外面 口縁部横ナダ。体部ナダ。 内面 口縁部横ナダ。体部横方向丁寧ナダ。
874	土師器 小形碗台	胴上部瓦残存	口 8.8cm 高 7.3cm 底 10.5cm	中央部 床面上7cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③にじみ焼7.5YR7/4	浅い漏斗形。頸部がやや傾くハの字型の頸部。 外面 口縁部横ナダ。胴受縦方向ナダ。胴部縦方向ナダ。ほぼ中に 3孔。その下に見開き山形文。 内面 口縁部横ナダ。胴受縦方向縦線。胴部縦方向縦線ナダ。
875	土師器 高杯	胴部上半残存		北東部 床面上18cm	①黒細砂・角閃石を多く含 む。②酸化焼。硬質。 ③にじみ赤黒5YR5/4	筋部が内湾する高い筒筒形。 外面 杯形調整。胴部縦方向縦線。4孔穿孔。 内面 杯形調整。胴部筋部との接合部筋ナダ。下半横方向筋ナダ。
876	土師器 瓶	口縁部瓦・体部中位～底 部残存	口 (16.5cm) 高 (9.0cm) 底 (16.5cm) 底 (3.0cm)	中央部 床面上8.3cm	①細砂を含む。 ②酸化焼。 ③にじみ赤黒10YR7/3	小さな底部から大きく開く筒筒形。 外面 口縁部横ナダ。体部筋付り後調整。下部筋調整。 内面 口縁部横ナダ。体部上半横方向ハケム。下半横方向縦線ナダ。
870	土師器 小形台付 壺	口縁部瓦	口 6.5cm 高 12.4cm 底 8.7cm 底 6.4cm	中央部 床面上3cm	①黒細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③赤黒5YR4/6	ゆるやかな筒部。外反する口縁部。丸い体部。浅くハの字に開く口部が つく。 外面 口縁部横ナダ。体部筋付り後。斜方向縦線。上部縦方向縦線。 下部横ナダ。内面 口縁部横ナダ。体部上半横方向ハケム。下半ナダ。 台形横方向ハケム後ナダ。下部横線ナダ。
887	弥生土器 甕	口縁部破片 口 (12.0cm)		埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③赤黒5YR4/6	くの字に外反する肩口縁。内部筋部は巾広く開く。 外面 口縁部筋付横線ナダ後筋状横文を筋付。下位筋ナダ後横・斜方向 縦線。内面 口縁部縦方向縦線ナダ後筋状横文を筋付。
871	弥生土器 甕	体部瓦欠損	口 14.0cm 高 22.5cm 底 (21.5cm) 底 6.0cm	中央部西寄り 床面上3cm	①黒細砂・石英細粒・角閃 石を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③赤黒5YR4/6	くの字に屈曲する頸部。大きく外反する高い口縁部。体部は下側で、 底部は小さい。 外面 口縁部縦方向縦線。中位にごく細い横位の爪形文1条が施文さ れている。体部縦方向の筋が調整後くくの字の頸部直下から、一単位 10〜12本の粗い平縦線が2段に施文されその下に細い横位の爪形文 が2条施文されている。最下部には斜方向ハケムの筋。内面 口縁 部縦方向縦線。体部上半横ナダ。下半斜方向ハケム後筋付に筋ナダ。

2 古墳時代初期の出土遺物

(2区89号住居・第65・66・67図)

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
885	養生土器 蓋	胴部～体部中位片に底部 片残存 最(26.4cm) 高(8.0cm)	南壁際 床面上14.3cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色7.5YR7/3	ゆるやかな頸部。球形の体部。体部下位は上腹式。 外面 胴部縦方向ハケメ。体部上位横方向両向き。下位縦方向両向き。 底面ナデ。内面 胴部横方向両向き。体部上位横方向両向き。体部下 位～底部横方向ナデ。	
889	土師器 甕	口縁～体部中位(破片) 口(11.2cm) 最(12.6cm)	東壁際 床面上11cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③赤褐色7.5YR7/3	やや狭身の体部。短くくの字に屈曲する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ。中位縦方向 ハケメ。内面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部横方向ナデ。	
872	土師器 小形甕	口縁～体部下位片残存 口(12.0cm) 高(11.3cm) 最(13.6cm)	西壁際 床面上8cm	①微細砂と少量の角閃石を 含む。 ②酸化色。やや硬質。 ③赤褐色7.5YR7/3	丸い球形の体部。短くくの字に屈曲する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上位斜方向ナデ。中位～下位斜 方向両側り後縦方向ナデ。内面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上 位横方向両向きナデ。中位～下位縦方向両向きナデ。	
878	養生土器 小形甕	口縁～体部中位・底部片 残存 口 8.8cm 高(19.8cm) 最 9.8cm 底 4.0cm	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③赤褐色7.5YR5/6	体部下位に最大径のある頸部。頸部はゆるやかに屈曲し、口縁部は 外反する。 外面 口縁部～体部上位一単位4～5本の櫛歯状文。中位横方向ナ デ。下位斜方向ナデ。底部窪内。内面 口縁部横方向両向き。体 部中位横方向両向き。下位～底部横方向両向きナデ。	
888	養生土器 甕	口縁部破片 口(16.6cm)	埋没土	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③褐色5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。上部に巾状の剥出し。 外面 口縁部斜方向ナデ。下位縦方向ハケメ。胴部横溝状文。 内面 口縁部上部横ナデ。下位縦方向ハケメ。胴部横方向ナデ。	
877	養生土器 甕	口縁部～体部上位残存 口 13.7cm	中央部西寄り 床面上3cm	①微細砂と少量の角閃石を 含む。②酸化色。 ③赤褐色5YR4/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。上部に直線的。 外面 口縁部上部横ナデ。下位縦方向ハケメ。胴部横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ナデ。	
823	土師器 S字埴	口縁部破片 口(16.2cm)	埋没土	①砂粒と直径1～2mmの石 英粒を含む。②酸化色。 ③赤褐色10YR6/4	屈曲部の低いS字状口縁。肩部はやや丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方向ハケメ後縦方向ハケメ。内面 口 縁部横ナデ。胴部横方向ハケメ。体部上位横方向両向きナデ。胴部横も残る。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。体部上位横方向ハケメ後縦方向ナデ。	
822	土師器 甕	口縁部片残存 口(18.2cm)	埋没土	①微細砂・雲母・角閃石を 含む。②酸化色。 ③赤褐色2.5YR4/6	体部からすぐ直立する口縁部。内外部とも2段の筋状の縁ができていて くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。頸部外面に面とり。体部丸い。 外面 口縁部縦・斜方向両ハケメ。胴部～体部上位縦方向ハケメ。体 部横方向ハケメ。 内面 口縁部縦・斜方向ハケメ。胴部～体部上位横方向ナデ。	
905	土師器 甕	口縁部片残存 口(15.4cm)	埋没土	①微細砂を多量に。角閃石・ 白色鉱物粒を少量含む。 ②酸化色。 ③赤褐色5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反し肩部が深くなる口縁部。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、横ナデ。上部部は指節による押込みがある。 胴部～体部上位縦方向ハケメ。胴部には工具の圧痕が見え、一部に横 方向ハケメが見られる。 内面 口縁部縦・斜方向ハケメ。胴部～体部上位横方向ナデ。	
881	土師器 甕	口縁部片残。胴上部少々 口(21.3cm)	東壁際 床面上11cm	①細砂・角閃石・石英粒を 含む。 ②酸化色。 ③赤褐色7.5YR7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。肩部はぼやめる。 外面 口縁部縦方向ハケメ後、横ナデ。上部部は指節による押込みがある。 胴部～体部上位縦方向ハケメ。胴部には工具の圧痕が見え、一部に横 方向ハケメが見られる。 内面 口縁部縦・斜方向ハケメ。胴部～体部上位横方向ナデ。	
884	土師器 甕	口縁～体部上位破片 口(21.5cm) 高(8.5cm)	南東 床面上16cm	①微細砂を含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色10YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反し肩部が深くなる口縁部。 外面 口縁部斜方向ハケメ後横ナデ。胴部ナデ。体部上位斜方向両側り。 内面 口縁部横方向ハケメ。体部上位横方向ナデ。	
883	土師器 甕	口縁～体部下位(破片) 口(18.6cm) 高(10.6cm) 最(26.5cm)	東壁 床面上9cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色7.5YR7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部縦方向ハケメ後横ナデ。胴部横ナデ。体部上位～中位斜方 向ハケメ。 内面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上位～中位横方向両向きナ デ。	
880	土師器 甕	口縁～体部中位片残存 口(14.8cm) 高(11.5cm) 最 20.6cm	南壁際 床面上3.5cm	①細砂・微細砂と少量の角 閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③褐色7.5YR6/8	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する短い口縁部。胴部外面の面とり下 部が大きく垂下している。 外面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部上半横・斜方向ハケメ。部分的 に横方向ナデ。内面 口縁部横ナデ。胴部横ナデ。体部横方向ナデ。	
886	土師器 甕	口縁部破片 口(9.6cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。胴部外面の面とり。 外面 口縁部横ナデ。胴部～体部下位横方向両向きハケメ。 内面 口縁部横ナデ。胴部横方向ハケメ。体部下位横方向両向きナ デ。	
879	土師器 甕	口縁～体部上位(破片) 口(19.0cm) 最(22.0cm)	中央部西寄り 床面上6cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。やや硬質。 ③赤褐色10YR6/4	ゆるやかに屈曲する広口の頸部。短く外反する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部斜ナデ。胴部斜方向両向き。体部上半横方向ハケメ。 内面 口縁部横方向ハケメ。体部上半横方向ハケメ。	

2区90号住居出土遺物観察表(土器)第90図・PL29

番号	器種	技法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
303	養生土器 蓋	口縁部破片 口(18.8cm)	埋没土	①微細砂・石英粒を含む。 黒色鉱物粒が目立つ。 ②酸化色。③赤褐色10YR1/1.7	受け口状の口縁部破片。 外面 口縁部横方向両向き。 内面 口縁部横方向両向き。	
302	養生土器 蓋	体部中位(破片) 最(29.2cm)	南西壁寄り 中央 床面上2.5cm 床面直上	①直径3～5mmの小石・赤色 鉱物粒微細砂・角閃石を含 む。②酸化色。 ③赤褐色5YR7/4	球形の体部中位の破片。 外面 体部上位(丸)龍文様直文。その下に一単位7条の櫛歯状文3連 止を1段施す。下位横方向両向き。 内面 体部斜・横方向両向き。	

遺物観察表

2区90号住居出土遺物観察表(石器)第69図・PL29

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 質(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S28	磨石・砥石	26.5・12.5 6.5	石英閃緑岩 3065-0	埋土上	やや扁平の円盤。上面はやや斜めになってくぼみ、磨り面が使いこまれている。小口は、縦き崩れあり、砥石としても使用されている。

2区91号住居出土遺物観察表(土器)第71図・PL30

番号	器種	形状	存在	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
305	弥生土器 蓋	口縁～頸部残存 口 13.6cm	内面直上	埋土直上	①微細砂・角閃石直径3 ～5mmの石英を含む。② 酸化。③黄7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。上縁はやや内湾する。外側 上平折り返し部にLKR(前々段反脱)横位を施文。 内面 上縁横ナ。上位から下位横方向内側折ナ。下縁横方向内折ナ。
307	弥生土器 蓋	口縁～体部上位残存 口 14.8cm	内面直上	中央北西寄り 床面直上	①細砂を多く含む。 ②酸化。③ ④いぶいぶ7.5YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外側 口縁部から頸部上半に3段の輪積み直を施しL.L(直前段反脱)横 位の横文を3段施文。内面 口縁から頸部横方向内折ナ。
308	弥生土器 蓋	体部上半残存	内面直上	埋土直上	①微細砂・角閃石・長石類 粒・赤色鉱物粒を含む。② 酸化。③硬質。 ④赤黄7.5YR4/6	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。 外側 頸部横方向内折ナ。体部上半横位施文。下平横方向内折ナ。 内面 頸部横ナ。体部上半から下平横方向内折ナ。
304	弥生土器 蓋	口縁～体部中位残存 口 13.8cm	内面直上	中央南西寄り 床面直上4.5cm	①細砂を多く含む。 ②酸化。③ ④いぶいぶ7.5YR7/4	ゆるやかなくの字の頸部。直立意味に外反する口縁部。やや丸い体部。 外側 口縁部から体部上位LKR横位の横文を4段施文。下平横方向内折ナ。 内面 口縁部横方向内折ナ。体部上位から下平横方向内折ナ。
306	弥生土器 蓋	口縁部残存 口 16.3cm	内面直上	中央南西寄り 床面直上	①微細砂・細砂を多く含む。 ②酸化。③ ④いぶいぶ7.5YR6/4	ゆるやかに外反する口縁部破断。 外側 口縁部上半5段の輪積み直を施しL.L(直前段反脱)横 位の横文を5段施文。内面 口縁部上半から下平横方向内折ナ。
300	弥生土器 蓋	体部破片	埋土上	埋土上	①微細砂を多く含む。 ②酸化。③ ④いぶいぶ黄7.5YR6/3	外側 無し。横位施文。 内面 横方向内折ナ。
311	土師器 高杯	胴部残存 底 11.3cm	内面直上	中央南西寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・石英 粒を含む。②酸化。③ ④いぶいぶ黄7.5YR6/6	ハの字に、広く高く筒状部。 外側 胴部横方向内折ナ。底・胴・斜方向内折ナ。 内面 胴部横方向内折ナ。胴部横ナ。
312	弥生土器 高杯	杯部残存 口 22.3cm	内面直上	北東壁寄り 床面直上	①微細砂を含むが硬質胎土 である。②酸化。③硬質。 ④暗赤10R3/6	深い柄形の杯部。筒状部。 外側 外側とミド草ナ折き調整。赤色塗彩。
309	土師器 小形壺	口縁部体部一部欠損 口 11.0cm 高 11.5cm 底 11.8cm	内面直上	南東壁寄り 床面直上	①直径0.5～2mmの砂粒・長 石類粒を含む。②酸化。③ ④いぶいぶ赤黄7.5YR5/4 暗赤黄7.5YR2/3	ゆるやかな頸部。外反する口縁部。端部外面は面とり。体部は丸く、蓋 部はごく小さい。 外側 口縁部横ナ。頸部横方向ハケメ。体部横方向ハケメ後縁方 内折ナ。蓋部横方向ハケメ。 内面 口縁部下平斜方向ハケメ上半横ナ。頸部指押ス。体部横方向ハ ケメ後縁方向内折ナ。底部横方向ハケメ後一方内折ナ。
310	弥生土器 蓋	体部下位～底部 底 4.0cm	内面直上	中央北西寄り 床面直上2cm	①微細砂を多く含む。白色 鉱物粒が目立つ。②酸化。③ ④黄7.5YR2/1	やや下膨れの体部下位。 外側 体部下位横方向内折ナ。蓋部横ナ。 内面 体部下位底面横方向内折ナ。

2区26号土坑出土遺物観察表(土器)第73図

番号	器種	形状	存在	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
314	弥生土器 小形壺	口縁～体部下位欠破片 口 9.6cm	内面直上	埋土上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化。やや硬質。 ③明赤黄5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は小さく丸い。 外側 口縁部から体部上位ナ後一単位5条の縞線状文を2段ずつ2 段(計4段)施文。頸部横位施文と同じ文目でも横文1段。 内面 口縁部から体部横方向内折ナ。
315	弥生土器 蓋	口縁部破片 口 14.5cm	内面直上	埋土上	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化。硬質。 ③いぶいぶ黄7.5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。端部はすぼまる。 外側 口縁部ナ後上半一単位9条の縞線状文を2段施文。頸部横 線状文3進直文直下に横位施文。 内面 口縁部横ナ。頸部横方向内折ナ。
313	土師器 蓋	口縁～頸部破片 口 19.8cm	内面直上	埋土上	①微細砂・角閃石を多量に 含む。②酸化。③ ④明黄7.5YR7/6	直立する頸部。やや内湾して深く複合口縁部。複合部は直下する。 外側 口縁部折り返し部上半横ナ。下平横方向ハケメ。頸部横方向ハ ケメ。内面 口縁部横方向ハケメ後縁ナ。頸部横方向内折ナ。

4区1号周溝墓出土遺物観察表(土器)第77図・PL32

番号	器種	形状	存在	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
316	土師器 蓋	口縁～頸部残存 口 24.5cm	内面直上	岡津北西部 前直上47cm	①微細砂・角閃石・石英粒 を含む。②酸化。③ ④黄7.5YR6/6	丸くゆるやかに屈曲する頸部。2段に屈曲する口縁部。上縁は長い。 外側 口縁部横方向ハケメ後縁ナ。頸部横ナ。 内面 口縁部横ナ。頸部横ナ。ハケメ直を施す。

4区3号周溝墓出土遺物観察表(土器)第78回・PL33

番号	器種	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
317	弥生土器 甕	口縁部破片		北周溝 底面上4cm	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化焼。硬質。 ③明赤焼5YR5/6	ゆるやかに外反する口縁部。上縁に折り返しがある。 外側 折り返し部およびその下にRL横位幾文施文。 内側 腹方向直線ナデ。
318	弥生土器 甕	体部残存 最(27.1cm) 底(5.8cm)		北周溝東端 底面上直上	①微細砂・角閃石・角閃石 を含む。②酸化焼。 ③におい焼5YR6/3	ゆるやかに屈曲する頸部。上部に折り返しがある。 外側 体部上半部方向直線ナデ。下半部方向直線ナデ。肩部半直線ナ デ。中位に幾文施文。底部ナデ。上平直ナデ。内側 体部腹方向直線ナ デ。
319	土師陶 甕	口縁一下部下位残存 口(16.0cm)		北周溝中央部 底面上4cm	①微細砂と直径3～3mmの石 粒を含む。②酸化焼。硬質。 ③灰白10YR2/2	球形の体部。直立気味に立ちあがる頸部。さらに外反する口縁部。口縁 部上半は内直ナデ。 外側 口縁部下平直ナデ。下半部方向直線ナデ。体部腹方向ハケメ後腹方 向直線ナデ。内側 腹方向ハケメ後半上平のハケメハケ。下腹に幾。下部下位 直線ナデ。中位一下位腹方向直線ナデ。内面黒色。

4区4号周溝墓出土遺物観察表(土器)第81回・PL33

番号	器種	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
320	弥生土器 甕	体部下位～底部残存 最 5.6cm		周溝北西隅 底面上5cm	①砂粒・赤色鉱物粒を含む ②酸化焼。硬質。 ③内 におい焼10YR6/3 外 におい赤焼2.5YR5/4	深い底面に下直れの体部が立ち上がる。 外側 体部中位ハケメ後腹方による幾文文。その下に楕円形の刺突文が ほぼ1cm間隔でつけられている。下位腹方向直線ナデ。体部下平赤色塗彩。 内側 体部中位腹方向直線ナデ。

4区5号周溝墓出土遺物観察表(土器)第81回・PL34

番号	器種	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
324	弥生土器 高杯	頸部一部欠損 口 8.5cm 高 7.6cm 底 9.0cm		北周溝中央部 底面上18cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③浅黄焼10YR3/4	ハの字に開く頸部。やや内湾して開く杯部のついた高杯。 外側 杯部一部腹方向直線ナデ。肩部直線ナデ。 内側 杯部一部腹ナデ。中央部腹方向直線ナデ。脚部腹方向直線ナデ。
323	弥生土器 甕	定形 口 11.4cm 高 12.5cm 最 12.5cm 底 4.5cm		西周溝中央部 底面上直上	①微細砂・角閃石・黒色鉱 物粒を含む。②酸化焼。 ③浅黄焼10YR6/3	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外側 口縁部直線ナデ。底部に面とりし類目。肩部腹方向直線 ナデ。中位に幾文施文。体部中位斜方向直線ナデ。下半部 直線ナデ。下半部方向直線ナデ。黒面あり。 内側 口縁部直線ナデ。肩部腹方向直線ナデ。体部腹・斜方向直線ナ デ。
321	弥生土器 甕	定形 口 13.1cm 高 16.3cm 最 14.0cm 底 4.8cm		北周溝中央部 底面上9cm	①微細砂・角閃石を多量に 含む。②酸化焼。硬質。 ③浅黄2.5Y7/3	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外側 口縁部直線ナデ。底部に面とりし類目。肩部一単位9条の櫛状 状文を2段施文。やや乱れている。体部中位腹方向直線ナデ。下位腹方 向直線ナデ。下半部方向直線ナデ。黒面あり。 内側 口縁部直線ナデ。肩部腹方向直線ナデ。体部腹方向直線ナ デ。下半部方向直線ナデ。
322	弥生土器 甕	口縁部・体部一部欠損 口 14.3cm 高 18.0cm 最 14.5cm 底 5.4cm		西周溝中央部 底面上2cm	①直径1～3mmの砂粒・微 細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③におい焼10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。やや丸い体部。 外側 口縁部直線ナデ。下半部方向ハケメ後ナデ。頸部ナデ後3～4 条の櫛状状文施文。体部上半部方向直線ナデ。中位斜方向直線ナデ。下半 部・斜方向直線ナデ。黒面直線ナデ。 内側 口縁部上半直線ナデ。下半～体部下半部方向直線ナデ。底部直線ナ デ。

4区6号周溝墓出土遺物観察表(土器)第81回・PL33

番号	器種	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
325	弥生土器 甕	口縁下位～体部下位残存 最(25.4cm)		北周溝 底面上直上	①微細砂・石炭粒を多く 含む。赤色鉱物粒が目立つ。 ②酸化焼。 ③暗7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。球形に近い体部。 外側 口縁部直線ナデ。頸部一単位9条の櫛状状文2連止を1段施文。 体部上位一単位5～7本の櫛状状文4段施文。下位腹方向直線ナデ。 内側 口縁部直線ナデ。頸部ナデ。体部ナデ後腹方向直線ナデ。

6区2号住居出土遺物観察表(土器)第83回・PL36

番号	器種	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
326	弥生土器 甕	体部破片		北周溝 床面上直上	①微細砂・直径2～3mmの 小石を含む ②酸化焼。硬質。 ③黒焼7.5YR3/2	やや肩が張る体部破片。 外側 頸部から体部上位にかけてRL横位幾文を施文。以下腹方向直線。 内側 腹方向直線ナデ。
327	土師陶 高杯	胴部残存 底(14.6cm)		中央東部寄り 床面上2.8cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③におい焼7.5YR5/4	裾部が大きく開いた高杯胴部。 外側 裾部方向直線ナデ。 内側 胴部上半部方向直線ナデ。下半部方向直線ナデ。
328	土師陶 台付甕	台部残存 底 11.7cm		北周溝 床面上直上	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③暗7.5YR4/3	下腹の内湾する台部。 外側 台部腹方向直線ナデ。 内側 台部腹・斜方向直線ナデ。
329	土製品 紡輪車	定形 上 3.8cm 高 1.6cm 最 4.4cm 下 4.3cm		南壁直上 床面上直上	①微細砂・微細砂を多量に含 む。②酸化焼。 ③黒2.5Y2/1	断面が台形を呈する。厚みのある紡輪車。 上面 ナデ後、中央の穿孔の周囲に、17本の放射状の爪形文を施す。 側面 ナデ。下面 丁寧にまでられており、整形直は不明。

遺物観察表

6区12号住居出土遺物観察表(土器)第85図・PL36

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器種・文様の特徴
330	土師器 甕	口縁～胴部片残存 口 (14.3cm)		南東隅内 床面上3cm	①細砂を多く含む澄化焼成 や・軟質内 暗緑7.5YR7/3 外 黒7.5YR2/1	ゆるやかに屈曲する頸部。短く内湾する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直ナゲ後縦方向直ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。
331	土師器 S字状口 鉢付付箋	口縁～体部下位片残存 口 (11.6cm)		南東寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 澄化焼成。 ②暗7.5YR6/6	屈曲が直上するS字状。口縁部外部内面には面とり。体部は全体に丸い。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向ハケメ。胴部は横方向ハケメ。 内面 口縁部横ナゲ。胴部下位に凸面筋。体部斜方向ハケメ。
332	土師器 甕	口縁～体部上位片残存 口 (18.4cm)		南東寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む 澄化焼成。 ②黒緑7.5Y3/1	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。体部はやや肩が張る。 外面 口縁部横ナゲ。口縁部下位～胴部横方向直ナゲ。体部上位横方向直ナゲ。 内面 口縁部上位横ナゲ。口縁～胴部横方向ハケメ。体部直ナゲ。
334	赤生土器 甕	体部下位～底部片残存		南東隅内 床面上3cm	①細砂・石英粒・角閃石を 多く含む。 ②酸化焼成 ③赤黒5YR4/6	小さな底部から長く外反して立ち上がる体部。 外面 体部下位横方向直ナゲ。底部ナゲ。 内面 体部下位横方向直ナゲ。
333	土師器 甕	口縁部上半片破片 口 (21.2cm)		中央東寄り 床面上8cm	①少量の微砂・直径2～3mmの 小石・角閃石を含む。 ②酸化焼成。硬質。 ③赤黒5YR5/4	大きく外反する口縁部。肩部外面に面とり。二重口縁と考えられる。 外面 口縁部外部外面面とりして横方向ハケメ。上半斜方向ハケメ。ハケメの上部部横ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。斜方向ハケメ。
335	土師器 鉢	口縁部小～底部残存 口 (9.8cm) 底 4.0cm		埋設土	①微細砂・直径1～3mmの 石英粒を含む。澄化焼成。 ②赤黒7.5YR6/4	丸く深い口縁部。短く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナゲ。体部上半斜方向ハケメ。下半直ナゲ。底部ナゲ。 内面 口縁部横ナゲ。体部～底部斜・横方向直ナゲ。

6区14号住居出土遺物観察表(土器)第87・88図・PL35

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器種・文様の特徴
339	赤生土器 甕	口縁～体部一部欠損 口 9.7cm 高 13.1cm 底 11.5cm 底 4.6cm		西壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒を多く含む 澄化焼成。硬質。 ②灰黒5YR4/2	ゆるやかに屈曲する頸部。丸い体部。外反する口縁部。 外面 口縁部～体部上半L状横位の縄文施文。中位縦方向直ナゲ。下半縦方向直ナゲ後縦方向直ナゲ。体部黒直。内面 口縁部横方向直ナゲ。体部斜方向直ナゲ。
344	赤生土器 甕	ほぼ完形 口 9.5cm 高 13.5cm 底 10.9cm 底 4.7cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂を含む。 澄化焼成。硬質。 ②赤 土上より黄褐色 10YR6/3 内 灰黒7.5YR4/2	ゆるやかに屈曲する頸部。肩部が大きく外反する口縁部。 外面 口縁部輪痕み痕を残して付加赤系1層(輪R1+R2本)の縄文施文。体部上半縦文施文。中位～下横方向直ナゲ。底部～斜方向直ナゲ。体部上半横付着。内面 口縁部横方向直ナゲ。体部横方向直ナゲ。
343	赤生土器 甕	口縁～体部下位残存 口 11.6cm 底 16.8cm		北西壁寄り 床面直上	①直径1～3mmの砂粒・長 石粒・角閃石を多く含む。 澄化焼成。②暗7.5YR4/3	丸い体部から直上突如に屈曲して立ち上がり、外反する口縁部。 外面 口縁部～体部上位横位の縄文施文。中位縦・斜方向直ナゲ。 内面 口縁部ナゲ。体部横・斜方向直ナゲ。底部は同方向直ナゲの単位。
336	赤生土器 甕	ほぼ完形 口 15.2cm 高 25.7cm 底 21.7cm 底 6.9cm		北西壁寄り 床面上2.5cm	①細砂・角閃石を多く含む 白色黏土が目立つ。 澄化焼成。 ③赤黒7.5YR6/3	ゆるやかに屈曲し、短く外反する口縁部。体部はやや丸く、底部は小さい。 外面 口縁部～胴部LR横位の縄文施文。体部中位横方向直ナゲ。下位横方向直ナゲ後横方向直ナゲ。底部ナゲ。体部外面に黒筋。 内面 口縁部斜方向直ナゲ。胴部横方向直ナゲ。体部斜方向直ナゲ。底部横方向直ナゲ。
342	赤生土器 甕	口縁～胴部片・体部下位 残存 口 13.3cm 高 21.4cm 底 17.4cm 底 6.0cm		北西壁寄り 床面直上	①直径2～6mmの砂粒・長 石粒・角閃石・赤色黏土 粒を含む。 澄化焼成。 ③赤黒7.5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部から直立気味に短く外反する口縁部。体部はやや肩が張る。 外面 口縁部～体部上位LR横位の縄文施文。中位～下位横方向直ナゲ後斜方向直ナゲ。 内面 口縁部横方向直ナゲ。輪痕みの凸凹が残る。体部上位～下位横方向直ナゲ後横方向直ナゲ。
337	赤生土器 甕	ほぼ完形 口 14.3cm 高 26.0cm 底 20.1cm 底 6.3cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む 澄化焼成。 ③赤黒10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部から、外反する口縁部。体部は丸い。 外面 口縁部～胴部LR横位の縄文施文。体部中位～下位横方向直ナゲ。底部ナゲ。底付着。黒筋あり。内面 口縁部～胴部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。底部部筋が覆れており不明。
341	赤生土器 甕	ほぼ完形 口 14.8cm 高 30.3cm 底 22.3cm 底 6.0cm		北西壁寄り 床面上2cm	①直径0.5～4mmの砂粒・角 閃石を多量に含む。白色黏 土が目立つ。 ②酸化焼成。硬質。 ③赤黒7.5YR6/3	くの子に屈曲する頸部から外反する口縁部。体部は長く、中位に最大径。 外面 口縁部7段の輪痕み痕を残し口縁部から体部上位にかけてLR横位の縄文施文。体部中位横方向直ナゲ。下位横方向直ナゲ。底部一方向直ナゲ。内面 口縁部上半横ナゲ。下半斜方向直ナゲ。体部中位～下位横方向直ナゲ。底部部筋が覆れており不明。
338	土師器 平底甕	ほぼ完形 口 14.3cm 高 21.0cm 底 18.0cm 底 4.3cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂粒・長石粒を多量に 含む。 ②酸化焼成。や・軟質。 ③赤黒7.5YR4/4	くの子に屈曲する頸部から短く外反する口縁部。体部はやや肩が張る。長い。底部は小さい。 外面 口縁部上半横ナゲ。胴部～体部中位横方向ハケメ。下位横方向の丸いハケメ後斜方向直ナゲ。底部部筋。黒筋あり。 内面 口縁部横ナゲ。体部横方向直ナゲ。
345	土師器 小形貯器	胴部一部欠損 口 7.9cm 高 8.3cm 底 8.2cm		北西壁寄り 床面直上	①細砂・長石粒・石英粒 を多量に含む。 ②酸化焼成。軟質。 ③暗7.5YR7/6	やや内湾するロート形の胎受。ハの子に広がる脚部。 外面 胎受横方向直ナゲ。口縁部横ナゲ。接合部横方向直ナゲ。胴部上半縦方向直ナゲ。下半横方向直ナゲ。底部に外面から5孔穿たれている。 内面 胎受縦横方向直ナゲ。口縁部横ナゲ。胴部上半横方向直ナゲ。下半横方向直ナゲ。

2 古墳時代初頭の出土遺物

(6区14号住居)

番号	器種	現 法 存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
349	土器器 高杯	口縁部・肩部一部欠損 口 13.1cm 高 10.7cm 底 10.0cm	北壁寄り 床面直上	①砂粒・貝石細粒を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③明赤褐色。5YR5/6	やや深い碗形の杯部。脛が少し開いた低い脚部。 外面 杯部横方向細かい波磨き。口縁端部横ナズ。胴部上半縦方向細かい波磨き、下半横方向細かい波磨き。内面 杯部横方向細かい波磨き。口縁端部市広の横ナズ。胴部横方向波磨り。
348	土製品 紡錘車	完形 上 2.9cm 高 1.7cm 最 4.4cm 下 4.2cm	南庭土坑内 底面上 2cm	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③赤褐色。5YR4/5	断面が台形を呈する、厚手の紡錘車。 上面 一部割離があるがよくなでられている。側面 横方向波磨り。 下面 外縁にそって14カ所の小円形割突が施されている。

3. 古墳時代中・後期の出土遺物

1区42号住居出土遺物観察表(土器)第94~100図・PL38~40

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
521	土師器 手捏ね 小形杯	口縁部~頸部部一徹欠 底 (7.8cm)		北西隅 床面上5cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄2.5YR6/3	窪への字に開く杯部。断面三角形の腹が開く筒部。 外面 口縁部ナデ。杯部斜方向窪ナデ。頸部上半縦方向窪ナデ、下半横方向窪ナデ後、縦方向窪ナデ。 内面 口縁部ナデ。杯部斜方向窪ナデ。頸部横方向ナデ。
499	土師器 小形壺	ほぼ光形 口 9.3cm 高 5.9cm		北壁脚 床面直上	①細砂と少量の角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄2.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向ナデ、下半横方向ナデ。 内面 口縁部横方向窪ナデ後、横ナデ。体部上半横方向指押え、下半横方向窪ナデ。
502	土師器 短	口縁部一徹欠 口 8.7cm 高 6.0cm 底 3.9cm		北壁寄り中央 床面上2.5cm	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③黄7.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部上半横ナデ。下半斜上帯板残る。頸部から体部上半縦方向窪ナデ。体部下半ナデ。底部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半指押え、下半窪ナデ。
501	土師器 小形壺	光形 口 7.7cm 高 6.8cm		北壁脚 床面上3.5cm	①細砂・細砂を少量含む。 ②酸化焼。 ③黄2.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上位縦方向窪ナデ。体部中位斜方向窪ナデ。下位横方向窪ナデ。底部ナデナ。 内面 口縁部横方向窪ナデ後、横ナデ。頸部から体部上位指押え、体部中位から下位横方向窪ナデ。底部窪ナデナ。
503	土師器 小形壺	口縁部~底部片残存 口 9.9cm 高 8.5cm		西壁北寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③灰黄緑10YR5/2	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する大きな口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部指板が残る。体部横・斜方向窪ナデ。底部横方向窪ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部指板面が残る。体部横方向窪ナデ。底部一方向窪ナデ。
507	土師器 小形壺	体部片残存 高 7.4cm		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄橙10YR7/3	偏平な体部。 外面 体部上半ナデ。下半横方向窪ナデ。底部ナデ。 内面 体部上半指押え。体部下半から底部横方向窪ナデ。
504	土師器 小形壺	頸部~底部片残存 高 (8.0cm)		南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい黄橙10YR7/3	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する大きな口縁部。偏平な体部。 外面 体部上位横方向窪ナデ。上半斜方向窪ナデ。下半横方向窪ナデ。底部窪ナデ。 内面 体部上半ナデ。指板面が残る。下半横方向窪ナデ。底部窪ナデ。
493	土師器 小形壺	口縁部一徹欠 口 10.5cm 高 7.5cm		南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄7.5YR6/3	くの字に屈曲する頸部。やや内湾する口縁部。偏平な体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向窪ナデ。体部上半部分的に横方向窪ナデ。下半横方向窪ナデ。底部ナデ。内面 口縁部横方向窪ナデ後、横ナデ。体部横方向窪ナデ。底部縦斜状窪ナデ。
495	土師器 小形壺	光形 口 8.7cm 高 8.5cm 底 4.1cm		北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③黄7.5YR2/1	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部上位縦方向ナデ後、横方向ナデ。中位から下位横方向ナデ。底部ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ。中位指押え。下位から底部横方向窪ナデ。
492	土師器 小形壺	光形 口 8.8cm 高 9.2cm 底 4.3cm		南東隅 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄橙10YR7/3	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。平底。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向窪ナデ。体部上半縦方向窪ナデ。下半横方向窪ナデ。底部横方向窪ナデ。内面 口縁部横方向窪ナデ後、横ナデ。頸部下部指押え。体部上半ナデ。下半横方向窪ナデ。底部横方向窪ナデ。
497	土師器 小形壺	光形 口 8.3cm 高 8.8cm		北壁寄り中央 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③黄5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。丸底に近い。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向指押え。体部上半斜方向ナデ。下半斜・横方向窪ナデ。底部縦線のような位置がつく。内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半横・斜方向窪ナデ。底部横方向窪ナデ。
500	土師器 壺	光形 口 8.0cm 高 8.1cm		北壁寄り中央 床面上3cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化焼。 ③明赤黄2.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。やや短く外反する口縁部。丸い体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。体部上半縦方向ナデ。下半横方向ナデの後に、斜方向に深い窪ナデ。底部窪ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半ナデ。下半斜方向窪ナデ。底部窪ナデ。
506	土師器 小形壺	体部片~底部片残存 高 3.7cm		南壁脚中央 床面上4.5cm	①微細砂・白色鉱物粒を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄7.5YR5/4	丸い体部。平底。 外面 頸部横ナデ。体部上位縦方向窪ナデ。中位横方向窪ナデ。下位横方向窪ナデ。底部ナデ。 内面 頸部横ナデ。体部上半ナデ。下半横方向窪ナデ。底部窪ナデ。
531	土師器 壺	口縁部~底部片残存 口 (8.8cm) 高 10.8cm		北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③にぶい黄5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。端部が内湾する短い口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向窪ナデ。体部上半横方向窪ナデ。下半斜方向窪ナデ。底部窪ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部上半指押え、下半ナデ。底部横方向窪ナデ。
518	土師器 壺	口縁部~底部片残存 口 (12.0cm) 高 10.5cm		南壁脚中央 床面上11.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にぶい赤黄5YR5/3	くの字に屈曲する頸部。高く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向窪ナデ。底部窪ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部ナデ。底部窪ナデ。
491	土師器 壺	ほぼ定形 口 9.6cm 高 10.1cm		南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③黄5YR6/8	やや偏平の小さな体部。鋭く屈曲する頸部。高く外反する口縁部。 外面 口縁部上半横ナデ。下半横方向窪ナデ。体部上位から下位横方向窪ナデ。底部窪ナデ。内面 口縁部横ナデ。体部上半指押えできないが、指板面が顕著に残る指押え、下半横方向窪ナデ。底部窪ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(I 区42号住居・第94・95図)

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・文様の特徴
511	土師器 鉢	完形	口 15.0cm 底 7.3cm 高 8.1cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む ②酸化色、やや硬質 ③赤褐色SYR6/4	大きな平底。扁平な体部。くの字に屈曲する頸部。短く口縁部が外反。 外面 口縁部横ナデ。頸部押入。体部縦方向直ナデ。底部置割り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直ナデ、下半から底部縦方向直ナデ。
513	土師器 鉢	底部一部欠損	口 15.0cm 底 7.0cm 高 6.5cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石と少量の 直径2.5mmの小白石を含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色SYR5/6	大きな平底。扁平な体部。くの字の頸部から短く口縁部が外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部縦方向直ナデ。頸部置割り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直ナデ、下半から底部縦方向直ナデ。
512	土師器 鉢	完形	口 14.2cm 底 7.5cm 高 6.8cm	北壁寄り中央 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化色、硬質。 ③褐色SYR6/6	大きな平底。扁平なやや肩の張る体部。くの字の頸部から短く口縁部が 外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部上位縦方向直ナデ、中位から下位 縦方向直ナデ。底部置割後、直ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部下 に衝面直反が残る。体部上位縦方向直ナデ、下位斜方向直ナデ。底部置割り。
510	土師器 鉢	ほぼ完形	口 12.9cm 底 7.8cm 高 7.7cm	北壁寄り中央 床面上1.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化色、硬質。 ③褐色SYR6/4	大きな平底。扁平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部から頸部横ナデ。体部縦方向直ナデ。下半縦方向直ナデ。頸部下 に衝面直反が残る。体部上半横方向直ナデ、下半横方向直ナデ。 底部置割り。
514	土師器 鉢	底部一部欠損	口 13.6cm 底 6.3cm 高 6.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化色、やや硬質。 ③赤褐色2.SYR4/8	大きな平底。扁平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位縦方向直ナデ後、一部に縦方向直ナデと、 下半縦方向直ナデ。底部置割り。内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向 直ナデ、下半横方向直ナデ。底部置割り。
515	土師器 鉢	口縁部一部欠損	口 16.1cm 底 7.2cm 高 6.5cm	南壁寄り中央 床面上1.5cm	①細砂・微細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③灰褐色SYR4/2	大きな平底。扁平な体部。くの字の頸部。短く口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ。下半縦方向直ナデ。底部置割り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半縦反が残る。下半横方向直ナデ。底部 置割り。
519	土師器 鉢	完形	口 11.6cm 底 6.2cm 高 4.2cm	北東壁寄り 床面上1.5cm	①微細砂・直径2～5mmの 砂粒を含む。②酸化色。 ③明赤褐色2.YR5/6	平底から浅く傾斜した体部が立ち上がる。口縁部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ、下半斜方向直ナデ後、斜方向直 ナデ。底部置割り。内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。底部置割り。
516	土師器 鉢	口縁部一部欠損	口 13.6cm 底 7.0cm 高 5.1cm	P1東壁 床面直上	①微細砂・細砂・直径2～5 mmの砂粒を多く含む。 ②酸化色③明赤褐色2.YR5/6	大きな平底から体部・口縁部が再び立ち上がる。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。一部に土具が乱雑に残る。 底部置割り。内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。底部置割り。
517	土師器 鉢	口縁部・底部一部欠損	口 11.6cm 底 5.9cm 高 5.7cm	南東中央寄り 床面直上	①細砂・角閃石を多量に含 む。②酸化色。 ③赤褐色2.SYR7/4	平底から体部が直立気味に立ち上がり、ゆるやかに短く口縁部が外反。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。下部横方向直ナデ。底部置割り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直ナデ、下半横方向直ナデ。底部 置割り。
489	土師器 壺?	完形	口 8.9cm 高 10.9cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色2.YR5/8	丸い体部。やや広口で、口縁部は内湾して直立気味に立ち上がる。 外面 口縁部ハクメ状横ナデ。頸部ナデ。体部上位から中位ナデ、下位 置割り。底部置割り。 内面 口縁部から頸部横ナデ。体部縦方向直ナデ。底部放射状の指ナデ。
524	土師器 壺	口縁部・底部一部欠損	口 11.2cm 高 13.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①砂粒・石英粒・微細砂を 含む。②酸化色。 ③褐色2.SYR6/2	くの字に屈曲する頸部。短く内湾する口縁部。球形の体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位横ナデ、中位から下位縦方向直ナデ。底 部置割り。内面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ、下半横方向直ナデ。
525	土師器 壺	体部下位1/4欠損	口 11.0cm 高 13.3cm	北壁寄り中央 床面直上	①細砂・直径1～3mmの砂 粒・石英粒と角閃石を含む。 ②酸化色、硬質。 ③明赤褐色2.SYR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや扁平な丸い体部。口縁部 は内湾する。 外面 口縁部上半横ナデ、下半横方向直ナデ。体部上半横方向直ナデ、中 位斜方向直ナデ、下位斜方向直ナデ。底部置割り。丸底に近い。 内面 口縁部上半横ナデ、下半横方向直ナデ。体部横方向直ナデ。底部 置割り。
527	土師器 壺	口縁部・体部一部欠損	口 10.5cm 高 11.4cm	南東隅 床面直上	①砂粒を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色2.SYR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや扁平な体部。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ調整。下半斜方向直ナデ。丸底。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。下半横方向直ナデ。
528	土師器 壺	完形	口 10.8cm 高 11.0cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化色、硬質。 ③褐色2.SY7/2	くの字に屈曲する頸部。丸い体部。内湾する口縁部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。頸部から体部上半横方向直ナデ。体部中位縦方向 直ナデ、下半横・斜方向直ナデ。底部置割り。 内面 口縁部横方向直ナデ後、横ナデ。体部から底部横・斜方向直ナデ。
530	土師器 壺	頸部～底部残存 数 13.2cm		南東中央寄り 床面直上	①微細砂を多く含む。 ②酸化色。 ③赤褐色2.SYR6/4	やや肩の張る体部。丸底。 外面 体部上半横ナデ、下半斜方向直ナデ。底部置割り。 内面 体部上半横ナデ、下半から底部縦方向直ナデ。
532	土師器 壺	口縁部欠損 数 16.1cm		北壁寄り中央 床面直上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③赤褐色10.YR5/6	くの字に屈曲する頸部。高く外反する口縁部。やや扁平な丸い体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。体部上半横方向直ナデ、下半から底部横方向直ナデ。 体部中位に1ヵ所直径8mmの穴通しがない穿孔あり。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ、下半横方向直ナデ。
526	土師器 小形壺	口縁部・体部一部欠損	口 10.5cm 高 11.7cm	南壁寄り中央 床面直上	①微細砂・細砂を含む。 ②酸化色。 ③褐色2.SYR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦方向直ナデ。体部縦方向直ナデ。下部横方 向直ナデ。底部置割り。 内面 口縁部横ナデ。体部上半横ナデ調整を残す。下半横方向直ナデ。

遺物観察表

(1区42号住居・第95～97図)

番号	器 種	撰 法	寸 法	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
529	土師器 壺	口縁部一部欠損 口 12.6cm 高 14.1cm	北壁寄り中央 床面直上	①微砂・石英粒を含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナズ。頸部斜方向ハケム後ナズ。体部上半斜方向ハケム後ナズ。下半斜方向ハケム後、横方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部上半横ナズ。下半横方向ハケム残る。頸部ナズ。指節部が残る。体部斜方向ハケム。高部直線が貫いている。黒色の付着物がついている部分がある。	
498	土師器 鉢	光形 口 9.6cm 高 7.7cm 底 3.8cm	南東隅 床面直上	①微細砂を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。中位が張る扁平な体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部縦方向直ナズ。体部上半横方向ナズ。下半横方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。底部直ナズ。	
496	土師器 鉢	ほぼ定形 口 11.3cm 高 6.8cm 底 3.8cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化色。 ③他5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張る瓶形の体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部縦方向直ナズ。体部縦方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。頸部から底部横・斜方向ナズ。	
508	土師器 鉢	光形 口 11.4cm 高 9.7cm 底 4.0cm	南東隅 床面直上	①微細砂・直径1～3mmの砂粒を含む。 ②酸化色。硬質。 ③他7.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。U字形の体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。体部上位横方向直ナズ。中位斜方向直ナズ後、縦方向直ナズ。下位横方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。底部直ナズ。	
494	土師器 鉢	光形 口 11.2cm 高 7.2cm 底 4.7cm	西壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③明赤褐色2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張る瓶形の体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部から体部上位縦方向直ナズ。中位縦方向直ナズ。下位横方向直ナズ。底部直ナズ。内面 口縁部横ナズ。体部直線直ナズが残る。体部斜方向直ナズ。底部直ナズ。	
505	土師器 小形壺	口縁～体部片・底部残存 口(11.7cm) 高 8.6cm 底 6.0cm	西壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい赤褐色2.5YR5/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。丸い体部。大きな平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部直ナズ。体部上位から中位縦方向直ナズ後、下位横方向直ナズ。底部直線のみ直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部から底部横方向直ナズ。	
490	土師器 小形壺	光形 口 10.7cm 高 9.2cm 底 5.0cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂と少量の砂粒を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/4	くの字に屈曲する頸部。短く外反する口縁部。やや肩の張るU字形の体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部から体部上位縦方向直ナズ。中位斜方向直ナズ。下位横方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。体部縦方向直ナズ。底部直ナズ。	
509	土師器 小形壺	光形 口 13.4cm 高 8.3cm 底 4.0cm	北壁寄り中央 床面上3.5cm	①微細砂・直径3～5mmの小石を少量含む。 ②酸化色。 ③にぶい赤褐色2.5YR4/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。瓶形の体部。平底。 外面 口縁部横ナズ。頸部横・斜方向直ナズ。体部上半横・斜方向直ナズ。下半横方向直ナズ。底部直ナズ。内面 口縁部横方向直ナズ。体部上半横・横方向直ナズ。下位から底部横方向直ナズ。	
485	土師器 高杯	杯底のみ残存。口縁部一部欠損 口 19.2cm	北壁寄り中央 床面上7.5cm	①微細砂と少量の小石直径3～10mmを含む。②酸化色。 ③明赤褐色5YR5/6	縁の不明瞭な杯部。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナズ。杯部上半横方向ナズ。下半横方向ナズ。下部横方向直ナズ。内面 口縁部横ナズ。杯部丁寧な直ナズ後、縦方向直ナズ。	
484	土師器 高杯	杯底のみ残存。口縁部欠損 口 19.2cm	南壁寄り中央 床面上4.5cm	①微細砂・砂粒・赤色鉱物粒を含む。②酸化色。 ③他2.5YR6/6	縁の不明瞭な杯部。口縁部はやや内湾する。 外面 口縁部横ナズ。杯部丁寧な直ナズ後、放射状直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。杯部縦方向直ナズ。底部直ナズ。	
477	土師器 高杯	ほぼ定形 口 19.0cm 高 16.3cm 底 16.5cm	南東隅 床面直上	①微細砂・角閃石・直径1～2mmの白色鉱物粒を含む。②酸化色。 ③他10YR5/6	縁の不明瞭な杯部。裾が大きく開く三角錐形の脚部。 外面 口縁部横ナズ。杯部ナズ。指節は残る。下部直ナズ。部部上半斜方向直ナズ。下半斜方向直ナズ。底部直ナズ。頸部直ナズ。 内面 口縁部横ナズ。杯部縦方向直ナズ。底部直ナズ。	
479	土師器 高杯	杯底一部欠損 口 20.4cm 高 19.6cm 底 16.1cm	北壁寄り中央 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR5/3	縁の不明瞭で、深めの杯部。裾が大きく開く三角錐形の脚部。 外面 口縁部横ナズ。杯部縦方向ハケム後ナズ調整。その後縦方向直ナズ。下部横方向直ナズ後直ナズ。頸部縦方向ハケム後、縦方向直ナズ。裾部横ナズ。内面 口縁部横ナズ。杯部横・斜方向直ナズ後、縦方向の強い直ナズ。部部上半横方向ナズ。下半横方向ハケム。	
478	土師器 高杯	光形 口 20.4cm 高 18.7cm 底 16.2cm	北壁寄り中央 床面直上	①微細砂・角閃石を多く含む。②酸化色。 ③明赤褐色2.5YR5/8	縁の不明瞭な杯部。裾が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部横ナズ。杯部ナズ後、縦方向直ナズ。下部縦方向ハケムが一部に残る。頸部縦方向ハケム後ナズ。その後縦方向直ナズ。裾部縦方向直ナズ。底部直ナズ。 内面 口縁部縦方向ハケム後、横ナズ。杯部縦方向直ナズ後、斜・縦方向直ナズ。部部上半斜方向直ナズ。底部横方向直ナズ。	
481	土師器 高杯	光形 口 16.4cm 高 13.9cm 底 12.3cm	南東壁寄り 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石・直径2～5mmの小石を含む。②酸化色。 ③明赤褐色5YR5/6	明瞭な縁をもつ杯部。裾部が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部直ナズ。杯部ナズ。下部横方向直ナズ。脚部、杯部との接合部にハケム残る。脚部縦方向直ナズ。裾部横ナズ。 内面 口縁部横ナズ。杯部斜方向直ナズ。脚部縦方向直ナズ。裾部直ナズ。	
482	土師器 高杯	光形 口 16.8cm 高 14.3cm 底 13.1cm	南東壁寄り 床面直上	①細砂・角閃石・直径1～2mmの石英粒を含む。②酸化色。 ③他5YR6/6	明瞭な縁をもつ杯部。裾部が大きく開く筒状の脚部。 外面 口縁部横ナズ。杯部縦方向直ナズ後、一部に横方向ナズ。接合部直ナズ。脚部縦方向直ナズ。裾部縦方向直ナズ後横ナズ。内面 口縁部横ナズ。杯部縦方向直ナズ。脚部縦方向直ナズ。裾部横ナズ。	
483	土師器 高杯	杯底残存 口 20.2cm	南東壁寄り 床面直上	①微細砂・細砂と少量の直径3～10mmの小石を含む。②酸化色。③他7.5YR6/6	明瞭な縁をもつ杯部。口縁部は外反する。 外面 口縁部から杯部上半横ナズ。下半丁寧な直ナズ。下部横方向直ナズ。内面 口縁部横ナズ。杯部縦方向直ナズ。	

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区42号住居・第97~100区)

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
487	土師器 高杯	杯部のみ残存	口 19.8cm	南壁部中央 床面上11.3cm	①細砂と直径3~10mmの少量の小石を含む。②酸化灰。③赤褐色5YR6/6	明確な壁をもつ杯部。 外側 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ後、縦方向に磨き。一部に保存者。 内側 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ後、縦方向に磨き。
488	土師器 高杯	杯部のみ残存	口 (19.4cm)	埋没土	①細砂・角閃石・石英粒・長石を含む。 ②酸化灰。③赤褐色5YR5/6	明確な壁をもつ杯部。 外側 口縁部横ナデ。杯部縦方向ナデ後、部分的にナデナ。杯下部横方向に磨き。内側 口縁部横ナデ。杯部縦方向ナデ。杯下部ナデ。
486	土師器 高杯	杯部・脚部のみ残存	口 (19.5cm)	北壁部中央 床面上3.5cm	①赤褐色砂と砂粒を多く含む。 ②酸化灰。 ③赤褐色10YR7/3	明確な壁をもつ杯部。 外側 口縁部から杯部上平横ナデ。杯部下平横方向ナデ。下半部は斜方向ハケメ残る。内側 口縁部から杯部上平横ナデ。杯部下平横方向ナデ後、斜方向に磨き。脚部横方向に磨き。
480	土師器 高杯	口縁部・脚部一部欠損	口 19.4cm 高 17.3cm 底 16.4cm	北壁部中央 床面上4.5cm	①赤褐色砂・角閃石を多く含む。 ②酸化灰。 ③赤褐色5YR5/8	明確な壁をもつ杯部。口縁部は外反。部部が大きく開く筒状の脚部。 外側 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ調整。一部に縦方向の磨き跡がみえる。脚部縦方向に磨き。部部横ナデ。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ後、縦方向の磨き。磨耗が著しく不明な部分が多い。脚部上位置方向ナデ。下位置方向に磨き。
534	土師器 甕	底部欠損	口 16.2cm 高 26.1cm 底 5.4cm	北壁部中央 床面・北西隅 床面上5cm	①赤褐色砂・角閃石・白色鉱物粒を含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR5/8	くの字に屈曲する部部。大きく外反する口縁部。やや長・体部。小さい平底。 外側 口縁部横ナデ。部部横ナデ。体部部・斜方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。部部内傾。部部内傾。体部斜方向に磨き。
538	土師器 甕	口縁部~体部上位片破片	口 (16.6cm)	北壁部中央 床面上	①赤褐色砂・角閃石・石英粒を多く含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色10YR7/4	くの字に屈曲する部部。大きく外反する口縁部。部部はさけるに外反。 外側 口縁部横ナデ。体部ナデ。 内側 口縁部横ナデ後横ナデ。体部斜方向に磨き。
536	土師器 甕	体部一部・底部欠損	口 20.1cm 高 27.0cm 底 (6.3cm)	北壁部中央 床面上	①赤褐色砂・白色鉱物粒・石英粒を多く含む。 ②酸化灰。 ③赤褐色5YR5/4	くの字に屈曲する部部。大きく外反する口縁部。球形の体部。小さい平底。 外側 口縁部縦方向ハケメ後、上半のみ横ナデ。体部上位置方向ハケメ後、横・斜方向の強い横ナデ。中位置方向に磨き。下位置方向に磨き。高部磨き。 内側 口縁部横方向に磨き。体部横方向に磨き。下位には斜方向もある。くの字に屈曲する部部。大きく外反する口縁部。球形の体部。小さい平底。
535	土師器 甕	底部欠損	口 19.8cm	北壁部中央 床面上2cm	①赤褐色砂・直径1~2mmの細砂を多量に含む。 ②酸化灰。 ③赤褐色5YR6/6	くの字に屈曲する部部。外反する口縁部。球形の体部。平底。 外側 口縁部横ナデ。体部上位斜方向に磨き。斜方向に磨き。中位斜方向に磨き。下位斜方向に磨き。内側 口縁部横ナデ。部部ナデ・横方向ハケメが残る。体部上平横ナデ。下半横方向に磨き。
533	土師器 甕	口縁部・体部一部欠損	口 25.0cm 高 29.6cm 底 7.8cm	南壁部中央 床面上5cm	①赤褐色砂・角閃石・白色鉱物粒を含む。 ②酸化灰。 ③赤褐色10YR6/3	くの字に屈曲する部部。外反する口縁部。球形の体部。平底。 外側 口縁部横ナデ。部部横ナデ。体部上位斜方向に磨き。上半斜方向丁寧なナデ調整。下半横方向に磨き。斜方向に磨き。底部磨き。 内側 口縁部横ナデ。部部横方向に磨き。体部斜方向に磨き。横ナデ。
537	土師器 甕	体部のみ残存	高 47.0cm	P1横 床面上 北部 床面上	①直径1~3mmの砂粒を多量に含む。 ②酸化灰。硬質。 ③赤褐色5YR5/6	厚手に大形の体部。 外側 体部上半部・横方向に磨き後、部分的にナデ調整。中位広口に最大仔直ナデしている。下半斜方向に磨き。 内側 体部上位から中位横方向に磨き。下位は斜方向に磨き。
543	土師器 杯	片残存	口 (12.0cm) 高 4.1cm	埋没土	①細砂・長石粒・角閃石を含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR6/6	口縁部が内側に屈曲する浅い体部。 口縁部が直立する浅い体部。平底。 外側 口縁部横ナデ。杯部中央一方・周縁部横方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
545	土師器 杯	口縁部~底部のみ残存	口 (12.0cm) 高 3.8cm	埋没土	①赤褐色砂・角閃石を含む。 ②酸化灰。硬質。 ③赤褐色5YR6/6	口縁部が直立する浅い体部。平底。 外側 口縁部横ナデ。杯部中央一方方向に磨き。周縁部横方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
542	土師器 杯	口縁部~底部のみ残存	口 (14.3cm) 高 3.1cm	埋没土	①赤褐色砂・長石粒を多量に含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR6/6	口縁部が大きく外反する。ごく浅い体部。 外側 口縁部横ナデ。底部横方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。
540	土師器 杯	片残存	口 (14.0cm) 高 4.7cm	埋没土	①砂粒を多く含む。 ②酸化灰。やや軟質。 ③赤褐色5YR6/4	口縁部が短く直立する。やや深めの杯。 外側 口縁部横ナデ。杯部中央一方方向に磨き。周縁部磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
541	土師器 杯	口縁部~杯部のみ残存	口 (13.8cm) 高 4.2cm	埋没土	①直径1~2mmの砂粒・角閃石を多く含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR6/4	口縁部がやや内傾する。やや深めの杯。 外側 口縁部横ナデ。杯部横方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部丁寧なナデ。
539	土師器 杯	片欠損	口 11.4cm 高 3.1cm	南東隅 床面上	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化灰。硬質。 ③赤褐色5YR5/4	大きな平底から外反して立ち上がる口縁部。 外側 口縁部横ナデ。杯部指ナデ。肌調整部分残る。底部一方方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。底部内傾。底部ナデ。
544	土師器 杯	片残存	口 (13.4cm) 高 4.4cm	埋没土	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化灰。硬質。 ③赤褐色5YR6/6	口縁部が短く直立する。やや深めの杯。 外側 口縁部横ナデ。杯部周縁部横方向に磨き。中央部放射状磨き。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
546	土師器 鉢	口縁部~杯部のみ破片	口 (16.6cm)	埋没土	①直径1~5mmの砂粒・角閃石を多く含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR5/3	口縁部が短く直立する。深く大形の鉢。 外側 口縁部横ナデ。体部上位調整7位から下位置方向に磨き。 内側 口縁部横ナデ。体部ナデ。
523	土師器 台付甕	体部下位~台部ののみ残存	高 (5.2cm)	埋没土	①細砂・長石粒・角閃石を多く含む。②酸化灰。硬質。③赤褐色5YR4/6	低くハの字に開く口部。 外側 体部下位斜方向に磨き。上部縦方向に磨き。 内側 体部部・斜方向に磨き。上部横・斜方向に磨き。横部横ナデ。

遺物観察表

(1区42号住居・第100図)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
539	土師器 甕	口縁部～体部上位残存 口 22.2cm		埋没土	①微細砂を多量に含む。 ②酸化焼。 ③灰7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。体部は長胴と思われる。 外面 口縁部横ナデ。胴部体部直線の圧痕が強く、体部斜方向直線。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向直ナデ。
555	須恵器 蓋	写残存 口(11.6cm)高 2.3cm 横径(5.6cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。 ③灰3Y6/1	内面に嵌りかえりのある小形の蓋。 内外面 ナデ調整。天井部上平回転直ナデ。
563	須恵器 蓋	天井部～口縁部写残存 横径 5.5cm		埋没土	①微細砂と直径5mmの小石を少量含む。 ②還元焼。 ③灰2.5Y6/1	扁平な蓋みをつけた蓋。 内外面 回転ナデ。天井部外面回転直ナデ。
564	須恵器 網目 5.6cm	天井部のみ残存		埋没土	①微細砂を含む。②還元焼。 ③灰白2.5Y8/1	扁平な蓋みをつけた蓋。 内外面 回転ナデ。天井部外面回転直ナデ。
561	須恵器 高台付鉢	写残存 口(16.4cm)高 4.8cm		埋没土	①黒色鉱物微粒を含む。 ②還元焼。③灰7.5Y5/1	唇部、口縁ともに大きな高台付。口縁部は外反する。 内外面 右回転クロコ成形。底面回転直ナデ調整。削り出し高台。
548	須恵器 蓋	口縁部～体部上位写残存 口(11.9cm)		埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元焼。③灰黄2.5Y7/2	肩の張る体部。くの字に削出する頸部。口縁部は内湾する。 外面 口縁部ナデ。体部ナデ。内面 口縁部ナデ。体部ナデ。
522	須恵器 蓋	胴部写残片 南東部中央 床面上11.5cm		埋没土	①微細砂・赤色鉱物微粒含む。 ②還元焼。軟質。 ③灰黄5YR6/2	肩の張る体部。 内外面 回転ナデ。表面は荒れているが、外面胴部直下に2条の凹線がみられる。
549	須恵器 蓋	頸部～体部中央写残存		埋没土	①微細砂・角閃石を多量に含む。 ②還元焼。③灰5Y4/1	やや頸部が上方に伸びる口縁部。 内外面 回転ナデ。頸部外面に軽い凸帯が1条出る。胴部外面に自然輪。
552	赤黒色 長筒壺	体部下位～底部残存 底(10.0cm)		埋没土	①微細砂・直径1cmほどの 黒色鉱物粒を少量含む。 ②還元焼。③灰黄2.5Y6/2	付高台の底面。 内外面 底部切り技法不明。底部回転直ナデ。右回転ナデ調整。付高台。
550	須恵器 鉢	口縁部～高台部分残存 口(15.8cm)高 9.7cm		埋没土	①直径1～3mmの小石を少量含む。 ②還元焼。③褐色10YR6/1	口縁部が強く直く出る。高台付の鉢。 内外面 ナデ調整。底部切り難し技法不明。回転直ナデ調整。付高台。

1区42号住居出土遺物観察表(石器)第99図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重量(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S44	凹み石	13.6・9.8 7.4	黒粒安山岩 1220.0	埋没土	片面のほぼ中央に集合打痕がみられる。
S47	陥石?	8.2・5.8 3.1	黒粒安山岩 180.0	埋没土	扁平な円形の礫の片面に磨った痕跡が見られる。
S43	紡錘車	5.6 1.0	かんざん岩 40.0	西壁寄り 床面上2cm	薄い台形を呈する紡錘車。上下面および側面はよく磨かれており、わずかに磨痕が残る。

2区47号住居出土遺物観察表(土器)第102図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
180	土師器 白付甕	体部下位～台付上半片		P2内 床面上20cm	①微細砂を含む。 ②酸化焼。 ③赤い赤褐色5YR5/4	やや厚手の台付甕の白接合部。 外面 体部下位斜方向直線。台部縦方向直線。 内面 体部下位斜方向直線。台部横方向直ナデ。

2区47号住居出土遺物観察表(石器)第102図・PL40

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重量(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S76	磨石・礫石	15.2・6.4 4.1	黒粒安山岩 619.0	埋没土	やや扁平な棒状礫の片面には磨り痕があり、一方の小口には集合打痕がみられる。
S73	磨石・礫石	17.0・8.4 5.2	黒粒安山岩 1069.0	埋没土	一端の欠損した、扁平な棒状礫。もう一端の小口に打痕がある。
S74	礫石	17.9・6.7 5.8	黒粒安山岩 1079.0	埋没土	断面の丸い棒状礫の両端の小口に打痕がある。
S75	礫石	17.0・7.8 5.0	砂岩 915.0	埋没土	断面が台形のやや曲った棒状礫の一端の小口に集合打痕がみられる。
S72	礫石	19.5・7.2 4.7	右英阿緑岩 1165.0	埋没土	やや扁平な棒状礫の両端の小口に打痕がある。

2区109号住居出土遺物観察表(土器)第103図・PL41

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
732	土師器 高杯	胴部のみ残存 底 14.2cm		中央部 床面上5cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/8	裾が大きく開いた筒状の胴部。 外面 胴部斜方向直ナデ後、縦方向直線。裾部横ナデ。 内面 胴部上半部削出後、下半部斜方向直ナデ。裾部横ナデ。
731	土師器 高杯	胴部残存 胴部一部欠損 底 13.1cm		南東部 床面上8.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③明赤褐色5YR5/6	裾が大きく開いた筒状の胴部。 外面 胴部横ナデ後、縦方向直線。裾部横ナデ。 内面 胴部上半部斜方向直ナデ。中位部押え。裾部横ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(2区109号住居)

番号	器種	形状・寸法	重量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
747	土師器 壺	口縁～体部下位残存 口 (11.4cm)		北部 床面上5cm	①胎土・角閃石を多く含む。 ②酸化塩。硬質。 ③にじみ赤褐色5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。肩部外面に面取り。体部中位が厚出して彫形になる。 内面 口縁一部横ナデ。輪縁み張り部残る。体部下位縦方向瓦葺ナデ。中位斜方向瓦葺ナデ。 内面 口縁横ナデ。体部上部位縦方向瓦葺ナデ。中位斜方向瓦葺ナデ。
744	土師器 壺	口縁～体部下位残存 口 (13.4cm)		北部 床面上3cm	①胎土・角閃石・白色鉱物細粒を少量含む。②酸化塩。 ③明赤褐色5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。一部横ナデ。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
748	土師器 壺	体部下位～底部残存 底 (6.5cm)		北部 床面上7cm	①胎土・直径2～3mmの石英粒・5～8mmの小石を含む。 ②酸化塩③明赤褐色2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 内面 体部下位斜方向瓦葺ナデ。底部削削ナデ。 内面 体部底部と外面が荒れており平滑。
750	土師器 壺	口縁～体部上位片破片 口 (14.0cm)		南東部 床面直上	①胎土・角閃石・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化塩。 ③褐色7.5YR3/2	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
749	土師器 壺	口縁部片残存 口 (16.8cm)		南東部 床面上10cm	①胎土・角閃石を多く含む。 ②酸化塩。 ③褐色7.5YR4/3	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。 内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
746	土師器 壺	口縁～体部下位残存 口 14.4cm		南東部 床面上6cm	①胎土・直径2～3mmの小石を少量含む。②酸化塩。 ③明赤褐色5YR5/6	ゆるやかに屈曲する広口の頸部。外反する口縁部。丸い体部。 内面 口縁横ナデ。体部上平ナデ。下半横方向瓦葺ナデ。部分的に横方向瓦葺ナデ。内面 口縁横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
745	土師器 壺	口縁～体部中位残存 口 14.5cm		北部 床面直上	①胎土・角閃石と少量の細砂を含む。②酸化塩。 ③明赤褐色5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 内面 口縁部上平ナデ。下半ナデ。体部上部位ナデ。中位縦方向瓦葺ナデ。下半ナデ。内面 口縁部上平ナデ。下半ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
743	土師器 壺	口縁～体部中位片欠損。 口 15.0cm 高 22.8cm		北部 床面上5.5cm	①胎土・石英微細片・直径2～3mmの白色鉱物粒を含む。 ②酸化塩。 ③にじみ赤褐色2.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。やや丸い球形の体部。 内面 口縁部上平ナデ。下半ナデ。体部中位～下位横方向瓦葺ナデ。横方向瓦葺ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。

2区68号土坑出土土物観察表(土器)第105図・PL41

番号	器種	形状・寸法	重量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
759	土師器 杯	口縁～杯部片破片 口 (13.8cm)		西部 床面上6.5cm	①胎土・長石層状粒を含む。 ②酸化塩。硬質。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が内傾する。深めの杯。 内面 口縁部横ナデ。杯部不明。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ面整後横方向瓦葺ナデ。
758	土師器 高杯	杯部片残存 口 (18.4cm)		中央部 床面上2cm	①胎土・角閃石を多く含む。 ②酸化塩。やや軟質。 ③赤褐色5YR5/6	緩やかな屈曲する頸部。口縁部はやや内傾。 内面 口縁部上部位横ナデ。中～下位ナデ後縦方向瓦葺ナデ。杯部下位横方向瓦葺ナデ。内面 口縁部上部位横ナデ。中～下位ナデ後放射状瓦葺ナデ。
757	土師器 高杯	杯部片残存 口 (18.6cm) 高 (5.0cm)		南部 床面上10cm	①砂粒・長石層状粒・石英粒を多く含む。②酸化塩。硬質。 ③にじみ赤褐色5YR5/3	口縁部が外反する杯部。 内面 口縁部上部位横ナデ。中位ナデ。下位斜方向瓦葺ナデ。 内面 口縁部ナデ後放射状瓦葺ナデ。
755	土師器 壺	口縁～体部中位片 口 15.4cm 高 22.0cm		中央部 床面直上	①胎土・角閃石・白色鉱物粒を含む。 ②酸化塩。 ③赤褐色5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。球形の体部。 内面 口縁部横ナデ。体部上部位縦方向瓦葺ナデ。上半横方向瓦葺ナデ後部分的に瓦葺ナデ。ナデ。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。
756	土師器 壺	体部下位～底部 底 (7.0cm)		西部 床面上3cm	①胎土・角閃石を多く含む。 ②酸化塩。③褐色2.5YR6/6	小さな底面。 内面 体部下位斜方向瓦葺ナデ。ナデ。底部削削ナデ。ナデ。内面 ナデ。

2区3号住居出土土物観察表(土器)第107図・PL41

番号	器種	形状・寸法	重量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
626	土師器 壺	口縁部片破片 口 (19.4cm)		埋没土	①胎土・角閃石を含む。 ②酸化塩。硬質。 ③にじみ赤褐色10YR7/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向瓦葺ナデ。 内面 口縁部横ナデ。ナデ残したハケムがみえる。体部縦方向瓦葺ナデ。
624	土師器 壺	体部片残存 底 28.0cm		北東部 床面上3.5cm	①胎土・直径1～3mmの砂粒を多量に含む。②酸化塩。 ③にじみ赤褐色10YR6/4	丸い体部。 内面 体部斜方向瓦葺ナデ。 内面 体部斜方向瓦葺ナデ。
625	土師器 杯	片残存 口 (11.7cm) 高 3.9cm		北東寄り 床面上4.5cm	①直径1～3mmの砂粒を含む。 ②酸化塩。軟質。 ③褐色5YR6/8	下位に横をもつ浅い杯。口縁部は外反する。 内面 口縁部横ナデ。杯部削削ナデ。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
627	須石器 台付甕?	右部破片 底 (18.0cm)		埋没土	①胎土・角閃石を含む。白色鉱物細粒が目立つ。 ②還元塩。③灰NS/	貼り付けられたとみられる右部の破片。 内面 ナデ面。 内面には、焼成時に付着した岩砕が目立つ。

遺物観察表

1区65号住居出土遺物観察表(土器) 108~110図・PL43

番号	器種	残存	容量	出土位置	①胎土 ②組成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
585	土師器 杯	口縁~底部片残存 口 16.0cm 高 2.7cm		東壁際 床面上2.5cm	①微細砂と少量の角四石を含む。②酸化肌。 ③赤褐色5YR5/6	口縁部が短く直立する。浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部両縁部横方向凹削り、中央部一方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
587	土師器 杯	口縁部片残存 口 11.6cm 高 3.4cm		中央西寄り 床面上3cm	①直径3~5mmの小石・砂粒・微細砂を多く含む。 ②酸化肌。③橙5YR6/6	口縁部が短く外反する。浅い杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部両縁部横方向凹削り、中央部一方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
589	土師器 杯	口縁~底部片残存 口 10.3cm 高 5.1cm		北西隅 床面上4.5cm	①微細砂・角四石を少量含む。 ②酸化肌。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向凹削り、両縁部横方向凹削り、更にその外側ナデ。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
585	土師器 甕	口縁部欠損 口 11.6cm 高 3.3cm		南壁際 床面上直上	①微細砂・角四石を多く含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR5/6	口縁部が短く直立する。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向凹削り、両縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
586	土師器 杯	口縁部欠損 口 12.3cm 高 4.2cm		中央東寄り 床面上19.5cm	①微細砂・角四石を含む。 ②酸化肌。 ③明褐色5YR5/6	口縁部が短く内傾する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向凹削り、両縁部横方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
591	土師器 杯	口縁~底部片残存 口 (9.5cm) 高 3.1cm		埋没土	①直径2~3mmの砂粒を少量と微細砂を含む。 ②酸化肌。③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する。小形。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向凹削り、両縁部横方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
584	土師器 杯	口縁部~杯部残存 口 12.3cm		中央東寄り 床面上14cm	①微細砂・細砂・角四石を少量含む。②酸化肌。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部が短く内傾する。深い大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横方向凹削り、両縁部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
582	土師器 甕	体部下位~底部残存 高 5.4cm		中央 床面上3cm	①細砂・直径2~5mmの砂粒・石灰を多量に含む。 ②酸化肌。③橙5YR6/4	小さな平底。 外面 体部側・斜方向凹削り。底部削削り。 内面 体部~底部横方向凹ナデ。
583	土師器 甕	体部下位~底部残存 高 4.7cm		南壁 床面上15.5cm	①微細砂多く含む。②酸化肌。 ③いよ橙7.5YR6/4	小さな平底。 外面 体部下位横方向凹削り。底部削削り。内面 横方向凹ナデ。
580	土師器 甕	口縁~体部上位片残存 口 (22.0cm)		南東壁隅 床面上7.3cm	①微細砂・角四石・直径1~3mmの砂粒を含む。 ②酸化肌。③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向凹ナデ。
590	土師器 甕	口縁~体部上位片残存 口 (20.8cm)		埋没土	①微細砂・角四石・長石副粒を多量に含む。②酸化肌。 ③いよ橙7.5YR6/3	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部斜方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方向凹ナデ。
579	土師器 甕	口縁~体部中位片残存 口 (22.0cm)		南東壁隅 床面上7.5cm	①微細砂・角四石・白色鉱物副粒を多く含む。 ②酸化肌。 ③橙5YR6/6	口縁部が大きく外反する。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。体部削削り工具部部の圧痕が著しく残る。頸部横ナデ。体部斜方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹ナデ。
578	土師器 甕	口縁~体部上位残存 口 21.4cm		中央東寄り 床面上13cm	①微細砂・直径3~8mmの灰白色鉱物粒を多量に含む。 ②酸化肌。 ③いよ橙7.5YR7/4	口縁部が外反する長胴の甕。下平底はやや狭く小さい。 外面 口縁部横ナデ。体部~体部横方向凹削り後、部分的に縦方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向凹ナデ。体部横方向凹ナデ。
577	土師器 甕	口縁~体部下位残存 口 21.3cm		東石袖 床面上直上	①微細砂・角四石・白色鉱物副粒を多量に含む。 ②酸化肌。硬質。 ③赤褐色5YR4/6	口縁部が大きく外反する。長胴で、上半部がやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部斜方向凹削り後、縦方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横方向凹ナデ(狭)。体部横方向凹ナデ。
575	土師器 甕	口縁~体部下位残存 口 20.4cm		中央東寄り 床面上13cm	①細砂・白色鉱物粒・角四石を含む。 ②酸化肌。 ③いよ橙7.5YR6/4	口縁部が大きく外反する。長胴で、上半部がやや膨らむ。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹削り後、縦方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹ナデ、下平底方向ナデ。
576	土師器 甕	口縁~体部上位残存 口 17.6cm		中央東寄り 床面上16.5cm	①直径1~5mmの細砂・白色鉱物粒を多量に含む。 ②酸化肌。③橙7.5YR6/6	口縁部が外反する。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹削り後、部分的に横方向ナデ。内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹ナデ。
573	土師器 甕	体部の一部と底部欠損 口 19.9cm 高 27.2cm 高 24.8cm		中央東寄り 床面上5.5cm	①微細砂・角四石・白色鉱物副粒を含む。②酸化肌。 ③いよ橙7.5YR6/4	くの字の頸部。胴部に外反する口縁部。球形の体部。丸底。 外面 口縁部横ナデ。輪縁成残る。頸部横ナデ。体部斜方向凹削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部横方向凹ナデ。
574	土師器 甕	底部残存		中央南寄り 床面上10.5cm	①微細砂および小石を含む。 ②酸化肌。 ③いよ黄褐色10YR7/3	丸底。 外面 体部下位斜方向凹削り。底部削削り。 内面 丁字凹ナデナデ。
581	須恵系 大甕	口縁部欠損片 口 (30.0cm)		中央 床面上3cm	①微細砂と直径3~5mmの砂粒・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化肌。③明赤褐色5YR5/8	外反する大形甕の口縁部。腹部外面に直上あり。 外面 口縁部ナデ。頸部ナデ。 内面 口縁部横ナデ。一部ハメタスの痕跡あり。頸部横方向凹ナデ。

1区65号住居出土遺物観察表(石器) 第110図・PL43

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重量(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S33	敲石	22.1 × 7.0 5.2	7人前 1260.0	埋没土	一端の一部を欠損する棒状のもの一端の小口に打痕が残る。

I区8号住居出土遺物観察表(土器)第111回・PL44

番号	器種	形状・ 口径	高さ・ 容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
798	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 11.4cm	高 3.5cm	埋没土	①細砂・長石粒を含む。 ②酸化焼。 ③に赤い焼SYR6/4	口縁部部が強く内縮する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中位指ナデ無調整部分も残る。下位尻張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部中位ナデ指部残存。
799	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (11.8cm) 高 4.1cm		埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。 ③焼2.SYR6/8	口縁部部が強く内縮する。やや深めの杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部中央部一方内張り。周縁部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
801	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (14.4cm) 高 4.3cm		埋没土	①微細砂・石英細粒・角閃石を含む。②酸化焼。 ③焼SYR6/6	口縁部部が大きく外反する浅い杯。口縁部下の境は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
797	土師罎 壺	口縁部一部上位欠損 口 (22.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。②酸化焼。 ③焼7.SYR7/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。口縁部部は内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。体部横ナデ内張り。
796	土師罎 壺	口縁部一部上位欠損 口 (15.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む。②酸化焼。 ③焼SYR6/6	ゆるやかな屈曲の頸部。外反する口縁部。口縁部部は強く直立する。 外面 口縁部横ナデ。体部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。体部横ナデ内張り。

I区48号住居出土遺物観察表(土器)第113・114回・PL44

番号	器種	形状・ 口径	高さ・ 容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
561	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 10.9cm 高 3.4cm		南壁障 床面上7.5cm	①細砂を多く含む。②酸化焼。硬質。 ③焼SYR6/6	口縁部部が強く内縮する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦ナデ・斜方内張り。上位の一部に保付筋。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
560	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (10.8cm) 高 (3.5cm)		南壁障 床面上13cm	①細砂・微細砂・角閃石を含む。②酸化焼。硬質。 ③に赤い焼SYR6/4	口縁部部が強く内縮する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。指部残存。
567	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (12.8cm) 高 (3.2cm)		埋没土	①直径1～2mmの砂粒と角閃石を含む。②酸化焼。硬質。 ③焼2.SYR6/8	口縁部部が弱い屈曲から直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
566	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (13.5cm) 高 3.4cm		埋没土	①直径1～2mmの白色鉱物粒と角閃石を含む。②酸化焼。硬質。③赤褐色SYR5/6	口縁部部が境をもたずゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦面状に平削。 内面 口縁部横ナデ。杯部中位横ナデ。
565	土師罎 杯	口縁部一部欠損 口 (16.0cm) 高 4.1cm		埋没土	①微細砂・角閃石を含む。②酸化焼。硬質。 ③赤褐色焼2.SYR5/6	口縁部部がゆるやかに内縮する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦ナデ内張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部中位まで横ナデ。下位ナデ。
557	土師罎 壺	口縁部中位横ナデ 口 21.4cm		電筒 床面上	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焼。硬質。 ③焼2.SYR6/6	大きく外反する口縁部。長頸の壺。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦削り片痕が顯著に付いている。体部上位斜方内張り。 内面 口縁部横ナデ。中位縦方内張り。
556	土師罎 壺	口縁部一部下位欠損 口 (23.7cm) 最 (17.2cm)		電筒方4cm 壺内9cm	①細砂・角閃石・白色鉱物粒を多量に含む。②酸化焼。 ③焼7.SYR6/6	大きく外反する口縁部。ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦削り片痕がある。体部上半斜方内張り。下半斜・縦方内張り。横方内張り。 内面 口縁部横ナデ。頸部ナデ。体部横方内張りナデ。
558	土師罎 壺	体部一部欠損 口 20.4cm 高 31.7cm		電筒 床面上	①微細砂・角閃石・白色鉱物粒を多く含む。②酸化焼。 ③に赤い焼SYR6/4	大きく外反する口縁部。ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。丸い体部。 外面 口縁部横ナデ。頸部縦削り片痕が顕著。体部縦方内張り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方内張りナデ。
564	土師罎 壺	口縁部一部上位欠損 口 (21.2cm)		埋没土	①微細砂・角閃石・長石細粒を多く含む。②酸化焼。 ③焼7.SYR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部内湾する。 外面 口縁部横ナデ。体部斜・縦方内張り。 内面 口縁部横ナデ。体部横方内張りナデ。
563	土師罎 壺	口縁部一部上位欠損 口 (24.0cm)		埋没土	①微細砂・角閃石・長石細粒を多く含む。②酸化焼。やや硬質。 ③焼SYR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。頸部は肥厚する。 外面 口縁部横ナデ。体部上位斜方内張り。 内面 口縁部横ナデ。体部上位斜方内張りナデ。
559	直器用 壺	体部下位欠損 最 (19.1cm)		壺内 床面上2cm	①微細砂・角閃石を含む。②酸化焼。 ③に赤い焼10YR7/3	丸い体部。丸底。 外面 体部中位横方内張りナデ。下位縦・斜方ナデ後部分的にナデ。 内面 体部縦・斜方内張りナデ。
562	直器用 高頸	口縁部一部下位欠損 口 (25.0cm) 高 (8.1cm) 最 (13.0cm)		南壁障 床面上12cm	①微細砂を少量含む。②酸化焼。 ③焼10Y4/1	筒すき目が美しい。 外面 口縁部縦削りナデ。杯部縦削りナデ。上部縦削りナデに指ナデ。内面 口縁部縦削りナデ。杯部縦削りナデ。上部上半部縦削りナデ。下半半部縦削りナデ。

I区48号住居出土遺物観察表(石器)第114回・PL44

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S51	磨石・敲石	7.1 × 7.0 4.1	粗粒安山岩 286.0	埋没土	一端が欠損した縁の一面に磨り面が、側面の一方向に打痕がある。
S49	磨石	8.1 × 5.8 3.8	粗粒安山岩 175.0	埋没土	一端が欠損する小縁の一面に磨り面がみられる。
S52	敲石	14.7 × 6.5 4.2	実質安山岩 516.0	埋没土	断面三角形の棒状縁の一端におおむね打痕がみられる。

遺物観察表

(1区48号住居)

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 量(g)	出土位置	器形・器身・文様の特徴
S50	巖石	13.3・5.8 5.4	四緑岩 500.0	埋没土	断面三角形の棒状物の二面に磨り面が、一端の小口に打痕がみられる。
S48	巖石	13.4・6.4 3.6	粗粒安山岩 470.0	埋没土	扁平な棒の一端面と、上面の中央に顕著な打痕がみられる。

1区66号住居出土遺物観察表(土器)第116図・PL45

番号	器種	残 存 状況	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器身・文様の特徴
595	土師器 杯	完整 口 10.1cm 高 3.0cm	東壁輪廊 床面上8.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。硬質。 ③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナ。杯部中央部一方内湾。周縁部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。杯部ナ。
602	土師器 杯	口縁～底部欠破片 口 (11.5cm) 高 2.5cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焰。 ③焼5YR6/6	口縁部が短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナ。杯部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。杯部ナ。
599	土師器 杯	口縁～底部欠残存 口 (11.3cm) 高 2.8cm	埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長石粒と角閃石を含む。 ②酸化焰。硬質。 ③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナ。杯部ナ。 内面 口縁部横ナ。杯部ナ。
598	土師器 杯	口縁～底部欠残存 口 10.8cm 高 3.1cm	埋没土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焰。 ③焼5YR7/6	口縁部がごく短く内湾する杯。 外面 口縁部横ナ。杯部中央部一方内湾。周縁部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。杯部ナ。
600	土師器 杯	口縁～体部下位欠破片 口 (11.0cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焰。硬質③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナ。杯部横方向内湾。内面 丁寧なナ。
601	土師器 杯	口縁～杯底欠破片 口 (13.5cm) 高 (2.9cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化焰。硬質。 ③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。口径が広い。 外面 口縁部横ナ。杯部横方向内湾。断面磨耗のため単位不明。 内面 口縁部横ナ。杯部横ナ。
596	土師器 杯	口縁～底部欠残存 口 (16.3cm) 高 5.1cm	電気輪廊 床面上直上	①直径3～8mmの砂粒を少量・細砂粒を多く含む。 ②酸化焰(部分赤褐色)5YR5/6	口縁部がゆるやかに内湾する大形の杯。 外面 口縁部横ナ。杯部中央部一方内湾。周縁部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。杯部ナ。
603	須恵器 壺	口縁～底部欠破片 口 (6.0cm) 高 2.1cm	埋没土	①微細砂を含む。②還元焰。 ③KT-5Y5/1	台付長形壺の蓋と思われる。 内外 欠ナ。
597	土師器 壺	口縁～体部上位欠破片 口 (20.9cm)	埋没土	①直径2～5mmの砂粒・角閃石を含む。白色鉱物粒が目立つ②酸化焰。やや軟質 ③洗白層10YR8/3	大きく外反する口縁部。長胴の壺。 外面 口縁部横ナ。体部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。体部斜方向内湾。
594	土師器 壺	口縁～体部欠破片 口 (24.0cm)	中央北寄り 床面上3.5cm	①石英細粒・細砂・角閃石を多く含む。②酸化焰。 ③におい焼7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。長胴の壺。 外面 口縁部横ナ。体部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。体部斜方向内湾。
593	土師器 壺	口縁～体部中位残存 口 22.1cm	電気輪廊 床面上直上	①微細砂・角閃石を少量に含む。②酸化焰。 ③部分赤褐色5YR5/6	大きく外反する口縁部。長胴の壺。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。
592	土師器 壺	口縁～体部下位残存 口 22.0cm	電気輪廊 床面上直上	①細砂・角閃石・直径3～8mmの白色鉱物粒を多く含む。 ②酸化焰。③焼5YR6/6	大きく外反する口縁部。長胴の壺。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部斜方向内湾。

1区68号住居出土遺物観察表(土器)第118図・PL46

番号	器種	残 存 状況	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器身・文様の特徴
833	土師器 壺	口縁～体部下位欠残存 口 21.7cm	中央南寄り 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石・白色鉱物微細粒を多量に含む。 ②酸化焰。 ③におい焼7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。上半部がやや膨らむ長胴壺。口縁部内面に平断面。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。頸部横方向内湾。体部上位斜方向内湾。 内面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。
832	土師器 壺	口縁～体部下位欠残存 口 21.0cm	貯蔵穴脇 床面上15.5cm	①細砂・砂粒・角閃石を多く含む。②酸化焰。硬質。 ③におい焼7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。中位が膨らむ長胴壺。口縁部内面に平断面。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部斜方向内湾。 内面 口縁部横ナ。頸部に沈線。体部横・斜方向内湾。
835	土師器 壺	口縁～体部下位欠残存 口 (21.4cm)	中央部 床面上直上	①微細砂・直径2～5mmの細砂を多く含む。②酸化焰。 ③焼5YR6/6	大きく外反する口縁部。上半部が膨らむ長胴壺。口縁部内面に平断面。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部斜方向内湾。 内面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。
837	土師器 壺	口縁～体部上位欠残存 体部下位欠	中央南寄り 床面上3.5cm	①細砂・微細砂・角閃石を多量に含む。直径3～8mmの小石も混じる。②還元焰。 ③におい焼10YR7/3	大きく外反する口縁部。長胴壺。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。体部横方向内湾。下位横方向内湾。 内面 口縁部横ナ。体部横方向内湾。下位横方向内湾。
834	土師器 壺	口縁～体部中位欠残存 口 21.8cm	南壁寄り 床面上7cm	①微細砂・角閃石を多量に含む。②酸化焰。硬質。 ③におい焼7.5YR6/4	大きく外反する口縁部。中位が膨らむ長胴壺。 外面 口縁部横ナ。頸部横ナ。頸部横方向内湾が強く現る。体部斜方向内湾。 内面 口縁部横ナ。体部横方向内湾。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区68号住居)

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
831	土師器 壺	口縁部・体部一部欠損 口 22.0cm 高 33.0cm 底 28.3cm	内壁寄り 床面上7cm	①微細砂・角閃石・白色炭 物粒を多量に含む。 ②酸化色。やや濃青。 ③にじみ多層SYR5/4	くの字に屈曲する頸部。外反して口縁部。球形の体部。丸底。 外側 口縁部横ナズ。胴部横ナズ。体部斜方向張り。 内側 口縁部横ナズ。胴部横ナズ。体部丁字型ナズ。	
838	土師器 杯	口縁→杯部欠損片 口 (10.4cm)	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤褐色RS/4	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部丁字型ナズ。	
839	土師器 杯	口縁→杯部欠損片 口 (14.0cm) 高 3.8cm	埋没土	①微細砂・石英粒・角閃石 を多く含む。②酸化色。 ③橙7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する。やや大形の杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	

1区68号住居出土遺物観察表〈石器〉第119図・PL45

番号	器種	高さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S86	磨石	14.0 × 7.5 3.7	粗粒安山岩 515.0	埋没土	偏平な礫の一面に顕著な磨り面がみられる。
S85	磨石	12.4 × 7.1 3.9	火山岩 546.0	埋没土	偏平な礫の一面に磨り面がみられる。
S88	磨石	9.0 × 6.7 4.9	石英閃緑岩 380.0	埋没土	一端が欠損した棒状礫のもう一端の小口に打痕がみられる。
S89	磨石	8.5 × 7.9 3.6	石英閃緑岩 285.0	埋没土	一端が欠損した一面に磨り面がみられる。
S90	磨石	5.1 × 6.65 4.2	粗粒安山岩 200.0	埋没土	偏平な丸い礫の両面に磨り面がみられる。

1区70号住居出土遺物観察表〈土器〉第121図・PL46

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
840	土師器 杯	口縁部一部欠損 口 9.9cm 高 3.1cm 底 6.0cm	内壁内 床面上11cm	①直径2〜4mmの砂粒少量 と褐色炭化物粒を少量含む。 ②にじみ黄褐色10YR7/2	底径比の大きい杯。 内外側 丸れている。	
843	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 (13.6cm) 高 3.0cm	埋没土	①微細砂・角閃石・長石粒 を含む。②酸化色。 ③橙2.5YR6/6	口縁部が短く内湾する。浅い杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部中央部一方向張り。周縁部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	
842	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 13.3cm 高 4.2cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が短く内湾する。やや深めの杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部中央部一方向張り。周縁部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。	
841	土師器 壺	口縁部欠損片 口 (14.6cm)	埋没土	①微細砂を少量含む。 ②酸化色。③黄灰2.5Y6/1	くの字に屈曲する頸部。口縁部は外反して、底部外面に面とり。 内外側 口縁部ナズ遺物。	

2区36号住居出土遺物観察表〈土器〉第123・124図・PL47

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
647	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 (10.9cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂と直径1〜2mmの 砂粒を含む。②酸化色。 ③橙7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部直寄り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	
644	土師器 杯	口縁部一部欠損 口 11.3cm 高 3.2cm	埋没土	①細砂・長石粒・角閃石を 多く含む。②酸化色。硬質。 ③にじみ5YR7/4	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部中央部一方向張り。周縁部ナズ。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	
639	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 11.8cm 高 3.9cm	電前 床面上30cm	①微細砂・赤色炭化物・角 閃石を多量に含む。 ②酸化色。③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	
649	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 (12.9cm) 高 3.2cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する。浅い杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	
648	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 12.8cm 高 3.6cm	埋没土	①細砂・黒炭粒を含む。 ②酸化色。③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する。大形の浅い杯。 外側 口縁部横ナズ。杯→底部横方向張り。内側 横方向ナズ。	
607	須恵器 鉢	口縁部欠損片 口 (17.8cm)	埋没土	①微細砂を多く含む。 ②還元色。③灰NS/5 ④内外部 ナズ調整。	やや厚手の鉢。 内外側 ナズ調整。	
601	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 (11.3cm) 高 3.4cm	埋没土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③にじみ5YR7/4	口縁部がゆるやかに直立する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部横ナズ。	
646	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 10.3cm 高 3.1cm	埋没土	①細砂・角閃石を含む。白 色炭化物が目立つ。 ②酸化色。③橙5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する杯。やや厚手。 外側 口縁部横ナズ。杯→底部一方向張り。 内側 口縁部→底部ナズ。	
650	土師器 杯	口縁→底部欠損片 口 (10.8cm) 高 3.1cm	埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にじみ5YR6/4	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外側 口縁部横ナズ。杯部横方向張り。 内側 口縁部横ナズ。杯部ナズ。	

遺物観察表

(2区36号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
632	土師器 杯	口縁~底部瓦破片 口(20.0cm)高(4.1cm)		埋設土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい焼7.5YR/8	口縁部が広く外反する浅い盤形の杯。口縁部下の縁は不明瞭。 外面 口縁部横ナゲ。杯部斜方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。杯部丁字取ナゲ。
645	土師器 杯	口縁~底部瓦残存 口(11.3cm)高 4.5cm		埋設土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい焼7.5YR/6/4	口縁部部が広く内湾する。深い杯。 口縁部部が広く内湾する。杯部中央部斜形縁の方向に直張り、周縁部斜方向直張り。内面 口縁部横ナゲ。杯部ナゲ。
654	須恵器 蓋	瓦残存 口 9.5cm 高 1.4cm		埋設土	①微細砂・砂粒を多く含む。 ②還元色。 ③オリーブ灰7.5Y3/1	縦いふりが内面につく小形の蓋。縁目は欠損。 外面 回転直張り。周縁部横ナゲ。 内面 ナゲ調整。
663	須恵器 蓋	体部瓦破片 口(10.8cm)		埋設土	①微細砂と少量の角閃石を含む。 ②還元色。③灰白7.5Y7/1	縦いふりがつく。やや高い蓋。 内外面 回転ナゲ調整。大弁部外面に回転直張り直張り。
656	須恵器 杯	天井部下位~口縁部瓦破片 口(10.8cm)高 3.8cm		埋設土	①微細砂・褐色鉱物粒を含む。 ②還元色。③焼灰10YR5/1	底径比・器高の大きい。深めの小形の杯。 内外面 回転ナゲ調整。
655	須恵器 高脚杯	瓦破片 口(21.3cm)		埋設土	①微細砂・角閃石を含む。 ②還元色。 ③にぶい焼7.5YR/7/4	口縁部はやや肥厚し、縁部上面に面とり。 内外面 回転ナゲ調整。大弁部外面に回転直張り。
643	土師器 壺	口縁~体部上位瓦破片 口(23.1cm)		埋設土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。上半部がゆるむ長胴壺。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直張り。
640	土師器 壺	口縁~体部中位瓦残存 口 21.6cm		埋設土	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③明焼7.5YR5/6	大きく外反する口縁部。上半部がゆるむ長胴壺。 外面 口縁部横ナゲ。一部に輪縁み直張り。体部斜方向直張り。 内面 口縁部~頸部横ナゲ。体部縦方向直張り。
637	土師器 壺	口縁~体部下位瓦残存 口 18.6cm	南東隅 床面上 6cm	埋設土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③7.5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナゲ。一部に輪縁み直張り。体部上位横方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直張り。
642	土師器 壺	口縁~頸部瓦破片 口(22.4cm)		埋設土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③にぶい焼7.5YR/7/4	深く、くの字に屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。体部はやや丸いか？ 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直張り。
641	土師器 壺	口縁~頸部瓦破片 口(20.4cm)		埋設土	①微細砂・角閃石・長石細粒を含む。②酸化色。硬質。 ③にぶい焼7.5YR/7/3	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部斜方向直張り。
638	土師器 壺	口縁~体部下位瓦残存 口(19.6cm)	南東隅 床面直上	埋設土	①直径1~2mmの細砂・角閃石・直径3~5mmの灰白色鉱物粒を多量に含む。 ②還元色。③明赤焼6YR5/8	ゆるやかにくの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。上半部がやや膨らむ。やや短い体部。 外面 口縁部横ナゲ。頸部縦方向直張り。体部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。

2区36号住居出土遺物観察表(石器)第124図・PL47

番号	器種	長さ・幅 厚S(cm)	石・材質 重S(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S55	磨石	9.8 × 8.0 2.2	粗粒安山岩 255.0	埋設土	個平な磨石の両面に磨り面がある。
S56	凹み石	10.0 × 8.0 3.9	角閃石安山岩 310.0	埋設土	個平な磨石の両面と二側面に磨り面がみられる。

2区50号住居出土遺物観察表(土器)第126・127図・PL49

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・器形・文様の特徴
603	土師器 杯	口縁~底部瓦破片 口(10.6cm)高 3.6cm	東壁隅 床面上 9cm	埋設土	①細砂・角閃石を含む。②還元色。硬質③赤褐色10R5/4	口縁部が外反する浅い杯。口縁部下の縁は不明瞭。 外面 口縁部横ナゲ。杯部直張り。内面 口縁部横ナゲ。杯部ナゲ。
607	土師器 杯	口縁~杯部瓦破片 口(10.6cm)高(3.3cm)		埋設土	①細砂・角閃石を多く含む。 ②還元色。③焼5YR6/8	口縁部部が広く内湾する。杯部。 外面 口縁部横ナゲ。杯部直張り。内面 口縁部横ナゲ。杯部ナゲ。
605	土師器 杯	口縁~杯部瓦破片 口(11.2cm)		埋設土	①直径2~5mmの砂粒を多く含む。②還元色。 ③焼2.5YR6/8	口縁部部が広く内湾する杯。 外面 口縁部横ナゲ。杯部斜方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。杯部ナゲ。
606	土師器 杯	口縁~杯部瓦破片 口(11.3cm)		埋設土	①角閃石・微細砂を含む。②還元色。硬質③焼5YR6/8	口縁部が外反する浅い杯。口縁部下の縁は不明瞭。 外面 口縁部横ナゲ。杯部直張り。内面 口縁部横ナゲ。杯部直張り。
602	須恵器 蓋	口縁部破片	中央東寄り 床面直上	埋設土	①微細砂を多く含む。 ②還元色。③灰N4/ ③灰焼7.5YR5/1	大形。口縁部部は口の狭い折り返し。 内外面 ナゲ調整。回転部切り離し。径高台。
604	須恵器 蓋	体部下位~高台部残存 底 9.2cm		埋設土	①砂粒・褐色鉱物粒を含む。 ②還元色。軟質。 ③灰焼7.5YR5/1	内外面 ナゲ調整。回転部切り離し。径高台。
600	土師器 壺	口縁~体部上位瓦破片 口(15.1cm)	中央東寄り 床面直上	埋設土	①細砂・角閃石を多量に含む。 ②還元色。 ③にぶい焼5YR6/4	くの字に屈曲する頸部。やや長く外反する口縁部。 外面 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。体部上位横方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部上位横方向直張り。
601	土師器 壺	口縁~体部上位瓦破片 口(20.9cm)	中央東寄り 床面上 5.3cm	埋設土	①直径2~5mmの細砂・長石細粒・角閃石・直径3~10mmの白色鉱物粒を多く含む②還元色。硬質③灰白5Y8/2	大きく外反する口縁部。長胴の壺。 外面 口縁部横ナゲ。体部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナゲ。体部縦・斜方向直張り。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(2区50号住居)

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
689	土師器 甕	口縁～体部下位残存 口 17.0cm		中央東寄り 床面直上	①微細砂・細砂・白色胎物 粒を多量に含む。②酸化色 ③によい黄緑1YR6/4	外反する口縁部。中位がやや膨らむ体部。 外面 口縁部横ナデ。底部～体部中心斜方向直削り。体部下位横・新方 向直削り。 内面 口縁部～頸部横ナデ。体部中心縦方向直削り。
687	土師器 甕	体部・高部一部欠損 口 22.0cm 高 40.6cm 底 5.0cm		堀内 床面直上	①微細砂・角四石・直徑2 ～5mmの砂粒を多量に含む。 ②明赤褐色5YR5/6	大きく外反する口縁部。長胴の甕。 外面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向直削り。直削り直削り。 内面 口縁部横ナデ。頸部横ナデ。体部縦方向直削り。
688	土師器 甕	体部下位残存 高 4.0cm		堀石積下 床面直上	①直徑2～5mmの砂粒・石灰 粒・灰白色胎物粒多量含む②灰 化③によい黄緑7.5YR6/4	長胴甕。 外面 体部縦方向直削り。 内面 体部縦方向直削り。

2区50号住居出土遺物観察表〈石器〉第127図・PL49

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 質(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S68	磨石・礮石	5.4・6.7 3.5	粗粒安山岩 215.0	埋没土	一端が欠損した、やや扁平な礮の、もう一端の小口に打痕がみられる。
S67	磨石	14.9・7.5 4.1	火山岩 610.0	埋没土	楕円形やや扁平な礮の、一面に磨り面がみられる。磨の長軸方向の凹みが著しい。
S66	磨石	13.7・5.9 3.3	石英閃緑石 410.0	埋没土	やや扁平な棒状礮の一面に磨り面がみられる。
S61	礮石	4.3・5.1 5.5	礮石 150.0	埋没土	小口と側面の一部に自然面を残す棒状の礮石。残りの三面は使用されており、一方の小口は欠損する。
S62	磨石・礮石	14.0・7.7 4.4	変質デライト 730.0	埋没土	楕円形やや扁平な礮の一面に磨り面がみられ、一方の小口には顕著な縦打痕がある。
S64	磨石・礮石	14.0・8.1 4.3	粗粒安山岩 650.0	埋没土	楕円形やや扁平な礮の一面中央部に磨り面がみられ、一方の小口には顕著な縦打痕がある。
S63	礮石	16.7・6.4 3.65	変質変岩 550.0	埋没土	やや扁平な棒状礮の一面中央に狭い磨り面がみられ、一方の小口には顕著な打痕がみられる。
S65	礮石	12.9・6.0 4.1	石英閃緑岩 490.0	埋没土	不整楕円形やや扁平な礮の一端の小口に打痕がみられる。

2区94号住居出土遺物観察表〈土器〉第128図

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
855	土師器 杯	口縁～体部欠破片 口 10.4cm		埋没土	①微細砂・長石粒・角四石 を含む。②酸化色。 ③微5YR7/6	口縁部が外反する。ごく浅い杯。口縁部下の隆線は不明瞭。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

2区95号住居出土遺物観察表〈土器〉第129図・PL50

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
718	土師器 杯	片残存 口 10.8cm 高 3.3cm		東壁側 床面上33cm	①直徑1～3mmの砂粒・長 石粒を含む。②酸化色。 ③微5YR6/8	口縁部が短く直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部広口の直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
717	土師器 甕	口縁部欠破片 口 14.0cm		中央西寄り 床面上18cm	①微細砂・石灰粒・角四石 を多く含む。②酸化色。 ③によい黄緑7.5YR7/3	ゆるやかな膨らみから短く外反する口縁部。口縁部は丸い。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。
716	土師器 甕	口縁部～体部上位欠破片 口 21.8cm		中央西寄り 床面上18cm	①微細砂・角四石を多量に 含む。②酸化色。軟質。 ③によい黄緑10YR7/3	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直削り。

1区22号住居出土遺物観察表〈土器〉第131図・PL50

番号	器種	残法	存量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
438	土師器 杯	口縁～杯部欠残存 口 10.4cm		埋没土	①微細砂・長石粒・角四 石を含む。②酸化色。硬質。 ③微5YR6/6	口縁部が短く内傾する、やや小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
433	土師器 杯	口縁～底部欠破片 口 11.0cm 高 3.4cm		埋没土	①微細砂・角四石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③明赤褐色5YR5/6	口縁部が短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部直削り。滑潤面残る。
437	土師器 杯	口縁～底部欠破片 口 12.4cm		埋没土	①微細砂・長石粒を少量に 含む。②酸化色。硬質。 ③微5YR6/6	口縁部が丸く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
430	土師器 杯	片残存 口 13.6cm 高 3.8cm		堀石積 床面上32cm	①細砂・長石粒を含む。 ②酸化色。 ③微5YR6/6	口縁部がゆるやかに短く内傾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
432	土師器 杯	口縁～杯部欠残存 口 13.0cm		埋没土	①微細砂を含む。②酸化色。 やや硬質。③微5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する杯。裾部内面に面とり。 外面 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

遺物観察表

(I区22号住居)

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
431	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 (13.0cm)		日曜 床面上48.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化鉄。やや硬質。 ③にじい地5YR6/4	口縁部が広く内湾する杯。やや大形。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
435	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (13.0cm) 高 (4.2cm)	埋没土		①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化鉄。やや硬質。 ③赤味地5YR5/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁字型ナデ。
434	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (13.4cm)	埋没土		①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化鉄。やや軟質。 ③地2.5YR6/8	口縁部がすこやかに内湾する杯。胎部はやや厚くなる。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部横ナデ。
438	須恵器 盃	底部1/4破片 底 (5.0cm)	埋没土		①微細砂を少量含む。 ②還元鉄。硬質。 ③赤味2.5YR5/2	内外面 回転ナデ調整。内面に自然輪付着。底部回転削り。周縁回転削り。
438	土師器 盃	口縁～体部上位1/4破片 口 (19.0cm)	甕内	床面上5cm	①直径1～2mmの砂粒と赤色鉱物粒・角閃石を多く含む。 ②酸化鉄。硬質。 ③酸化鉄3明黄褐色10YR7/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直張り。
439	土師器 盃	口縁部～体部上位1/4破片 口 (22.0cm)	甕中央部 床面上4.5cm		①微細砂・長石粒・角閃石・石英微粒を含む。 ②酸化鉄。③地7.5YR7/6	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部横ナデ。体部上位角方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。体部縦方向直ナデ。

I区22号住居出土遺物観察表(石器)第131図・PL50

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石・材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S37	磨石	14.9・7.9 5.2	石英閃緑岩 980.0	埋没土	楕円形の磨の一面が磨られており、平坦な面となっている。
S38	磨石・敲石	10.6・7.3 3.1	磨粉磨片岩 350.0	埋没土	一端を欠損する扁平な磨の表面に、巾の狭い磨り面と、打痕がみられる。

I区24号住居出土遺物観察表(土器)第132図・PL51

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
441	土師器 杯	ほぼ完形 口 11.4cm 高 3.5cm	北東隅 床面上2.5cm		①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化鉄。硬質。 ③にじい地5YR7/4	口縁部が急激に内湾する杯。やや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
443	土師器 杯	口縁～底部1/4残存 口 (11.6cm) 高 2.9cm	埋没土		①直径1～2mmの砂粒・石英微粒・長石微粒を含む。 ②酸化鉄3明黄褐色7.5YR7/8	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
440	土師器 杯	口縁部1/4欠損 口 11.6cm 高 3.3cm	北西隅 床面上16.5cm		①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化鉄。硬質。 ③地5YR6/6	口縁部がすこやかに内湾する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
442	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 (19.6cm) 高 4.3cm	甕左脇 床面上2cm		①直径1～2mmの砂粒を多く含む。②酸化鉄。 ③地5YR6/6	口縁部が大きく外反する瓶状の杯。大形。 外面 口縁部横ナデ。杯部直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
445	須恵器 盃	体部下位～底部1/4破片 底 (12.8cm)	埋没土		①微細砂を僅かに含む。 ②還元鉄。③黄鉄10YR6/1	直径のやや広い、高台付の磨。内外面 回転ナデ調整。底部切り難し。接合不明。回転削り。付合台。
444	須恵器 盃	口縁～体部上位1/4破片 口 (14.0cm)	埋没土		①赤色鉱物微粒を含む。 ②還元鉄。 ③赤味2.5Y6/1	外面胎部に面をつくり、やや内湾させた型。 外面 口縁部横ナデ。胎部一体部上位角方向タキ後ナデ。 内面 口縁部横ナデ。胎部縦方向タキ後ナデ。体部指ナデ。
439	土師器 盃	口縁～体部中位残存 口 21.0cm	甕西部 床面上3.5cm		①微細砂を多量に含む。 ②酸化鉄。やや硬質。 ③地5YR6/6	口縁部が外反する貝割の杯。 外面 口縁部横ナデ。胎部胎部の発用り工具の圧痕が強く残る。体部斜方向直張り。内面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直ナデ。

I区26号住居出土遺物観察表(土器)第134図・PL51

番号	器種	残法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
454	土師器 杯	片残存 口 (12.0cm) 高 3.7cm	埋没土		①直径2～4mmの砂粒と石英粒を含む。②酸化鉄。 ③地2.5YR6/6	口縁部が内湾する杯。底部は中央がやや深い。 外面 口縁部横ナデ。杯部直張り。周縁ナデ。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
455	土師器 杯	口縁～底部1/4残存 口 (10.6cm) 高 2.5cm	埋没土		①微細砂・長石微粒・石英微粒を含む。②酸化鉄。硬質。 ③にじい地2.5YR6/4	口縁部が広く直立する小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
456	土師器 杯	口縁～底部1/4破片 口 (11.0cm) 高 2.6cm	埋没土		①微細砂を含む。 ②酸化鉄。 ③地5YR6/6	口縁部が外反する小形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部丁字型ナデ。
458	土師器 杯	口縁～底部1/4破片 口 (11.4cm) 高 3.0cm	埋没土		①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化鉄。 ③地5YR6/6	口縁部が広くゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部縦・斜方向直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。胎部直張り。
449	土師器 杯	口縁～杯部1/4残存 口 (13.2cm) 高 (3.6cm)	北西部 床面上6cm		①微細砂を多く含む。 ②酸化鉄。③地7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する、やや大形の杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部直張り。内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
457	土師器 杯	口縁～杯部1/4破片 口 (13.1cm)	埋没土		①直径1～2mmの砂粒・角閃石を含む。②酸化鉄。 ③地5YR6/6	口縁部が広くゆるやかに直立する杯。 外面 口縁部横ナデ。杯部直張り。 内面 口縁部横ナデ。杯部ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(1区26号住居)

番号	部 種	携 送 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
451	土師器 罍	口縁～体部に位片破片 口 (17.2cm)	埋没土		①直径1～2mmの砂粒・微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい焼7.5YR6/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は中や丸い。 外側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。
452	土師器 罍	口縁～体部に位片残存 口 (19.2cm)	埋没土		①直径0.5～1mmの砂粒・石英粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。③焼7.5YR6/6	ゆるやかな頸部から、大きく外反する口縁部。 外側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。
453	土師器 罍	口縁～体部に位片破片 口 (22.4cm)	埋没土		①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい焼7.5YR7/4	ゆるやかな頸部から、大きく外反する口縁部。 外側 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。
448	土師器 罍	体部下位片残存 底 5.6cm	甕前 床面上1.5cm		①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR3/4	小さな平底。やや膨らんだ長胴の体部。 外側 体部下位縦方向直ナゲ。更に下位横方向直ナゲ。横方向直ナゲ。 内側 体部下位縦方向直ナゲ。
447	土師器 罍	口縁～体部に位片破片 口 (24.0cm)	甕左袖 床面上2cm		①細砂・角閃石・長石細粒を含む。②酸化色。 ③黄褐色7.5YR7/8	大きく外反する口縁部。頸部はさらに外傾する。 外側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。
446	土師器 罍	口縁～体部中位片残存	甕部 床面上5.5cm		①微細砂・角閃石を多く含む。②酸化色。硬質。 ③焼7.5YR6/6	ゆるやかな頸部から外反する口縁部。体部は上半がやや膨らむ。 外側 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。体部縦・斜方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。体部縦・横方向直ナゲ。
461	須恵器 罍	体部破片	埋没土		①直径5～8mmの小石・細砂を多く含む。②還元色。 ③黄灰5YR6/1	外側 体部格子タテキ。 内側 体部同心内伏タテキ。
459	須恵器 杯	大弁部～口縁部片破片 口(10.0cm)高(3.7cm)	埋没土		①少量の細砂・多量の微細砂を含む。②還元色。 ③黄灰7.5YR5/1	底径の大きい小形の杯。 内外側 回転ナゲ調整。天井部外面右回転直ナゲ。
460	須恵器 罍	片破片 口 (12.8cm)	埋没土		①微細砂・白色鉱物粒・黒色鉱物粒を含む。②還元色。 ③灰N5/	内外側 回転ナゲ調整。
450	須恵器 罍	頸部破片	北西部 床面上7cm		①直径5～8mmの小石細砂を多く含む。②還元色。 ③黄灰7.5YR5/1	頸部に断面方形の突起が通る大罍。 内外側 ナゲ調整。口縁部下外面に横線状文様が施文されている。

1区26号住居出土遺物観察表(石器)第135図・PL51

番号	部 種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S-39	礫石	9.7 × 6.05 4.3	礫石 210.0	埋没土	上・下二面に自然面を残す多巻き状の手持ち砥石。横線は鋭く使いこまれているが、使用面の両面に段があり、変形的な使用うかがわれる。
S-40	磨石・砥石	8.4 × 5.8 3.2	粗粒安山岩 190.0	埋没土	一端を欠く棒状の磨石。一端の小口に打痕がみられ、側面に磨り面がある。
S-41	凹み石	7.8 × 5.2 3.4	粗粒安山岩 190.0	埋没土	扁平な棒状の磨石の両面に凹みがある。
S-42	凹み石	7.9 × 5.7 4.0	砥石 120.0	埋没土	扁平な棒状の磨石の両面に凹みがある。

2区85号住居出土遺物観察表(土器)第136図・PL51

番号	部 種	携 送 法	存 量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・整形・文様の特徴
849	土師器 杯	片残存 口(13.6cm)高4.3cm	東壁部 床面上4cm		①直径1～3mmの砂粒・角閃石を含む。②酸化色。 ③灰赤焼2.5YR7/4	口縁部がゆるやかに内傾する。やや深い。 外側 口縁部横ナゲ。杯部中央直ナゲ。周縁部縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。杯部直ナゲ。
851	土師器 杯	口縁～杯部片破片 口(16.8cm)	埋没土		①砂粒・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③にぶい焼7.5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する頸状の杯。大形。 外側 口縁部横ナゲ。杯部縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。杯部縦方向直ナゲ。
848	土師器 杯	口縁～杯部片破片 口(18.4cm)	中央部 床面上		①細砂・角閃石・長石細粒を含む。②酸化色。 ③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する。深めの杯。口縁部下の横線は不明瞭。 外側 口縁部横ナゲ。杯部縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。杯部直ナゲ。
847	土師器 罍	口縁～体部中位片破片 口(18.2cm)	甕右袖 床面上4.5cm		①微細砂・角閃石・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化色。 ③にぶい焼7.5YR7/4	ゆるやかな屈曲の頸部。口縁部は短く外反する。体部は丸い。 外側 口縁部横ナゲ。体部斜方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。
852	須恵器 罍	口縁～底部破片 口(26.2cm)	埋没土		①細砂を多く含む。黒色鉱物微細粒が目立つ。 ②還元色。③灰7.5Y5/1	口縁部外面に面取り。 外側 口縁部横ナゲ。中位回転直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。中位横ナゲ。
853	土師器 罍	口縁～体部上位破片 口(20.0cm)	埋没土		①砂粒・細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③にぶい黄褐色10YR7/3	大きく外反する口縁部。頸部は厚い。 外側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。 内側 口縁部横ナゲ。体部上位縦方向直ナゲ。
854	土師器 罍	口縁～体部下位残存 口(23.0cm)	甕右袖 床面上		①微細砂を多く含む。②酸化色。 ③明赤焼2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。大きく外反する口縁部。体部は上半が膨らむ。 外側 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。体部の腹割り仕様が残る。体部縦・斜方向直ナゲ。下半部腹割りが著しく整形不明。 内側 口縁部横ナゲ。頸部横ナゲ。体部縦方向直ナゲ。

遺物観察表

2区102号居住出土遺物観察表(土器)第138図・PL53

番号	器種	形状	寸法	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
726	土師器 杯	光形	口 11.1cm 高 3.7cm		南壁障面寄り 床面上4.5cm	①陶磁砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③赤いYR6/8	口縁部がゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部縮ナド。杯部中央部一方向直削り。周縁部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
731	土師器 杯	口縁一杯部片残存	口(13.0cm)高(3.9cm)		甕内 床面上2.5cm	①陶磁砂・角閃石を含む。 ②酸化色。やや硬質。 ③赤いYR6/8	口縁部が短くゆるやかに内湾する杯。 外面 口縁部縮ナド。杯部周縁部横方向直削り。中央部一方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。杯部上端ナド。
730	土師器 杯	口縁一杯部片残存	口 11.4cm 高 3.8cm		甕右縁 床面上3.5cm	①陶砂・角閃石を多量に含む。 ②酸化色。 ③赤い・橙5YR6/4	口縁部が短く深く直立する杯。やや硬い。 外面 口縁部縮ナド。杯部中央部井戸の方向に直削り。周縁部横方向の直削り。内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
728	土師器 杯	口縁一杯部片残存	口 12.7cm 高 4.6cm		甕内 床面上3.5cm	①陶磁砂・細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。 ③赤い・橙5YR5/4	口縁部が短くゆるやかに直立する杯。深い。 外面 口縁部縮ナド。杯部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
729	土師器 杯	口縁一杯部片残存	口(12.5cm)高 4.4cm		南壁障 床面上13cm	①直径1〜2mmの砂粒・黒 細砂を多く含む。②酸化色。 ③赤いYR6/8	口縁部がゆるやかにごく短く内湾する杯。深い。 外面 口縁部縮ナド。杯部中央部一方向直削り。周縁部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
727	土師器 杯	光形	口 12.4cm 高 4.3cm		東壁ピット 床面上3cm	①陶磁砂・角閃石を含む。 ②酸化色。硬質。 ③赤いYR6/4	口縁部が短く内湾する杯。深い。 外面 口縁部縮ナド。杯部中央部一方向直削り。周縁部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
734	土師器 杯	光形	口 13.4cm 高 4.3cm		埋設土	①陶砂・石英・角閃石を多 く含む。②酸化色。硬質。 ③橙7.5YR6/8	口縁部が短く直立する杯。深い。 外面 口縁部縮ナド。杯部中央部丁字方向に二方向の直削り。周縁部横 方向直削り。内面 口縁部縮ナド。杯部ナド。
733	土師器 壺	口縁一杯部上位片	口(16.6cm)		埋設土	①陶磁砂・細砂・角閃石を 多量に含む。②酸化色。 ③赤い・赤黒5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部縮ナド。頸部縮ナド。杯部斜方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。杯部横方向直削り。
724	土師器 壺	口縁一杯部中位片残存	口(15.3cm)		甕右袖部 床面直上	①直径1〜2mmの砂粒・石 を多量に含む。②酸化色。 ③赤い・橙7.5YR5/4	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部縮ナド。頸部ナド。杯部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。杯部斜方向直削り。
725	土師器 壺	口縁部一部欠損	口 11.3cm 高 15.3cm 底 4.4cm		甕突き口	①陶磁砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。 ③赤い・橙10YR7/3	コップ形。頸部はなく、口縁部最大部。 外面 口縁部縮ナド。杯部縦方向直削り。磨いた効果がある部分もある。 底部ナド。内面 口縁部縮ナド。杯部上斜方向直削り。下平粘土粘 着。指押え。底部ナド。
720	土師器 壺	口縁一杯部下位片残存	口 20.6cm		甕突き口 床面直上	①陶磁砂・角閃石・白色 黏物を多量に含む。 ②酸化色。③橙7.5YR6/8	ゆるやかな頸部から外反する口縁部。長斜の壺。 外面 口縁部縮ナド。頸部縮ナド。杯部横方向直削り。下位斜方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。杯部横方向直削り。
721	土師器 壺	口縁一杯部下位片残存	口 22.9cm		甕右袖部 床面直上	①陶磁砂・角閃石・白色 黏物を多く含む。②酸化色。 ③赤い・赤黒5YR5/4	大きく外反する口縁部。杯部上位がやや平らな長筒。 外面 口縁部縮ナド。頸部1条のナド。ナドの上には杯部直削り端部比 直削り。杯部斜方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。杯部横方向直削り。
723	土師器 壺	口縁一杯部中位片残存	口(21.6cm)		甕左袖部 床面直上	①陶磁砂・角閃石多く含む。 ②酸化色。 ③橙7.5YR6/6	大きく外反する口縁部。杯部上位がやや平らな長筒。 外面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り工具の仕込みが顕著。杯部斜方向 直削り。内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。杯部横方向直削り。
722	土師器 壺	口縁一杯部下位片残存	口(22.9cm)		甕左袖部 床面直上	①直径1〜2mmの細砂・白 色黏物を多量に含む。 ②酸化色③明赤黒5YR5/6	大きく外反する口縁部。直線的な長斜の壺。 外面 口縁部縮ナド。頸部縮ナド。杯部横方向直削り。 内面 口縁部縮ナド。頸部横方向直削り。
719	土師器 壺	杯部一部欠損	口 18.9cm 高 27.1cm 底 25.5cm 底 8.6cm		南壁障面寄り 床面直上	①直径1〜3mmの砂粒・石 灰粒・白色黏物を多量に含む ②酸化色③明赤黒5YR5/4	丸く屈曲する頸部。口縁部は外反し、頸部は良い。 外面 口縁部・頸部縮ナド。杯部斜方向直削り後縦・横・斜方向直削り 内面 口縁部・頸部縮ナド。杯部上平横方向直削り。縦・斜ナド。
737	煎茶器 蓋	天井部一杯縁片	口(16.6cm)		埋設土	①陶磁砂を含む。 ②還元色。③灰白7.5Y2/1	やや屈曲の緩いケリをもつ蓋。 内外面 回転ナド。
738	煎茶器 蓋	胴部のみ残存			埋設土	①陶磁砂を多く含む。 ②還元色。③灰7.5Y4/1	内外面 回転ナド。胴部内面および胴部外面に自然釉。
732	煎茶器 椀	口縁一部欠損	口 8.4cm 高 4.1cm 底 6.2cm		東壁障 床面上24cm	①直径1mmの白色黏物を含む。 ②還元色。③灰7.5Y6/1	口縁・底縁ともに小さく、器の高がある椀。 内外面 ロック整形。底部外周手ナド調整。底部切り難し技法不明。
735	煎茶器 椀	高部一平台部片残存	口(13.0cm)		埋設土	①黒色黏物微細粒を多く含む。 ②還元色。③灰7.5Y6/1	縁の鋭い肩台がつく。 内外面 回転ナド調整。付高台。
736	煎茶器 椀	片残存	口(11.5cm)高 3.2cm 底 7.1cm		埋設土	①直径0.5〜2mmの黒色 黏物多く含む。②還元色。 ③明褐色5YR7/1	底縁の広い、低い杯。 内外面 ロック整形。回転直削り後、底部手持ち直削り。

2区102号居住出土遺物観察表(石器)第139図・PL53

番号	器種	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S71	磨石	20.5 × 6.7	かこう岩 306.0	埋設土	大形の礫の一面に磨り面がみられるが、一部を残して欠損している。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

2区73号住居出土遺物観察表(石器)第142回・PL54

番号	品名	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S84	礫石	11.9 × 5.3 4.6	ひん岩 400.0	埋没土	断面三角形の棒状物の一端に打痕がみられる。

3区9号住居出土遺物観察表(土器)第143回・PL54

番号	品名	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
397	土師器 壺	体部下位片残存		西部・北西隅 床面直上	①微細砂・細砂・小石を多量に含む。②酸化色。 ③におい・重地5YR6/4	厚形の体部破片。 外面 体部斜方向直削り。 内面 体部ナデ。
401	土師器 杯	口縁部片破片 口(12.8cm)		南部 床面下11cm	①細砂・赤色鉱物繊維を含む。 ②酸化色。硬質。 ③におい・重地10YR7/3	二段に屈曲して外反する口縁部。杯部は浅い。口縁部下の縁は鋭い。 外面 口縁部ナデ。須部曲のような凹凸を意識している。杯部直削り。 内面 口縁部ナデ。杯部ナデ。
400	土師器 杯	口縁・杯部片破片 口(14.0cm)高(4.8cm)		北東隅 床面直上3cm	①微細砂・長石繊維を含む。 ②酸化色。硬質。 ③明赤地5YR3/2	高く外反する口縁部。口縁部下の縁は鋭い。杯部は浅い。 外面 口縁部ナデ。中央付近に比喩。杯部斜方向直削り。 内面 口縁部ナデ。杯部ナデ。
399	土師器 杯	片残存 口13.3cm 高4.3cm		北東隅 床面直上3cm	①細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化色。硬質。 ③におい・重地2.5YR5/4	やや彎曲して内反する口縁部。丸底。 外面 口縁部ナデ。底部一方直削り。 内面 口縁部ナデ。底部丁取ナデ。
398	土師器 杯	完形 口14.2cm 高4.3cm		北東隅 床面直上2cm	①直径2～4mmの砂粒・石英粒・長石粒を多く含む②酸化色。硬質③赤地5YR2/2	外反する口縁部。口縁部下の縁は鋭い。口縁部内面直削り。 外面 口縁部ナデ。底部直削り。 内面 口縁部ナデ。底部ナデ。

3区2号住居出土遺物観察表(土器)第146回・PL55

番号	品名	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
377	土師器 杯	片残存 口10.9cm 高3.3cm		埋没土	①細砂・角閃石を含む。 ②酸化色。やや軟質。 ③重地2.5YR6/6	口縁部が短く外反して直立する口縁部。 外面 口縁部ナデ。底部直削り。 内面 口縁部ナデ。底部丁取ナデ。
380	土師器 杯	口縁・杯部片破片 口(12.0cm)高(4.0cm)		埋没土	①微細砂を多く含むが、精選された胎土である。②酸化色。硬質③赤地5YR6/6	口縁部が外反して口縁部下の縁は鋭い。 外面 口縁部ナデ。杯部斜方向直削り。 内面 口縁部ナデ。杯部ナデ。
379	土師器 杯	口縁・杯部片破片 口(10.6cm)高3.3cm		埋没土	①直径1～2mmの砂粒・長石粒を含む。②酸化色。やや軟質。③赤地2.5YR6/6	口縁部が短く外反して直立する口縁部。 外面 口縁部ナデ。杯部斜方向直削り。単位不明。 内面 口縁部ナデ。杯部ナデ。
378	土師器 杯	片残存 口(12.0cm)高3.5cm		埋没土	①細砂・石英粒・角閃石を含む。②酸化色。軟質。 ③明赤地5YR5/6	口縁部がごく短く内縮する杯。やや深い。 外面 口縁部ナデ。体部直削り。 内面 口縁部ナデ。体部ナデ。
374	須恵系 長頸壺	口縁部片残存 口(8.4cm)		北東隅 床面直上22cm	①微細砂を含む。白色磁器粒が目立つ。②還元色。硬質。③灰3YR4/1	口縁部が外反する長頸壺。口縁部上面に面とり。 外面 口縁部回転ナデ調整。 内面 口縁部回転ナデ調整。自然軸付着。
373	土師器 小壺	口縁・体部中位片残存 口(13.2cm)高5.0cm		南東隅 床面直上	①直径0.5～2mmの砂粒・長石粒を含む。②酸化色。 ③におい・重地5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部から、短く外反する口縁部。口縁部は浅い。 外面 口縁部ナデ。体部直削り。 内面 口縁部ナデ。体部ナデ。
375	土師器 壺	口縁・体部上位片破片 口(20.6cm)		埋没土	①直径1～5mmの砂粒と角閃石を多量に含む。②酸化色。 ③におい・重地10YR6/4	大きく外反する口縁部。 外面 口縁部ナデ。体部上位直削り。 内面 口縁部ナデ。体部上位直削り。
376	土師器 壺	口縁・体部上位片破片 口(16.8cm)		埋没土	①細砂・角閃石を多量に含む②酸化色。 ③重地2.5YR6/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。やや丸い体部。 外面 口縁部ナデ。体部上位直削り。 内面 口縁部ナデ。体部斜方向直削り。

3区2号住居出土遺物観察表(石器)第146回・PL55

番号	品名	長さ・幅 厚さ(cm)	石 材 重さ(g)	出土位置	形状・調整加工の特徴
S35	礫石・礫石	12.3 × 3.1 3.1	ひん岩 275.0	埋没土	一端を欠損する楕円形の扁平な棒の一端面中の狭い磨り面と打痕がみられる。もう一端面と、欠損する小口にも打痕がみられる。

3区4号住居出土遺物観察表(土器)第147回・PL56

番号	品名	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
382	須恵系 高杯	口縁部部・短頸部大筒 口13.7cm 高15.3cm		北東隅 床面直上2cm	①赤色鉱物繊維を少量含む②還元色。 ③灰白2.5YR7/1	外反する口縁部、やや浅い杯部・長頸の脚部。脚中位に2条の沈線が延るが、透かし孔はない。 外面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。脚部回転ナデ。内面 口縁部回転ナデ。杯部回転ナデ。脚部上半斜方向直削り。下半直削り。

5区7号住居出土遺物観察表(土器)第149回・PL56

番号	品名	形状	容量	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
886	土師器 杯	片残存 口(10.8cm)高3.9cm		北西隅 床面直上2.5cm	①直径1mmほどの砂粒・長石粒を含む。②酸化色。やや軟質。③赤地5YR6/6	口縁部がごく短く内縮する。やや深い杯。 外面 口縁部ナデ。杯部直削り。周縁部一部ナデ。 内面 口縁部ナデ。杯部ナデ。

遺物観察表

(5区7号住居)

番号	器種	残出	存量	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
861	土師器 杯	ほぼ完形 口 10.5cm 高 3.5cm		西壁際 床面上4cm	①微細砂・角閃石を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③紺5YR6/6	口縁部がゆるやかに直立する杯。 外側 口縁部横ナデ。杯部中央部一方向直削り。肩縁部横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。杯部横ナデ。
866	土師器 杯	口縁～底部片破片 口 (13.6cm) 高 3.5cm		埋没土	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③紺5YR6/6	口縁部がゆるやかに外反する杯。口縁部下の縁は不明瞭。 外側 口縁部横ナデ。杯部横方向直削り。彫削りが著しく単位は不明瞭。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
863	土師器 杯	欠欠損 口 10.6cm 高 3.2cm		北西隅 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ紺7.5YR6/4	口縁部がゆるやかに内反する。やや深い杯。 外側 口縁部横ナデ。杯部中央部多方向直削り。肩縁部横方向直削り。 さらに用線ナデ。内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
858	土師器 壺	底部残存		北西隅 床面上3.5cm	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焼。 ③にじみ赤褐色2.5YR5/4	丸底。 外側 底部直削り。 内側 丁寧なナデ。
864	須恵器 胸	片残存 口 (11.0cm) 高 4.4cm 底 (7.3cm)		堀内埋没土	①細砂・長石粒を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③明紺2.5YR5/6	底縁の広い、深い胸。平底。 内外側 横ナデ。口縁部使用かどうかは不明。胸部外面に2段にわたって化粧のめぐる。底部外面は直削り。
856a	土師器 壺	口縁～肩部片破片 口 (18.8cm)		堀前 床面上18cm	①微細砂・角閃石を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③紺7.5YR7/6	ゆるやかに屈曲する口縁部から、わずかに外反する口縁部。 外側 口縁部横ナデ。体部斜方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
856b	土師器 壺	体部のみ片残存		堀前 床面上18cm	①微細砂・角閃石を少量含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/6	球形の体部。 外側 体部直削り。明確でないが、横方向直削り。 内側 体部丁寧な直削り。
865	土師器 壺	口縁～体部上位破片		埋没土	①微細砂・角閃石・直径1 ～3mmの小石・長石粒を含む ②酸化焼。やや硬質。 ③紺7.5YR6/6	ゆるやかな屈曲の口縁部。外反する口縁部。 外側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。
857	土師器 壺	口縁～体部上位残存 口 20.6cm		南寄り 床面上4.5cm 南壁際 床面上13.5cm	①粗砂・角閃石と直径2 ～8mmの白色鉱物粒を少量 含む。②酸化焼。 ③明赤褐色2.5YR5/8	大きく外反する口縁部。体部上位はやや膨らむ。 外側 口縁部横ナデ。肩部直削り肩部の圧痕が明顯に残る。一部ナデ。 体部斜方向直削り。内側 口縁部横ナデ。体部丁寧なナデ。
860	土師器 壺	体部下位～底部残存		堀内袖内 床面上15.5cm	①微細砂を多く含む。 ②酸化焼。 ③にじみ赤褐色7.5R4/3	小さな平底。 外側 体部下位斜方向直削り。底部直削り。 内側 体部ワープ状の直ナデ。底部横方向直削り。

7区10号住居出土遺物観察表〈土器〉第150回・PL57

番号	器種	残出	存量	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
857	土師器 壺	口縁～体部中位片残存 口 26.9cm		北東壁寄り 床面直上	①微細砂・角閃石・白色 鉱物粒を多く含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にじみ紺7.5YR6/4	くの字に屈曲する口縁部。外反する口縁部。肩部は丸い。球形の体部。 外側 口縁部横ナデ。肩部明瞭な縁を作り出し口縁の横になっている。 体部横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。体部横方向直削り。

8区7号住居出土遺物観察表〈土器〉第153回・PL58

番号	器種	残出	存量	出土位置	①胎土 ②構成 ③色調	形状・彫形・文様の特徴
413	土師器 杯	片残存 口 (11.4cm) 高 3.9cm		貯蔵穴脇 床面直上	①砂粒・微細砂・角閃石を 多く含む。②酸化焼。 ③紺赤褐色7.5R3/2	やや内湾して外反する口縁部。肩部内面に直り。口縁部下は凹縁。 外側 口縁部横ナデ。底部直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。
411	土師器 杯	ほぼ完形 口 10.9cm 高 3.6cm		貯蔵穴 底面上1.5cm	①微細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。 ③紺5YR6/8	やや浅い杯部。わずかに外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外側 口縁部横ナデ。底部横方向直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。
406	土師器 杯	ほぼ完形 口 11.9cm 高 3.9cm		貯蔵穴脇 床面直上	①砂粒を含む。②酸化焼。 ③紺5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外側 口縁部横ナデ。杯部直削り。内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
404	土師器 杯	完形 口 11.8cm 高 4.3cm		貯蔵穴脇 床面上6cm 床面直上	①微細砂を少量含む。 ②酸化焼。硬質。 ③紺5YR7/8	外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外側 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
414	土師器 杯	口縁～底部片残存 口 (13.1cm) 高 (4.1cm) 底 (11.9cm)		堀前 床面直上	①直径1～3mmの砂粒・赤 色鉱物粒を含む。②酸化焼。 ③紺5YR6/8	外反する口縁部。杯部はやや浅い。口縁部下の縁は明瞭。 外側 口縁部横ナデ。杯部直削り。底縁に直削り。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
409	土師器 杯	完形 口 4.2cm 高 4.0cm		貯蔵穴脇 床面上3.5cm	①直径1～2mmの砂粒・赤 色鉱物粒を含む。②酸化焼 硬質③紺5YR7/8	外反する口縁部。口縁部は丸い。口縁部下は凹縁。 外側 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内側 口縁部横ナデ。杯部ナデ。
412	土師器 杯	口縁部欠欠損 口 11.9cm 高 3.9cm		南隅部 床面上4cm	①直径1mmの微細砂・赤色 鉱物粒を含む。②酸化焼。 ③紺5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外側 口縁部横ナデ。杯部直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。
408	土師器 杯	口縁部欠欠損 口 12.7cm 高 4.4cm		南東壁際 床面上13cm	①直径2～4mmの砂粒を多 く含む。②酸化焼。硬質。 ③紺7.5YR6/8	外反する口縁部。口縁部はやや丸く肥厚する。 外側 口縁部横ナデ。底部直削り。 内側 口縁部横ナデ。底部ナデ。

3 古墳時代中・後期の出土遺物

(8区7号住居)

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
410	土師器 杯	口縁部欠損	口 12.2cm 高 4.1cm	東縁部 床面上5.5cm	①細砂・赤色鉱物粒を多く含む。②酸化焼。やや軟質。 ③焼7.5YR6/6	外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外面 口縁部横ナズ。底部縦方向削り。 内面 口縁部横ナズ。底部ナズ。
407	土師器 杯	完形	口 12.2cm 高 3.6cm	貯蔵穴脇 床面上6.5cm	①細砂・細砂を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③焼5YR7/8	外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。杯部はやや浅い。 外面 口縁部横ナズ。 内面 口縁部横ナズ。底部ナズ。
416	土師器 杯	片残存	口 (12.7cm) 高 3.9cm	埋設土	①細砂・赤色鉱物粒を含む。 ②酸化焼。 ③焼5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。杯部は浅い。 外面 口縁部横ナズ。杯部削り。 内面 口縁部横ナズ。杯部ナズ。
405	土師器 杯	完形	口 11.8cm 高 4.9cm	北壁隅部 床面上22cm	①細砂を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③焼5YR7/6	外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外面 口縁部横ナズ。底部削り。 内面 口縁部横ナズ。底部ナズ。
417	土師器 杯	口縁～杯部片破片	口 (10.2cm)	埋設土	①細砂粒を多量に含む。 ②酸化焼。③焼5YR6/6	口縁部がゆるやかに内湾する杯。やや小形。 外面 口縁部横ナズ。杯部縦方向削り。内面 口縁部横ナズ杯部ナズ。
415	土師器 杯	片残存	貯蔵穴脇 口 (11.8cm) 高 (3.0cm)	貯蔵穴脇 床面上6cm	①黒細砂・長石粒・角四石を含む。②酸化焼。硬質。 ③にぶい焼7.5YR6/4	口縁部がゆるやかに直立する杯。杯部は浅い。口縁部下の縁は不明瞭。 外面 口縁部横ナズ。杯部削り。 内面 口縁部横ナズ。杯部ナズ。
426	須恵器 杯	口縁部下位片破片	口 (15.0cm)	埋設土	①黒細砂を含む。白色鉱物粒・黒色鉱物粒を含む。 ②還元焼。③焼7.5Y5/1	成形技法不明。右回転ロク字彫形。切り離し技法不明。
427	須恵器 椀	体部下位～高台部片残	口 13.7cm 高 (7.4cm)	埋設土	①細砂を含む。黒色鉱物粒が目立つ。②還元焼。 ③焼7.5Y6/1	ハの字形に付けられた高台。 右回転ロク字彫形。底部部垂直切り離し。付高台。
422	土師器 付付壺	底部部欠損	口 13.7cm	東右縁 床面上12cm	①黒細砂・角四石・細砂を多量に含む。②酸化焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	ゆるやかに屈曲する頸部。外反する口縁部。体部は球形。 外面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部縦方向削り。下半のみ横・斜方向削り。内面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。
423	土師器 壺	口縁～体部中位片残存	口 (12.8cm) 肩 18.1cm	東左縁 床面上12cm	①直径3～8mmの小石・砂粒・角四石を多く含む。 ②酸化焼。やや軟質。 ③焼5YR6/6	ゆるやかに屈曲する頸部。口縁部が直立気味に立ち上がり部部が外反する。丸い体部。 外面 口縁部横ナズ。体部縦方向削り。 内面 口縁部横ナズ。体部縦方向削りナズ。縦方向削り。
424	須恵器 碗	完形	口 4.2cm 高 13.7cm	南東壁寄り 床面上3.5cm	①少量の細砂と微細な黒色鉱物粒を含む。②還元焼。 ③焼7.5Y5/1～6/1	ゆるやかに屈曲する短い口縁部。やや肩の張る体部。丸底。 外面 口縁部が横ナズ。体部上半部削り。下半斜方向削り。肩ナズ。底部一方向削り。内面 口縁部が横ナズ。
425	土師器 壺	口縁部片破片	口 (21.0cm)	埋設土	①黒細砂・角四石を含む。 ②酸化焼。硬質。 ③にぶい焼7.5YR6/3	ゆるやかなくの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。 外面 口縁部横ナズ。頸部縦方向削り。体部縦方向削り。 内面 口縁部横ナズ。頸部丁字ナズ。体部縦方向削り後縦方向削り。
419	土師器 壺	口縁～体部下位片残存	口 18.8cm	東隅 床面上12cm	①細砂・角四石・白色鉱物粒を多く含む。②酸化焼。 ③明赤焼2.5YR5/6	くの字に屈曲する頸部。外反する口縁部。中位がややゆるむ長胴の体部。 外面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部縦方向削り。 内面 口縁部・頸部横ナズ。体部縦方向削りナズ。
418	土師器 壺	口縁～体部下位片残存	口 22.0cm	東隅 床面上12cm	①細砂・角四石・直径2～8mmの白色鉱物粒を多量に含む。②酸化焼。 ③にぶい焼10YR6/3	大きく外反する口縁部。中位ややゆるむ長胴の体部。 外面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部縦方向削り。下位・縦方向削り。内面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部縦方向削りナズ。下位・縦方向削りナズ。
421	土師器 壺	体部下半片～底部残存	口 5.4cm	東右縁部 床面上25.5cm	①黒細砂を含む。 ②酸化焼。 ③焼7.5YR7/6	小さな平底。長胴形。 外面 体部中位縦方向削り。下位斜方向削り。底部一方向削り。 内面 体部中位横方向削り。下位斜方向ナズ。底部削りナズ。

8区7号住居出土遺物観察表(土器)第153回・PL58

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
420	土師器 壺	体部・底部一部欠損	口 17.8cm 高 26.0cm 底 (8.0cm)	東左縁部 床面上12cm	①細砂・角四石・石英粒を多量に含む。②酸化焼。 ③明赤焼2.5YR5/8	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。球形の体部。 外面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部上半部縦方向削り。下半斜方向削り。内面 口縁部横ナズ。頸部横ナズ。体部縦方向削りナズ。

8区11号住居出土遺物観察表(土器)第154回

番号	器種	形状	寸法	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調	器形・彫形・文様の特徴
403	土師器 杯	口縁部欠損片	口 (11.4cm)	埋設土	①黒細砂を少量含む。 ②酸化焼。硬質。 ③焼5YR6/8	大きく外反する口縁部。口縁部下の縁は明瞭。 外面 口縁部横ナズ。 内面 口縁部横ナズ。
402	土師器 小形壺	口縁部片破片	口 (15.0cm)	東壁 床面上6.5cm 西壁部 床面上10.5cm	①黒細砂・角四石・長石粒を含む。 ②酸化焼。 ③赤焼10YR5/3	ゆるやかに屈曲する頸部。短く外反する口縁部。広口。 外面 口縁部横ナズ。体部削り。単位方向不明。 内面 口縁部横ナズ。体部ナズ。

群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第193集

荒砥上ノ坊遺跡Ⅰ
縄文時代～古墳時代の調査
(遺物観察表編)

昭和57年度県営農場整備事業荒砥北部
地区に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

平成7年3月20日 印刷

平成7年3月25日 発行

編集／群馬県教育委員会
〒371 前橋市大手町1丁目1番1号
電話 (0272) 23-1111(代表)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行／群馬県考古資料普及会
〒377 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社